

別添 1

総合管理システムとの連携に関する要件

目次

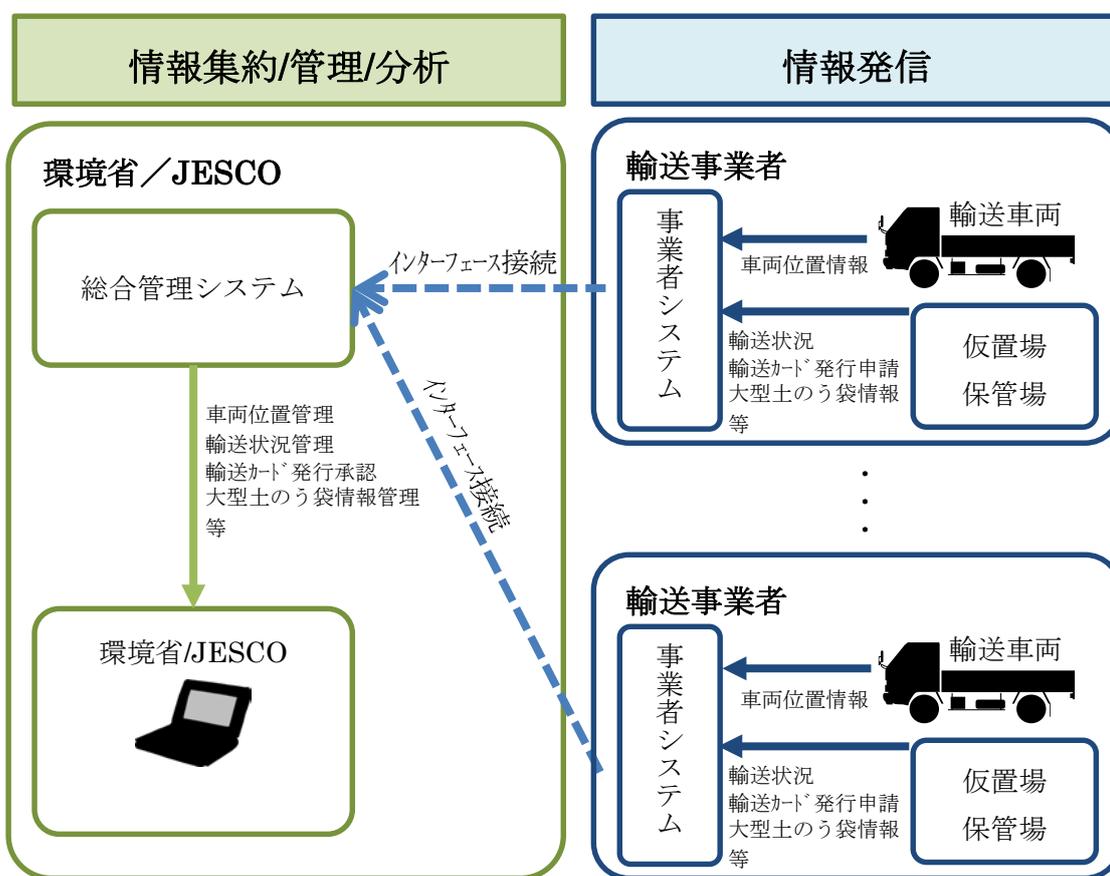
第1 本書の位置づけ	1
第2 総合管理システムについて	2
1 トレーサビリティの確保	2
2 被ばく情報の集約	2
3 モニタリング情報の集約	2
第3 機能要件	3
1 総合管理システムと事業者システムとの連携に関する要件	3
2 トレーサビリティ	3
3 被ばく情報の集約	3
4 モニタリング情報の集約	3
第4 非機能要件	4
1 インターフェースの送信時間に関する制約	4
2 総合管理システムのサービス提供時間	4
3 バックアップに関する要件	4
4 情報セキュリティに関する要件	5
5 狭帯域、携帯不感地域への対策	9
6 事業者システム障害発生時の対応	9
7 総合管理システム障害発生時の対応	9
8 中間貯蔵管理センターからの通知メールの受信	10
9 事業者システムと総合管理システムとの接続仕様	10
10 連携試験に関する要件	12
11 教育に関する要件	13
12 システム運用に関する要件	14
13 システム保守に関する要件	14
第5 別紙一覧	15

第1 本書の位置づけ

中間貯蔵・環境安全事業株式会社では、環境省が策定した「中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送に係る基本計画」や、環境省が平成27年3月から実施しているパイロット輸送の実施状況等を踏まえ、今後の中間貯蔵施設への除染土壌等の輸送等を管理するためのシステム（以下「総合管理システム」という。）を構築することとしている。

総合管理システムは、輸送を担う複数の事業者が取得する輸送車両の走行位置、輸送対象物の情報等を一元的に管理する構成としており、各事業者との円滑なデータ連携が必要不可欠となる（下図参照）。

本書は、総合管理システムとの円滑な連携を実現するための、事業者システムに求める要件を記載したものである。



第2 総合管理システムについて

総合管理システムは、事業者システムから情報を取得することで、下記の3点を実現する。

1 トレーサビリティの確保

a) 搬出から搬入・定置までの全数管理

福島県内の仮置場等に保管された除去土壌等を仮置場等から搬出し、中間貯蔵施設の保管場に搬入・定置するまでの間、大型土のう袋等を1個単位で把握する（ただし、輸送時については、b)のとおりとする）。

b) 輸送の管理

除去土壌等を輸送する車両の位置と輸送物について、地図データ等に表示し、関係機関と共有しつつ、常時把握する。

2 被ばく情報の集約

事業者等が管理する作業員等の被ばく線量の情報について、「除染等業務従事者等被ばく線量登録管理制度」に登録する情報や、各作業員の作業場所等の情報を集約する。

3 モニタリング情報の集約

空間線量率、大気中の放射性物質濃度、地下水中の放射性物質濃度等のモニタリングの情報(事業者が実施するものも含む)を集約する。

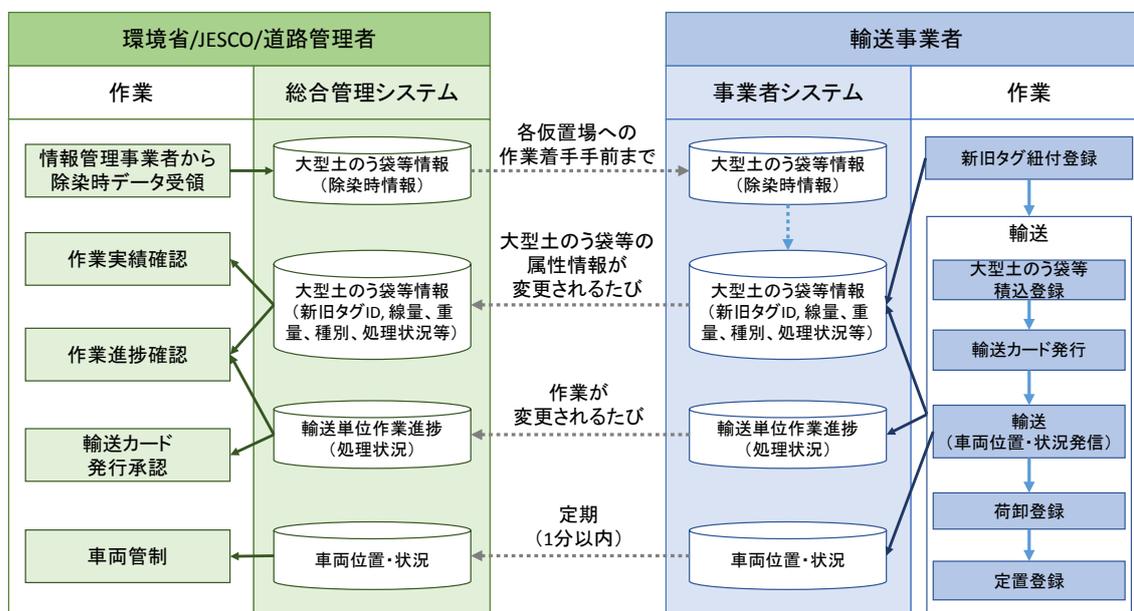
第3 機能要件

1 総合管理システムと事業者システムとの連携に関する要件

総合管理システム、事業者システム間でのデータ送受信に関する要件を、別紙2「インターフェース仕様書」に示す。こちらに示されたインターフェースの送受信がすべて実施できるようにすること。

2 トレーサビリティ

トレーサビリティに関連し、総合管理システムと事業者システムとの連携イメージを下図に示す。また、総合管理システムとの連携で求められる事業者システムへの機能要件を、別紙1「機能要件一覧（トレーサビリティ）」に示す。一覧に示される機能をすべて有すること。



3 被ばく情報の集約

別紙2「インターフェース仕様書」にて定義された、被ばく情報に関する各種情報を送信できる機能または体制を有すること。

4 モニタリング情報の集約

モニタリング業務に関する要件が含まれている場合は、別紙2「インターフェース仕様書」にて定義された、モニタリングに関する各種情報を送信できる機能または体制を有すること。

第4 非機能要件

1 インターフェースの送信時間に関する制約

各種ステータス情報や、車両位置情報に係わる下記インターフェースは、情報変更後1分以内に総合管理システムへの送信を完了すること。

ID	インターフェース名
IFT0120	車両ステータス更新
IFT0140	定置ステータス更新
IFT0150	車両位置情報取込

2 総合管理システムのサービス提供時間

総合管理システムのサービス提供時間（利用者がシステムを利用可能な時間）は原則365日7:00～22:00とする。

インターフェースの送受信および、総合管理システムへの操作は上記時間帯に実施すること。

3 バックアップに関する要件

総合管理システムとの連携に必要なデータは、日次でバックアップを取り、2ヶ月間保存すること。

4 情報セキュリティに関する要件

総合管理システムが満たす情報セキュリティ要件を下記表に示す。事業者システムのセキュリティレベルもこちらに準拠すること。

情報セキュリティ対策に関する要件

No.	情報セキュリティ対策	対策に係る要件
1	製品選定	<ul style="list-style-type: none"> ISO/IEC15408 情報技術セキュリティ評価基準の認定を受けている製品を優先して採用すること。 設計する技術方式は、実績を十分に備えたものを採用することを原則とする。ただし、新技術方式を採用することを否定するものではなく、新技術を採用する際には、十分な検証が行われていることを発注者に説明し、その指示に従うこと。 本システムの試験稼働時点で必要な機能の組み込みに加えて、稼働期間全体に渡っての継続的な更新（最新かつ実証済みのセキュリティパッチ等を遅滞なく取り込む等）のための仕組みを実現するよう計画すること。
2	ウイルス／マルウェア対策	<ul style="list-style-type: none"> 本システムに係るサーバ及び機器等には、ウイルス／マルウェア対策ソフトウェアを導入し、想定される不正プログラムの感染経路の全てにおいて、その検知及び除去が可能となる設計とすること。 なお、当該対策ソフトウェアの設定（定時スキャンの実施時間の設定等）を容易に、かつ一括で変更できる仕組みを検討し、ウイルスチェックパターンファイルの更新状況及びウイルス被害状況を確認できる環境を整備する設計とすること。
3	アクセス管理	<ul style="list-style-type: none"> 本システムでは、システム及びその保持する情報に対するアクセス証跡を取得及び保管可能な設計とし、必要に応じて確認が可能とすること。 システム内の不正行為や不正通信を感知する仕組みを検討すること。 取得したアクセスログ等の保存期間はサービス提供期間中保持すること。
4	構築時の対策	<ul style="list-style-type: none"> 本システム構築時には、セキュアコーディング（ソースコードに脆弱性が含まれないように実施するプログラミング方法）による開発や、Web サーバの設定等によるセキュリティ対策の強化が実施可能となるよう設計すること。設計に際しては、独立行政法人情報処理推進機構が公表している「安全なウェブサイトの作り方」を参考とすること。 本システム構築時には、情報セキュリティの観点に基づくテストを実施すること。 開発環境についても必要な情報セキュリティ対策を施すこと。
5	基準・ポリシー等の準拠	<ul style="list-style-type: none"> 情報セキュリティ対策実施にあたり、受注者は以下の基準・ポリシー等に準拠し、下記規程等に定められた情報セキュリティ手順等に準拠すること。なお、準拠する規定等は本業務実施時に公開されている最新版とする。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 環境省情報セキュリティポリシー ✓ 政府機関の情報セキュリティのための統一基準 上記の規程等が変更になった場合には、発注者と協議の上、本システムにおいて必要となる対応を実施すること。

No.	情報セキュリティ対策	対策に係る要件
6	ハードウェアの対策	<ul style="list-style-type: none"> • 脆弱性対策として、サーバ及びネットワーク機器等のファームウェアのセキュリティパッチ等の情報を収集し、適用可能な仕組を導入すること。また運用開始前に、脆弱性診断の実施を行い、当該機器上で利用するソフトウェアに関連する公開された脆弱性が発見された場合は適切に対処した上で運用を開始すること。 • 内部利用者の成りすましを防止するため、生体認証機能を利用したハードウェアの導入も検討すること。 • インターネット等を介してデータをやり取りする機器とデータを管理する機器を論理的又は物理的に分離し、内部と外部ネットワークにセグメントを分けること。 • クライアント端末には、外部記憶媒体等への書き込みを禁止するなどの制御する仕組みを設けること。 • 要保護情報を取り扱う端末について、端末の盗難、不正な持ち出し、第三者による不正操作、表示用デバイスの盗み見等の物理的な脅威から保護するための対策を講ずること。またモバイル端末の盗難により第三者により情報窃取されることを防止するための対策を講ずること。 • 端末や機器（実機がある場合サーバ機器を含む）の運用を終了する際には、端末の電磁的記録媒体の全ての情報を抹消すること。実機のない場合も業務に関わる全ての情報を抹消すること。
7	ソフトウェアの対策	<ul style="list-style-type: none"> • OS 及びミドルウェアのセキュアな設定を行うこと（セキュリティパッチの適用、不要サービスの停止、リモートログイン時の管理者権限への昇格禁止等） • 電子メールサーバについては、なりすましや電子メールの不正な中継を行わないように設定し防止策を講ずること。 • 公開情報の動作環境において、セキュリティパッチを迅速かつ確実に適用できるための仕組みを提供すること。 • 公開された脆弱性の有無に関わらず機器設定や構成上で採りうる対策がある場合は、当該対策を実施すること。 • 所管する範囲の端末で利用されている全てのソフトウェアの状態を定期的に調査し、不適切な状態にある端末を検出等した場合には、改善を図ること。 • 多様なソフトウェアを利用することにより脆弱性が存在する可能性が増大することを防止するため、サーバ及び端末で利用を認めるソフトウェア及び利用を禁止するソフトウェアを定めること。また定期的に見直しを行うこと。
8	ネットワークの対策	<ul style="list-style-type: none"> • ネットワーク通信経路は管理され、必要なアクセスだけが許可されるよう設定すること。 • ネットワーク通信経路は、IP アドレス及びポート・レベルで許可・閉鎖が設定できること。 • リモートアクセスによる保守業務等の接続は、指定されたクライアント PC 及び利用者に限定した接続ができること。 • ネットワークに関する変更があった際及び定期的に、経路制御及びアクセス制御の設定の見直しを行うこと。 • ネットワークに関するセキュリティ水準及びサービスレベルを確保するための措置について検討し、発注者の承認を得ること。 • 情報セキュリティインシデントによる影響を防止するために、通信回線装置の運用時に必要な措置を講ずること。 • ネットワークに関する機器や機器に必要なソフトウェアの状態を定期的に調査し、不適切な状態にあると認識した場合には改善を図ること。 • 通信回線装置を要管理対策区域に設置すること。ただし、要管理対策区域への設置が困難な場合は、物理的な保護措置を講ずるなどして、第三者による破壊や不正な操作等が行われないようにすること。

No.	情報セキュリティ対策	対策に係る要件
9	運用におけるセキュリティイベント対応	<ul style="list-style-type: none"> ファイアウォールが検知する不正アクセス、ウィルス対策ソフトウェアが検知するウィルス感染等、セキュリティイベントが発生した場合、速やかに担当職員に報告し、対処することが可能な仕組みを構築し提供すること。
10	利用者認証・アクセス制御	<ul style="list-style-type: none"> 利用者 ID による認証を行い、認可された利用者だけが本システムに接続することができること。また、当該 ID は、認可されたものであることが判別できること。 利用者 ID に応じた適切なアクセス権の設定ができ、定められたアクセス制御を行うこと。 生体認証機能等を含め、複数の認証手段を組み合わせて利用できること。 管理者権限の特権を悪意ある第三者等によって、不正に窃取された際の被害を最小化するための措置及び、内部からの不正操作や誤操作を防止するための措置を講ずること。
11	ログ管理・監査	<ul style="list-style-type: none"> 管理・監視対象とするログを定義すること。 ログは、保管及び閲覧可能な期間を定め、閲覧可能な期間において常時参照可能な状態を維持すること。 ログは、保管内容の改ざんを防止するための仕組みを導入すること。 情報漏えいの疑義発生時もしくは監査対応時等において、ログ管理機能により過去のアクセス状況を追跡できること。 取得したログを定期的に点検又は分析する機能を設け、受注者が不正侵入や不正アクセスに関する点検、分析を実施できるようにすること。 取得したログ等の保存期間はサービス提供期間中保持すること。
12	暗号化	<ul style="list-style-type: none"> 機密情報を送受信する際は、通信経路の暗号化（https 通信、閉域網等）に対応すること。 通信経路の暗号化と OS のログインパスワード等、ソフトウェアが持つ暗号化機能を組み合わせて適用すること。 秘密情報をデータベース及び調達対象のクライアント端末に保存する際は暗号化を施すこと。 暗号鍵の管理方法については発注者の了解を得ること。 暗号アルゴリズムは、電子政府推奨暗号リストに準拠した製品とすること。
13	サービス不能攻撃対策	<ul style="list-style-type: none"> サービス提供に必要なサーバ装置、端末及び通信回線装置が装備している機能又は民間事業者等が提供する手段を用いてサービス不能攻撃への対策を行うこと。 サービス不能攻撃を受けた場合の影響を最小とする手段を備えた情報システムを構築すること。 サービス不能攻撃を受けるサーバ装置、端末、通信回線装置又は通信回線から監視対象を特定し、監視すること。
14	標的型攻撃対策	<ul style="list-style-type: none"> 標的型攻撃による組織内部への侵入を低減する対策（入口対策）を講ずること。 内部に侵入した攻撃を早期検知して対処する、侵入範囲の拡大の困難度を上げる、及び外部との不正通信を検知して対処する対策（内部対策）を講ずること。

No.	情報セキュリティ対策	対策に係る要件
15	アプリケーション・コンテンツのセキュリティ要件	<ul style="list-style-type: none"> • 不正プログラム及び開発時点で公開されている脆弱性を含まないこと。 • 実行プログラムの形式以外にコンテンツを提供する手段がない限り、実行プログラムの形式でコンテンツを提供しないこと。 • 電子証明書を利用するなど、提供するアプリケーション・コンテンツの改ざん等がなく真正なものであることを確認できる手段がある場合には、それをアプリケーション・コンテンツの提供先に与えること。 • 脆弱性が存在するバージョンの OS やソフトウェア等の利用を強制するなどの情報セキュリティ水準を低下させる設定変更を、利用者に要求することがないように提供方式を定めて開発すること。 • サービス利用者その他の者に関する情報が本人の意思に反して第三者に提供されるなどの機能がアプリケーション・コンテンツに組み込まれることがないよう開発すること。
16	DNS の対策	<ul style="list-style-type: none"> • 要安定情報を取り扱う情報システムの名前解決を提供する DNS のコンテンツサーバにおいて、名前解決を停止させないための措置を講ずること。 • DNS のキャッシュサーバにおいて、名前解決の要求への適切な応答をするための措置を講ずること。 • DNS のコンテンツサーバにおいて、利用者のみで使用する名前の解決を提供する場合、当該情報が外部に漏えいしないための措置を講ずること。 • DNS のコンテンツサーバを複数台設置する場合は、管理するドメインに関する情報についてサーバ間で整合性を維持すること。 • 管理するドメインに関する情報が正確であることを定期的を確認すること。

5 狭帯域、携帯不感地域への対策

a) 仮置場、保管場での通信

対象となる仮置場や保管場の中には、狭帯域や携帯不感の区域が含まれる場合がある。そのような場合でも、滞りなく携帯端末を用いた業務を遂行できるよう、別手段の通信の確保等の対策を施すこと。

b) 車載器の対策

輸送ルートの中にも、狭帯域や携帯不感の区域が含まれる。そのような区域を運行することを考慮して、不感の区間走行中は、運行情報を携帯端末内に蓄積し、通信が確保できたタイミングで、蓄積された運行情報をまとめて総合管理システムへ送信できるようにすること。

6 事業者システム障害発生時の対応

- ・ 事業者システム障害発生時は、仮置場を出発した輸送については、原則、別途監督職員の指示に従い、輸送を完了させること。
- ・ 出発前の輸送に関しては、事業者システムが復旧するまで見合わせること。

7 総合管理システム障害発生時の対応

- ・ 総合管理システム障害発生時は、仮置場を出発した輸送については、環境省/JESCOが事業者システムに接続し、監視を継続する。そのために必要なネットワーク及び端末等を用意すること。
- ・ データ連携については、総合管理システム側の障害の可能性を考慮し、通信エラーに関する処理を実装すること（送信エラーが発生しても、事業者システムのみで運行管理が行えるようにする）。
- ・ また、総合管理システム復旧後に未送信データを補完できるよう、後日要求があった際には、該当する時間帯の下記インターフェースを適宜再送すること。

ID	インターフェース名
IFT0090	新タグ付データ取込
IFT0120	車両ステータス更新
IFT0130	輸送カード申請
IFT0140	定置ステータス更新
IFT0150	車両位置情報取込
IFT0210	輸送カード承認

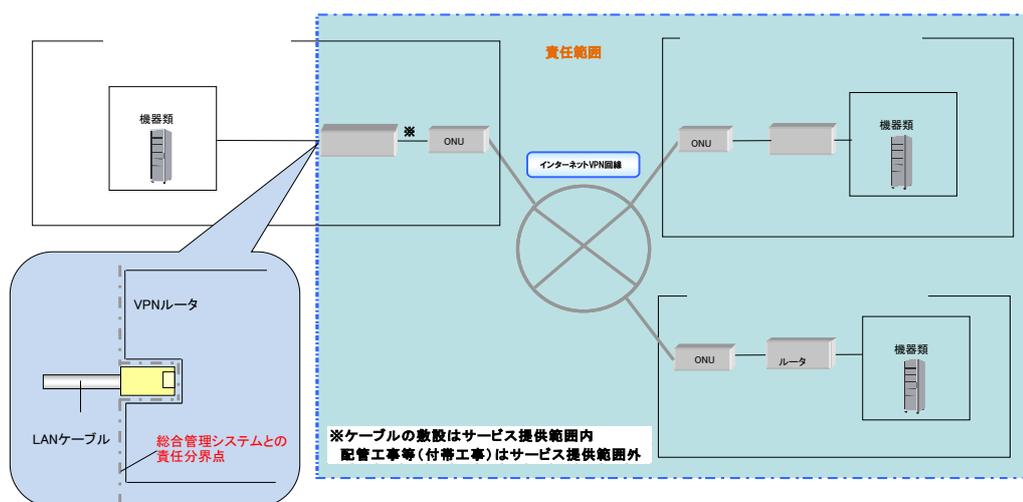
8 中間貯蔵管理センターからの通知メールの受信

事故等の緊急時の情報や各種通知メール等、中間貯蔵管理センターからのメールを受信するための専用メールアドレスを用意すること。

9 事業者システムと総合管理システムとの接続仕様

a) 接続の概要

総合管理システムとの接続概要を図に示す。



- ・ 事業者システムと総合管理システムは、インターネット VPN を用いて接続する。
- ・ 総合管理システムは、メインセンターとバックアップセンターとの冗長構成をとっているが、平常時は、メインセンターと接続する。
- ・ 総合管理システムとの通信は、性能を考慮し、DNS を介さず、直接 IP アドレスを指定して実施する。
- ・ 被災等の原因で、総合管理システムのメインセンターが利用できない状態になった場合は、速やかに接続先 IP アドレスをバックアップセンターへ切替えること。
- ・ 総合管理システムへの送付先となる各種 IP アドレスを通知するので、通知された情報に従い、接続のためのネットワーク環境を構築すること。
- ・ 事業者システムからのインターフェース送信元の IP アドレスを、総合管理システム側のファイアウォールへ設定する必要がある。上記設定のため、送信元サーバの IP アドレスに関する情報を、提供すること。

b) サービス仕様

インターネット VPN 回線および機器類の仕様を以下に示す。

(ア) 回線仕様

No.	項目	仕様
1	回線 (製品名)	インターネット VPN 回線 (NEC Clovernet Standard +UCOM 光アクセス回線)
2	品目 (bps)	事業者、JESCO : 10Mbps 帯域保証アクセス

(イ) VPN ルータ仕様

No.	項目	仕様
1	VPN ルータ製品名	UNIVERGE IX2105
2	暗号化方式	IPsec・IKE メインモード設定済
3	アルゴリズム	暗号アルゴリズム: AES256bit/認証アルゴリズム: SHA-2
4	インターフェース	イーサネット 10/100/1000BASE-T ×5 ポート (うち4ポートはスイッチングハブ)
5	外形寸法 (W×D×H)	135×196×36 (ゴム足含む)
6	消費電力	消費電力 14VA (7W) 以下
7	搭載方法	19 インチラック取付棚 1U3 (付属) によるラック取り付け又は平置き

(ウ) ONU 仕様

No.	項目	仕様
1	外形寸法 (W×D×H)	120×178×40
2	消費電力	消費電力 14VA (7W) 以下
3	搭載方法	平置き

10 連携試験に関する要件

輸送業務を開始する前に、総合管理システムと事業者システムとの連携試験を実施すること。試験の概要は下記の通り。

a) ステップ1：ツールを利用した機能確認

実際にシステム連携した際に、インターフェース齟齬以外でテストが止まらないよう、双方のシステムでツールを使って一気通貫のテストを実施する。

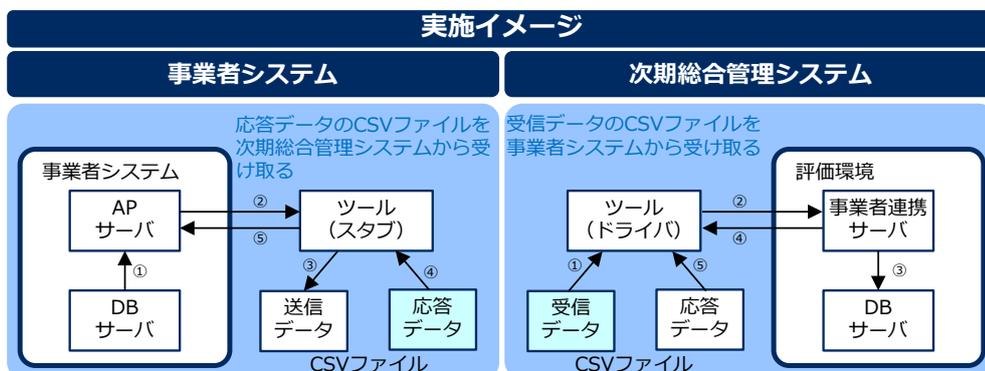
機能追加等におけるリグレッションテストなどを実施する際に、双方個別で試験できる環境を整備する。



b) ステップ2：CSVを利用した静的連携テスト

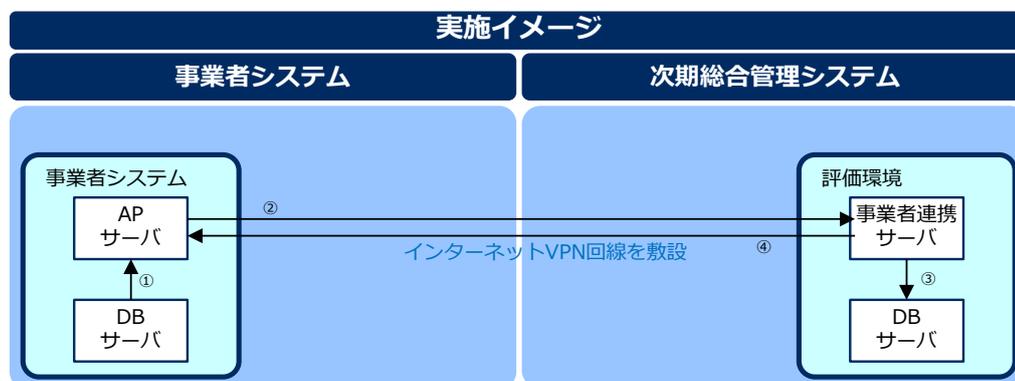
相互に連携するデータを提供することによって、静的な連携試験を実施する。

事業者システム側、次期総合管理システム側双方に外部インターフェースの認識齟齬が無いかを確認する。



c) ステップ3：動的連携テスト

ネットワークの疎通確認を実施すると共に、本番稼働を想定したシステム間連携テストを実施する。



1.1 教育に関する要件

a) 教育資料の作成

事業者システムを利用する一般利用者、システム管理者、運用担当者やヘルプデスク担当者等に対して、導入研修をするための教育資料を作成すること。

b) 教育の実施

事業者システムの利用者が、安全かつ円滑にシステムを利用できるよう、十分な教育を実施すること。

(ア) JV 担当者への教育

事業者システムを主として利用する、一般利用者、システム管理者、運用担当者やヘルプデスク担当者等に対する教育の実施

(イ) 環境省および JESCO への教育

総合管理システム障害発生時に臨時で利用する環境省および JESCO 担当者に対する教育の実施

1 2 システム運用に関する要件

a) システム運用業務

(ア) システム稼働における運用業務

マスタデータの更新等、事業者システム稼働に伴うシステム操作やデータメンテナンスを適宜実施すること。

(イ) システム稼働における監視業務

事業者システムが安定的に正常稼働していることを保証するために、機器や回線の死活監視等の監視業務を実施すること。

システム障害が発生した際は、速やかにその復旧作業を実施すること。

b) ヘルプデスク業務

システム利用者からの問い合わせに対するヘルプデスク業務を実施すること。

受付及び対応時間は日曜日を除く月曜日から土曜日（祝日を含む）にて8時間とする。ただし、時間外就労の計画がある場合は事前協議により対応を延長可能なこと。

1 3 システム保守に関する要件

a) データバックアップ

「第4 非機能要件 3 バックアップに関する要件」を満たすようデータバックアップ業務を実施すること。

b) セキュリティ対策

「第4 非機能要件 4 情報セキュリティに関する要件」を満たすよう、重大なセキュリティ問題が発生した場合は、速やかに対策を実施すること。

c) ハードウェア保守

利用しているハードウェアが故障した際に、輸送業務が円滑に継続できるよう適宜ハードウェア修理・交換等の保守対応を実施すること。

d) ソフトウェア保守

利用しているソフトウェアおよびアプリケーションプログラムが安定稼働するよう、適宜ソフトウェア保守を実施すること。

第5 別紙一覧

- 別紙 1 機能要件一覧（トレーサビリティ）
- 別紙 2 インターフェース仕様書
- 別紙 3 輸送カード様式

別紙1 機能要件一覧（トレーサビリティ）

機能ID	機能分類	機能名	機能概要
JT01-0010	事前準備	仮置場マスタの管理	<ul style="list-style-type: none"> ・総合管理システムで管理している仮置場マスタを共有する。 ・仮置場マスタは、総合管理システムからダウンロードする。 ・取得した仮置場マスタを事業者システム内に登録して管理する。
JT01-0020	事前準備	保管場マスタの管理	<ul style="list-style-type: none"> ・総合管理システムで管理している保管場マスタを共有する。 ・保管場マスタは、総合管理システムからダウンロードする。 ・取得した保管場マスタを事業者システム内に登録して管理する。
JT01-0030	事前準備	定置場マスタの管理	<ul style="list-style-type: none"> ・総合管理システムで管理している定置場マスタを共有する。 ・定置場マスタは、総合管理システムからダウンロードする。 ・取得した定置場マスタを事業者システム内に登録して管理する。
JT01-0040	事前準備	車両データの管理	<ul style="list-style-type: none"> ・輸送車両のデータの登録/更新/削除を実施する。 ・総合管理システムで要求されるデータ項目を管理する。 ・輸送業務で使用された車両IDについては、物理的なデータ削除ができないようにする。
JT01-0050	事前準備	車両データのCSV出力	<ul style="list-style-type: none"> ・輸送車両データをCSV出力する。 ・総合管理システムへ登録するためのフォーマットで出力する。
JT01-0060	事前準備	運転手データの管理	<ul style="list-style-type: none"> ・運転手のデータの登録/更新/削除を実施する。 ・総合管理システムで要求されるデータ項目を管理する。 ・輸送業務で使用された運転手IDについては、物理的なデータ削除ができないようにする。
JT01-0070	事前準備	運転手データのCSV出力	<ul style="list-style-type: none"> ・運転手データをCSV出力する。 ・総合管理システムへ登録するためのフォーマットで出力する。
JT01-0080	輸送準備	除染時データの取込	<ul style="list-style-type: none"> ・総合管理システムからダウンロードした除染時データ（旧タグ情報）を事業者システムに取り込む。 ・データの追加や修正が発生する可能性があるため、データの入替えも可能となるようにする。 ・新タグ紐付け時に利用できるようにデータ管理を行う。
JT01-0090	輸送準備	新タグIDの取込	<ul style="list-style-type: none"> ・総合管理システム上の機能を利用して申請し、発行した新タグIDの取り込みを行う。 ・総合管理システムからダウンロードした新タグIDのCSVファイルを事業者システムに取り込む。 ・新タグ紐付け時に利用できるように新タグIDを管理する。
JT01-0100	輸送準備	新タグ取付情報（新旧タグ紐付情報）の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・輸送対象となる大型土のう袋に付与されている旧タグIDを読み取る。 ・読み取れない場合でも、IDがわかる場合は手動で入力できるようにする。 ・旧タグIDが存在しない、また旧タグ情報が存在しない場合、新規にフレコン情報を登録して、新タグIDを紐付けられるようにする。 ・旧タグ情報を取得した大型土のう袋に、新タグ（物理）を取り付け、新タグIDを読み取って旧タグ情報と紐付けを行う。 ・新タグIDを取り付けた大型土のう袋の線量値（1箇所）、重量値等を測定し、データ登録を行う。 ・必要に応じて、下記項目の更新を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・除去土壌等種別 ・荷姿種別 ・（詰替を含む）オーバーパック有無 ・アルミ内袋の利用有無 ・旧タグIDが付いている複数の大型土のう袋を集約して搬出する場合（2袋→1袋、3袋→1袋等）があるため、1つの新タグIDに複数の旧タグIDを紐付けられるようにする。 ・上記とは逆に分割して搬出することは無いため、1つの旧タグIDに複数の新タグIDは紐付かないよう、既に紐付けた旧タグIDは選択できないようにする。 ・新旧タグを紐付けた情報を輸送前に確認できるようにする。 ・誤りがあった場合に、訂正（紐付け解除等も含む）できるようにする。 ・保管場工場の線量低減措置によって発生したフレコンについて、旧タグIDがなかったものと同様に新規にフレコン情報を登録して、新タグIDを紐付けられるようにする。

別紙1 機能要件一覧（トレーサビリティ）

機能ID	機能分類	機能名	機能概要
JT01-0110	輸送準備	取り付けた新タグデータの送信 (新旧タグ紐付データ)	<ul style="list-style-type: none"> ・大型土のう袋に取り付けた新タグIDと線量値、重量値等の情報、紐付けた旧タグIDのデータを総合管理システムへ送信する。 ・誤りがあった場合に、訂正データ（紐付け解除等も含む）を送信できるようにする。
JT01-0120	輸送準備	輸送ルートの登録	<ul style="list-style-type: none"> ・輸送時にルート外れのチェックができるよう、輸送毎のルートを登録できるようにする。
JT01-0130	輸送状況管理	輸送開始ステータスの送信	<ul style="list-style-type: none"> ・車載端末ログイン時等、仮置場での輸送業務開始時に総合管理システムへ「輸送開始」の輸送ステータスを送信する。
JT01-0140	輸送状況管理	積込登録と積込開始ステータスの送信	<ul style="list-style-type: none"> ・輸送車両に大型土のう袋の積み込みを行い、積み込んだ大型土のう袋の新タグIDを入力する。 ※過積載にならないようチェックを行い、過積載状態では登録できないようにする ※可燃物と不燃物の混載の場合は、その旨分かるようアラート表示等を行う (混載の状態では、原則、輸送カードは発行されず、環境省/JESCO監視室との個別調整が必要となる) ・積込を開始する際に、「積込開始」の輸送ステータスを総合管理システムへ送信する。 ※一つ目の大型土のう袋の積み込みが完了し、新タグIDが登録されたタイミングで送信してもよい
JT01-0150	輸送状況管理	輸送カード情報の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・輸送カード申請に紐づく情報を事業者システムに登録する。 ・輸送カード情報の作成手順として以下を記す（現場作業の制約等により、必ずしも下記の手順通りでなくともよい） <ol style="list-style-type: none"> 1. 該当する輸送の下記、基本情報を入力する。 <ul style="list-style-type: none"> ・車両ID ・運転手 2. 積み込んだ大型土のう袋の情報を紐付ける 3. 車両周りの放射線量を地上1m高さで4方向1回ずつ測定し、測定結果を入力する。 <ul style="list-style-type: none"> ・大型土のう袋毎の表面線量が30μSv/hを超えるものを含む場合には、1m高さに加えて、荷台高さでの線量（4方向）を測定し、登録する ・100μSv/hを超えた値は、登録できないようにする（超えた場合には積込をやり直した上で再測定し、登録する）。
JT01-0160	輸送状況管理	輸送カード申請とステータスの送信	<ul style="list-style-type: none"> ・作成した輸送カード情報を総合管理システムへ送信し、カード発行の申請を行うと同時に「輸送カード発行申請」ステータスを送信する。 ・カード発行の申請を行うと、
JT01-0170	輸送状況管理	輸送カード承認状況の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・輸送カード発行申請の結果が、「強制承認待ち」であった場合に、輸送カードの承認状況を確認するために、インターフェースを総合管理システムへ送信し、承認状況を取得する。
JT01-0180	輸送状況管理	輸送カードの発行とステータスの送信	<ul style="list-style-type: none"> ・輸送カードの発行が、総合管理システム側で承認された場合に輸送カードの発行（印刷出力）を行う。 ・総合管理システム側のチェックで“発行停止”となった場合には、輸送カードの発行（印刷出力）は行わず、発行停止理由を表示する。 ・“発行停止”を連絡を受けた後、どうしてもそのままの条件で発行が必要な場合には、JESCO監視室と電話等で調整を行い、発行停止の強制解除を解除理由と合わせて承認データを受領し、輸送カードの発行（印刷出力）を行う。 ・輸送カードの発行時に、総合管理システムに「輸送カード発行」ステータスを送信する。 ・輸送カードの様式は、別紙3「輸送カード様式」を参照のこと。
JT01-0190	輸送状況管理	輸送状況の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・輸送毎の状況を確認できるようにする。 (輸送車両、積載内容等の輸送カード相当の情報の確認が可能となるようにする)
JT01-0200	輸送状況管理	荷下ろし登録とステータスの送信	<ul style="list-style-type: none"> ・当該車両に積み込まれていた大型土のう袋を荷下ろしし、1袋ごとに荷下ろし登録を行う。 ※輸送カードに記載された新タグIDが全て荷下ろし済みであることをチェックし、異なった場合にはワーニングを表示する。 ・荷下ろし完了時に、「荷下ろし完了」の輸送ステータスを送信する。
JT01-0210	輸送状況管理	定置情報の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・大型土のう袋等を中間貯蔵施設で荷下ろしし、定置場所が決定した際に、新タグID毎に定置場所の情報（定置場IDや区画、段数等）を事業者システムに登録する。 ・定置場へ定置してから何らかの理由で別の場所に定置場所を変更することも想定し、設置情報の変更が行えるようにする。
JT01-0220	輸送状況管理	定置情報の送信	<ul style="list-style-type: none"> ・新タグID毎の定置場所の情報（定置場IDや区画、段数等）を総合管理システムへ送信する。
JT01-0230	輸送状況管理	スクリーニング時最大表面汚染密度登録とステータスの送信	<ul style="list-style-type: none"> ・スクリーニング時測定の前表面汚染密度の最大値を記録する。 ・上記値とともに「スクリーニング完了」ステータスを総合管理システムへ送信する。
JT01-0240	輸送状況管理	輸送終了ステータスの送信	<ul style="list-style-type: none"> ・車載端末ログアウト時等、保管場での輸送業務終了時に、総合管理システムへ「輸送終了」の輸送ステータスを送信する。

別紙1 機能要件一覧（トレーサビリティ）

機能ID	機能分類	機能名	機能概要
JT01-0250	輸送状況管理	車両の位置（GPS）情報の取得	<ul style="list-style-type: none"> ・車両の位置情報追跡のために、車両のGPS位置情報を取得する。 ・総合管理システムの障害や通信障害時を考慮して、事業者システム内でもデータを記録しておく。 ・状況をリアルタイムに近い形で把握するため、取得間隔を可能な限り短くすること。
JT01-0260	輸送状況管理	車両の位置（GPS）情報の送信	<ul style="list-style-type: none"> ・車両の位置情報を総合管理システムへ送信する。 ・総合管理システムへの送信間隔は最大1分間とする。 ・通信不感地帯間のデータは、通信不感地帯通過後に通信回復し、まとめて送信する。 ・車両位置の送信は、車両搭載の端末から直接送信するのではなく、事業者システムを通じて送信する。
JT01-0270	輸送状況管理	輸送車両の位置表示（GIS機能）	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者システム内で輸送車両の現在位置を地図上に表示する等により、輸送状況をリアルタイムで監視できるようにする。
JT01-0280	輸送状況管理	輸送車両の軌跡表示	<ul style="list-style-type: none"> ・輸送車両と日時期間を指定することで、該当する車両の移動した軌跡を地図上で確認できるようにする。
JT01-0290	輸送状況管理	ルート外れの確認	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者システム内で輸送車両の輸送ルートが、輸送計画で調整された輸送ルートに沿っているかどうか地図画面上で監視する。 ・ルートを外れた場合は、アラートを上げて問題を即座に検知し、運転手に正しいルートを通るよう是正を促せるようにする。 ・判断が難しい場合は、都度管理センターと連絡・調整する。 ・運転手に対する情報連携及びアラート等コミュニケーションについて、安全で効率的な方法を検討し、実装する。
JT01-0300	輸送状況管理	事故情報の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・事故が発生した際は、事業者システムの機能とは別に運転手や管理センターと連絡・調整を行うが、事故に関する詳細な情報を事業者システム内で登録して管理できるようにする。 ・システム化ではなくファイル等による管理でも可とする。
JT01-0310	輸送状況管理	急ブレーキ等の運転情報の記録	<ul style="list-style-type: none"> ・運転情報※を車両搭載端末を用いて記録する。 ・随時または、業務完了後に事業者システム側に運転情報を吸い上げてデータを管理する。 <p>※運転情報として急ブレーキ、最高速度（一般道、高速）、急加速、急減速等の発生日時と緯度経度等が想定される。</p>
JT01-0320	輸送状況管理	急ブレーキ等の運転情報のCSV出力	<ul style="list-style-type: none"> ・総合管理システムへ登録を行うため、事業者システムから運転情報のデータをCSV出力する。

別紙2 インターフェース仕様書

1. インターフェース一覧

No.	サブシステム	外部IF-ID	外部IF名	連携先	頻度	連携方式					説明
						種類	接続方式	データ形式	改行	文字コード	
1	トレーサビリティ	IFT0020	車両データ取込	各事業者	随時	Web画面(UP)	HTTPS	CSV	CRLF	SJIS	車両データの登録
2	トレーサビリティ	IFT0050	除染時データ出力	各事業者	随時	Web画面(DL)	HTTPS	CSV	CRLF	SJIS	輸送事業者システムへ取り込む旧タグデータの出力
3	トレーサビリティ	IFT0080	新タグID発行(画面)	各事業者	随時	Web画面(DL)	HTTPS	CSV	CRLF	SJIS	新タグIDの採番出力
4	トレーサビリティ	IFT0090	新タグ紐付データ取込	各事業者	随時	API	HTTP	JSON	-	UTF-8	新タグIDと旧タグIDの紐付けデータの送信
5	トレーサビリティ	IFT0100	運行計画取込	各事業者	随時	Web画面(UP)	HTTPS	CSV	CRLF	SJIS	運行計画(仮置場単位での予定)の登録
6	トレーサビリティ	IFT0110	輸送予定取込	各事業者	随時	Web画面(UP)	HTTPS	CSV	CRLF	SJIS	輸送予定(日単位での予定)の登録
7	トレーサビリティ	IFT0120	車両ステータス更新	各事業者	随時	API	HTTP	JSON	-	UTF-8	車両ステータスの送信
8	トレーサビリティ	IFT0130	輸送カード申請	各事業者	随時	API	HTTP	JSON	-	UTF-8	輸送カード申請の送信
9	トレーサビリティ	IFT0140	定置ステータス更新	各事業者	随時	API	HTTP	JSON	-	UTF-8	定置ステータスの送信
10	トレーサビリティ	IFT0150	車両位置情報取込	各事業者	1分毎	API	HTTP	JSON	-	UTF-8	車両位置情報の送信
11	トレーサビリティ	IFT0160	運転情報取込	各事業者	随時	Web画面(UP)	HTTPS	CSV	CRLF	SJIS	車両の急加速、急減速等の登録
12	トレーサビリティ	IFT0210	輸送カード承認状況	各事業者	随時	API	HTTP	JSON	-	UTF-8	輸送カード承認状況の取得
13	トレーサビリティ	IFT0300	運転手マスタ取込	各事業者	随時	Web画面(UP)	HTTPS	CSV	CRLF	SJIS	運転手マスタの登録
14	トレーサビリティ	IFT0320	仮置場マスタ出力	各事業者	随時	Web画面(DL)	HTTPS	CSV	CRLF	SJIS	仮置場マスタの出力
15	トレーサビリティ	IFT0340	保管場マスタ出力	各事業者	随時	Web画面(DL)	HTTPS	CSV	CRLF	SJIS	保管場マスタの出力
16	トレーサビリティ	IFT0360	定置場マスタ出力	各事業者	随時	Web画面(DL)	HTTPS	CSV	CRLF	SJIS	定置場マスタの出力
17	トレーサビリティ	IFT0370	運行計画出力	各事業者	随時	Web画面(DL)	HTTPS	CSV	CRLF	SJIS	運行計画(仮置場単位での予定)の出力
18	トレーサビリティ	IFT0380	輸送予定出力	各事業者	随時	Web画面(DL)	HTTPS	CSV	CRLF	SJIS	輸送予定(日単位での予定)の出力
19	トレーサビリティ	IFT0400	定置区画マスタ出力	各事業者	随時	Web画面(DL)	HTTPS	CSV	CRLF	SJIS	定置区画マスタの出力
20	被ばく情報	IFR0010	日次報告データ取込	各事業者	週次	Web画面(UP)	HTTPS	CSV	CRLF	SJIS	被ばく情報の日次報告データの取込
21	被ばく情報	IFR0020	月次報告データ取込	各事業者	月次	Web画面(UP)	HTTPS	CSV	CRLF	SJIS	被ばく情報の月次報告データの取込
22	被ばく情報	IFR0030	3ヶ月累積データ取込	各事業者	月次	Web画面(UP)	HTTPS	CSV	CRLF	SJIS	被ばく情報の3ヶ月累積データの取込
23	被ばく情報	IFR0040	四半期累積データ取込	各事業者	四半期	Web画面(UP)	HTTPS	CSV	CRLF	SJIS	被ばく情報の四半期累積データの取込
24	被ばく情報	IFR0050	作業員データ取込	各事業者	月次	Web画面(UP)	HTTPS	CSV	CRLF	SJIS	作業員の被ばく歴、講習受講日等の取込
25	モニタリング	IFM0020	空間線量率(手動)取込	各事業者	日次	Web画面(UP)	HTTPS	CSV	CRLF	SJIS	空間線量率(手動測定)の測定結果の取込
26	モニタリング	IFM0050	地下水放射線物質濃度取込	各事業者	週次	Web画面(UP)	HTTPS	CSV	CRLF	SJIS	地下水放射線物質濃度の測定結果の取込
27	共通	IFC0010	CSV連携エラー情報出力	各事業者	随時	Web画面(DL)	HTTPS	CSV	CRLF	SJIS	連携時のエラー情報の出力

※総合管理システム側からの視点になります。

別紙2 インターフェース仕様書

2. インターフェース詳細

ファイル インターフェースID		IFT0020		ファイル インターフェース名		車両データ取込						入出力区分	入力
ファイル名		任意		固定長・XML・CSV		CSV						文字コード	SJIS
No.	レベル	データ項目名	繰返し	データ例	主 キ ー	データ形式						備考	
						必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID
1	-	車両データ変更区分	1	I		○	半角英字	-	-	-	-	CC0002	連携データの登録、更新、削除を制御する区分。
2	-	車両ID	1	VC00000000000000000001	1	○	半角英数字	-	20	-	-	-	車両を特定するID。
3	-	車両名称	1	1号車		○	全角混在	-	20	-	-	-	○号車等車両を判断できる名称
4	-	車種	1	10tダンプ		○	全角混在	-	20	-	-	-	車のモデル
5	-	車両ナンバー	1	福島100あ12-34		○	全角混在	-	20	-	-	-	車両のナンバー
6	-	最大積載量	1	8176		○	半角数値	-	6.0	0.0	-	-	車検証に記載されている最大積載量 単位: dddddd(kg)
7	-	車両重量	1	12555		○	半角数値	-	6.0	0.0	-	-	車検証に記載されている車両重量 単位: dddddd(kg)
8	-	空車重量	1	8176		○	半角数値	-	6.0	0.0	-	-	実測した車両の空状態での重量 単位: dddddd(kg)
9	-	検索対象フラグ	1	0		○	半角数字	-	-	-	-	CT0040	車両が故障した場合などに検索対象としないよう制御するフラグ
10	-	車両データメモ	1	○○車両			全角混在	-	400	-	-	-	任意のメモ

別紙2 インターフェース仕様書

ファイル インターフェースID		IFT0050				ファイル インターフェース名		除染時データ					入出力区分	出力
ファイル名		除染時データ_作成日時(YYYYMMDD).csv				固定長・XML・CSV		CSV					文字コード	SJIS
No.	レベル	データ項目名	繰返し	データ例	主 キ ー	データ形式						備考		
						必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID	
1	-	旧タグID	1	A地区〇〇〇〇場12-345	1	○	全角混在	-	50	-	-	-	除去土壌等番号	
2	-	仮置場ID	1	m543d001	2	○	半角英数字	-	20	-	-	-	除去土壌等を受け入れた仮置場ID	
3	-	エリア名	1	第1地区			全角混在	-	50	-	-	-	除去土壌等が発生した地域(工区や仮置場の所属する地域など)	
4	-	津波浸水	1	1			半角英数字	-	-	-	-	CT0005	津波浸水域由来/それ以外	
5	-	特定施設	1	1			半角英数字	-	-	-	-	CT0006	特定施設由来/それ以外	
6	-	除去土壌等種別	1	1		○	半角英数字	-	-	-	-	CT0007	除去土壌等の種別(可燃、不燃、など)コード	
7	-	発生土地分類	1	7			半角英数字	-	-	-	-	CT0008	除去土壌等の発生地点の(現状)土地の分類コード	
8	-	荷姿種別	1	1		○	半角英数字	-	-	-	-	CT0009	荷姿の種別コード	
9	-	内袋の利用方法	1	2			半角英数字	-	-	-	-	CT0010	大型土のう袋等の内袋の使用有無	
10	-	アルミ内袋の利用	1	1			半角英数字	-	-	-	-	CT0011	大型土のう袋等の内袋の材質	
11	-	容積	1	2.41			半角数値	-	4.2	0.00	-	-	除去土壌等を格納した大型土のう袋等の容積。単位は立方メートル	
12	-	空間線量率	1	0.45			半角数値	-	8.2	0.00	-	-	大型土のう袋等の表面より1cmの距離で測定した結果(μ Sv/h)	
13		発生土地の利用区分	1	5_その他			全角混在	-	10	-	-	-		
14		発生場所	1				全角混在	-	10	-	-	-		
15		備考(除去土壌情報)	1	1m離れ測定17.80			全角混在	-	50	-	-	-		
16	-	除染時データメモ	1	〇〇〇JV出力 2015/11/25			全角混在	-	400	-	-	-	任意のメモ欄	

別紙2 インターフェース仕様書

ファイル インターフェースID		IFT0080				ファイル インターフェース名		新タグID発行					入出力区分	出力
ファイル名		新タグID発行_作成日時(YYYYMMDDHHMMSS).csv				固定長・XML・CSV		CSV					文字コード	SJIS
No.	レベル	データ項目名	繰返し	データ例	主 キ ー	データ形式							備考	
						必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)	コードID		
1	-	新タグID	1	a327000000043378a	1	○	半角英数字	-	20	-	-	-	総管理システムにて発行される、土のう袋を特定するID。	

別紙2 インターフェース仕様書

インターフェースID	インターフェース名
IFT0090	新タグ紐付データ取込

機能概要
<p>新タグを付けた情報(新タグと旧タグを紐づけた情報)を受信して取り込む。 旧タグがない、または特定できない場合も新タグを付けた情報(旧タグのない情報)として受信取込する。 入力データに異常な値が含まれる場合、異常データのみ登録をスキップする。</p>

前提条件
<p>主キー: 事業者ID、送信ID</p>

区分	No	レベル	データ項目	要素数	データ例	データ形式						項目説明	
			論理名			必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID
要求	1	01	事業者ID	1	JV000000000000000001	○	半角英数字	-	20	-	-	-	要求した事業者となる。
	2	01	仮置場ID	1	m543d001	○	半角英数字	-	20	-	-	-	
	3	01	新旧タグ紐付明細	1~n	-	○	配列	-	-	-	-	-	新タグと旧タグは「1:N」の関係のため明細は旧タグ毎となる
	4	02	変更区分	1	I	○	半角英字	-	-	-	-	CC0002	総合管理システムにて、新タグ紐付け情報の登録、更新、削除を制御するのに使用する。 ※I:新規登録、U:更新、D:削除
	5	02	送信ID	1	01234567890123456789	○	半角英数字	-	20	-	-	-	連携対象データを特定するID。
	6	02	新タグID	1	a327000000043378a	○	半角英数字	-	20	-	-	-	総合管理システムにて発行される、土のう袋を特定するID。
	7	02	旧タグID	1	○○○運動場地区23-451		全角混在	-	50	-	-	-	旧タグ情報がない(ダミータグ)場合は空白。 ニコイチ等の場合には、旧タグIDが重複する。その場合はデータの重複を避けるために「ニコイチサンコイチ枝番」で対応する。

別紙2 インターフェース仕様書

区分	No	レベル	データ項目	要素数	データ例	データ形式						項目説明	
			論理名			必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID
	8	02	現場確認タグID	1	F00133345555		全角混在	-	50	-	-	-	旧タグ情報がない(ダミータグ)場合で現物に旧タグIDと類推できるIDが記載されている場合、設定する項目。
	9	02	ニコイチサンコイチ枝番	1	9	○	半角数値	-	1,0	0	-	-	ニコイチ等がある場合に使用する枝番となる。 0:ニコイチ等無。1~:ニコイチがあれば同じ新タグID内で重複しないよう枝番付与。
	10	02	搬出時大型土のう袋等重量	1	360	○	半角数値	-	6,0	0	-	-	単位: dddddd(kg) ※ニコイチサンコイチがあれば新タグID内で同一値を設定すること。
	11	02	搬出時大型土のう袋等線量	1	122.23	○	半角数値	-	8,2	0.00	-	-	単位: dddddd.dd(μ Sv/h) ※ニコイチサンコイチがあれば新タグID内で同一値を設定すること。
	12	02	紐付登録日時	1	2015/11/02 13:05:34	○	日時	-	-	-	-	-	事業者システムで記録されている紐づけされた日時。 ※ニコイチサンコイチがあれば新タグID内で同一値を設定すること。
	13	02	荷姿種別	1	1	○	半角英数字	-	-	-	-	CT0009	旧タグ情報がある場合には、新タグIDに紐付く旧タグ情報を設定する。 旧タグ情報がない場合であっても、ダミー輸送する情報を設定する。
	14	02	オーバーバック有無	1	1	○	半角英数字	-	-	-	-	CT0042	
	15	02	エリア名	1	第1地区		全角混在	-	50	-	-	-	
	16	02	津波浸水	1	1	○	半角英数字	-	-	-	-	CT0005	
	17	02	特定施設	1	1	○	半角英数字	-	-	-	-	CT0006	
	18	02	除去土壌等種別	1	2	○	半角英数字	-	-	-	-	CT0007	
	19	02	発生土地分類	1	1		半角英数字	-	-	-	-	CT0008	
	20	02	内袋の利用方法	1	1		半角英数字	-	-	-	-	CT0010	
	21	02	アルミ内袋の利用	1	1	○	半角英数字	-	-	-	-	CT0011	
	22	02	容積	1	12.13		半角数値	-	4,2	0.00	-	-	
	23	02	空間線量率	1	56565.45		半角数値	-	8,2	0.00	-	-	

別紙2 インターフェース仕様書

区分	No	レベル	データ項目		要素数	データ例	データ形式					項目説明		
			論理名				必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)		範囲 (上限)	コードID
	24	02	発生土地の利用区分		1			全角混在	-	10	-	-	-	
	25	02	発生場所		1			全角混在	-	10	-	-	-	
	26	02	備考(除去土壌情報)		1			全角混在	-	50	-	-	-	
	27	02	新タグ紐付データメモ		1	新タグと旧タグを紐づけた情報		全角混在	-	400	-	-	-	
応答	1	01	ステータスコード		1	00	○	半角数字	-	-	-	-	CC0001	インターフェースの連携処理が正常終了したか異常終了したか。 ※異常終了した場合、要求に対するデータ更新は全て取り消しとなる。 00:正常終了 01:異常終了
	2	01	エラーコード		1	ECJ0001		半角英数字	-	7	-	-	-	ステータスコードが「00」以外は必須。
	3	01	受信日時		1	2015/11/22 13:11:34	○	日時	-	-	-	-	-	リクエストを受信した日時。
	4	01	データ名		1	新タグ付データ	○	全角混在	-	50	-	-	-	連携対象のデータ名。
	5	01	連携結果コード		1	0	○	半角数字	-	-	-	-	CC0005	0:異常データ無し、1:異常データ有り
	6	01	正常件数		1	0	○	半角数値	-	6	0	-	-	正常に取込した件数。
	7	01	異常件数		1	0	○	半角数値	-	6	0	-	-	エラーのあった件数。
	8	01	異常データ明細		0~n	-		配列	-	-	-	-	-	リクエストされた項目の内、入力チェックで異常と判定されたデータ。
	9	02	送信ID		1	01234567890123456789		半角英数字	-	20	-	-	-	異常データの送信ID。
	10	02	データ項目		1	dtl[0].newTagId		半角文字	-	200	-	-	-	異常データ項目を設定。 階層構造の場合は要素名を「.」で繋げた形式。
	11	02	異常コード		1	01		半角数字	-	-	-	-	CC0006	01:必須エラー、02:サイズエラー、03:範囲エラー、04:書式エラー、05:データ状況エラー(重複データ)、06:データ状況エラー(更新対象無し)、07:データ状況エラー(削除対象無し)

別紙2 インターフェース仕様書

ファイル インターフェースID		IFT0100				ファイル インターフェース名		運行計画取込					入出力区分	入力
ファイル名		任意				固定長・XML・CSV		CSV					文字コード	SJIS
No.	レベル	データ項目名	繰返し	データ例	主 キ ー	データ形式						備考		
						必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID	
1	-	変更区分	1	I		○	半角英字	-	-	-	-	CC0002	総合管理システムにて、輸送計画の登録、更新、削除を制御するのに使用する。 ※I:新規登録、U:更新、D:削除	
2	-	運行計画ID	1	UNKOU000001	1	○	半角英数字	-	20	-	-	-	運行計画を特定するID	
3	-	運行計画名(工事名)	1	〇〇運行計画		○	全角混在	-	50	-	-	-		
4	-	期間(開始年月日)	1	2015/10/05		○	日付	-	-	-	-	-	書式:yyyy/mm/dd	
5	-	期間(終了年月日)	1	2016/02/11		○	日付	-	-	-	-	-	書式:yyyy/mm/dd	
6	-	仮置場ID	1	K000000002		○	半角英数字	-	20	-	-	-	搬出元となる場所(仮置場)	
7	-	仮置場有効出発時間(開始)	1	09:00		○	時刻	-	5	00:00	23:59	-	仮置場を出発して良い時間帯の開始時間を設定	
8	-	仮置場有効出発時間(終了)	1	17:00		○	時刻	-	5	00:00	23:59	-	仮置場を出発して良い時間帯の終了時間を設定	
9	-	保管場ID	1	U11222200		○	半角英数字	-	20	-	-	-	受入先となる場所(保管場)	
10	-	運行計画予定数量	1	10			半角数値	-	6.0	0.0	-	-	今回の輸送計画で輸送する予定数量 単位:zzzzz9(袋)	
11	-	運行状態	1	0		○	半角数字	-	-	-	-	CT0028		
12	-	運行計画メモ	1	メモ			全角混在	-	400	-	-	-	任意のメモ欄	

別紙2 インターフェース仕様書

ファイル インターフェースID		IFT0110			ファイル インターフェース名		輸送予定取込					入出力区分	入力
ファイル名		任意			固定長・XML・CSV		CSV					文字コード	SJIS
No.	レベル	データ項目名	繰返し	データ例	主 キ ー	データ形式						備考	
						必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID
1	-	運行計画ID	1	UNKOU000001		○	半角英数字	-	20	-	-	-	運行計画を特定するID
2	-	輸送日	1	2016/04/07		○	日付	-	-	-	-	-	輸送実施日を設定。 (yyyy/mm/dd) 輸送日を変更する場合は、変更前を削除し、新たな輸送日を登録する。
3	-	車両ID	1	123456789012345678 90		○	半角英数字	-	20	-	-	-	車両を識別するIDを設定。
4	-	運転手ID	1	DV000000001		○	半角英数字	-	20	-	-	-	
5	-	予定ルート(往路)	1	A01		○	半角英数字	-	3	-	-	-	
6	-	予定ルート(復路)	1	A01		○	半角英数字	-	3	-	-	-	
7	-	輸送予定メモ	1	0.321			全角混在	-	400	-	-	-	任意のメモ欄。

別紙2 インターフェース仕様書

インターフェースID	インターフェース名
IFT0120	車両ステータス更新

機能概要
<p>車両毎の業務状況を示すデータを受信して更新する。 以下のステータス変更時にチェックを行う。</p> <p>①輸送予定と一致していない場合には、応答にてアラートの情報が設定され返却される。 ・輸送開始: 車両と運転手の組み合わせチェック(1巡目) ・積込開始: 車両と運転手の組み合わせチェック(2巡目以降) ・積込開始: 車両順序のチェック</p> <p>②輸送カードに記載されている新タグID分、全てが荷下ろし完了できない場合、応答にてアラートの情報が設定され返却される。 ・荷下ろし完了: 荷下ろし全量完了のチェック</p> <p>③次の輸送が予定されている輸送車両が輸送終了のステータスを送信してきた場合、応答にてアラートの情報が設定され返却される。 ・輸送終了: ログオフチェック(ログオフ誤り)</p>

前提条件
主キー: 事業者ID、送信ID

区分	No	レベル	データ項目	要素数	データ例	データ形式						項目説明	
			論理名			必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID
要求	1	01	事業者ID	1	JV000000000000000001	○	半角英数字	-	20	-	-	-	要求した事業者となる。
	2	01	車両ステータス明細	1~n	-	○	配列	-	-	-	-	-	車両毎に明細が作成される。
	3	02	変更区分	1	I	○	半角英字	-	-	-	-	CC0002	総合管理システムにて、車両情報の登録、更新、削除を制御するのに使用する。 ※I:新規登録、U:更新、D:削除
	4	02	送信ID	1	01234567890123456789	○	半角英数字	-	20	-	-	-	連携対象データを特定するID。
	5	02	車両ID	1	12345678901234567890	○	半角英数字	-	20	-	-	-	車両を特定するID。
	6	02	輸送カード番号	1	d123456789012d	△	半角英数字	-	20	-	-	-	輸送情報を特定するID。 ※輸送ステータス区分が「輸送カード発行済み」以降のステータス時は必須項目となる。

別紙2 インターフェース仕様書

区分	No	レベル	データ項目	要素数	データ例	データ形式						項目説明	
			論理名			必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID
	7	02	運転手ID	1	DV000000000000000001	○	半角英数字	-	20	-	-	-	輸送ステータス区分が「輸送開始」、「積込開始」時には必須項目となる。
	8	02	輸送ステータス区分	1	01	○	半角英数字	-	-	-	-	CT0014	車両毎の業務情報を示すステータスとなる。 ※「輸送開始」、「積込開始」、「荷下ろし完了(全数量確認)」、「スクリーニング完了」、「輸送終了」
	9	02	輸送ステータス変更日時	1	2015/04/10 12:02:12	○	日時	-	-	-	-	-	輸送ステータス区分が変更された日時。
	10	02	中間貯蔵施設到着時 車両重量	1	8500	△	半角数値	-	6.0	0.0	-	-	単位: ddddd(kg) 輸送ステータス区分が「保管場所到着」の場合のみ必須となる項目。
	11	02	荷降ろした大型土のう袋等明細	0~n	-	△	配列	-	-	-	-	-	輸送ステータス区分が「荷下ろし完了」の場合のみ必須となる項目。
	12	03	新タグID	1	a327000000043378a	○	半角英数字	-	20	-	-	-	
	13	02	スクリーニング時最大表面汚染密度	1	0	△	半角数値	-	6.0	0	-	-	単位: ddddd(cpm) 輸送ステータス区分が「スクリーニング完了」の場合のみ必須となる項目。
応答	1	01	ステータスコード	1	00	○	半角数字	-	-	-	-	CC0001	インターフェースの連携処理が正常終了したか異常終了したか。 ※異常終了した場合、要求に対するデータ更新は全て取り消しとなる。 00:正常終了 01:異常終了
	2	01	エラーコード	1	ECJ0001		半角英数字	-	7	-	-	-	ステータスコードが「00」以外は必須。
	3	01	受信日時	1	2015/11/22 13:11:34	○	日時	-	-	-	-	-	リクエストを受信した日時。
	4	01	データ名	1	車両ステータス	○	全角混在	-	50	-	-	-	連携対象のデータ名。
	5	01	アラート有無	1	0	○	半角数字	-	-	-	-	CC0007	0:アラートなし、1:アラートあり

別紙2 インターフェース仕様書

区分	No	レベル	データ項目	要素数	データ例	データ形式						項目説明	
			論理名			必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID
	6	01	アラートデータ明細	0~n	-		配列	-	-	-	-	-	リクエストされた項目の内、アラート対象と判定されたデータ。
	7	02	車両ID	1	12345678901234567890		半角英数字	-	20	-	-	-	車両を特定するID。
	8	02	送信ID	1	01234567890123456789		半角英数字	-	20	-	-	-	アラートデータの送信ID。
	9	02	アラートコード	1	01		半角数字	-	-	-	-	CC0008	アラートを判別するコード。
	10	01	連携結果コード	1	0	○	半角数字	-	-	-	-	CC0005	0:異常データ無し、1:異常データ有り
	11	01	正常件数	1	0	○	半角数値	-	6	0	-	-	正常に取込した件数。
	12	01	異常件数	1	0	○	半角数値	-	6	0	-	-	エラーのあった件数。
	13	01	異常データ明細	0~n	-		配列	-	-	-	-	-	リクエストされた項目の内、入力チェックで異常と判定されたデータ。
	14	02	送信ID	1	01234567890123456789		半角英数字	-	20	-	-	-	異常データの送信ID。
	15	02	データ項目	1	dtl[0].vclId		半角文字	-	200	-	-	-	異常データ項目を設定。 階層構造の場合は要素名を「.」で繋げた形式。
	16	02	異常コード	1	01		半角数字	-	-	-	-	CC0006	01:必須エラー、02:サイズエラー、03:範囲エラー、04:書式エラー、05:データ状況エラー(重複データ)、06:データ状況エラー(更新対象無し)、07:データ状況エラー(削除対象無し)

インターフェースID	インターフェース名
IFT0130	輸送カード申請

機能概要
<p>輸送カード申請のデータを受信して更新する。 輸送カード発行申請時のみ以下のチェックを行う。</p> <p>積載内容の下記チェックでNGの場合、応答にてアラートの情報が設定され返却される。</p> <p>①積載重量のチェック 搬出時大型土のう袋等重量の合計値が車両の積載可能重量を超えた場合にアラートとし、申請結果は否認とする。</p> <p>②積載物の可燃不燃の混載についてチェック 積載物の除去土壌等種別で可燃不燃が混載の場合はアラートとし、強制発行承認待ちとする。</p> <p>③積載物の有害無害の混載についてチェック 積載物の除去土壌等種別、特定施設で有害無害が混載の場合はアラートとし、申請結果は否認とする。 ※有害物質は、正式に輸送許可が得られるまでは、連携結果コードが「異常データあり」として返却する。</p> <p>輸送車両の下記チェックでNGの場合、応答にてアラートの情報が設定され返却される。</p> <p>①車両順序のチェック 輸送カード申請の順番と輸送予定の順番が異なる場合にアラートとし、強制発行承認待ちとする。</p> <p>②車両周り(前後左右)のいずれか1箇所が閾値(車両周り空間線量)または、荷台の高さ(前後左右)のいずれか1箇所が閾値(荷台の高さ空間線量)を超えている場合にアラートとし、申請結果は否認とする。 ※輸送するフレコンが閾値(車両周り空間線量)を超えている場合で荷台の高さ(前後左右)のいずれかが未設定であれば必須項目未設定により連携結果コードが「異常データあり」として返却する。</p> <p>③車両周り(前後左右)の線量の突出チェック 前後左右何れかが10μSV/hを越えた場合または、他の値の平均値の5倍以上の場合、突出していると判定し、アラートとし、強制発行承認待ちとする。</p>

前提条件
主キー: 事業者ID、送信ID

区分	No	レベル	データ項目	要素数	データ例	データ形式						項目説明	
			論理名			必須	種類	サイズ(下限)	サイズ(上限)	範囲(下限)	範囲(上限)		コードID
要求	1	01	事業者ID	1	JV00000000000000000001	○	半角英数字	-	20	-	-	-	要求した事業者となる。
	2	01	輸送カード明細	1~n	-	○	配列	-	-	-	-	-	輸送カード毎に明細が作成される。

別紙2 インターフェース仕様書

区分	No	レベル	データ項目	要素数	データ例	データ形式						項目説明		
			論理名			必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID	
	3	02	変更区分	1	I	○	半角英字	-	-	-	-	CC0002	総合管理システムにて、輸送情報の登録、更新、削除を制御するのに使用する。 ※I:新規登録、U:更新、D:削除	
	4	02	送信ID	1	01234567890123456789	○	半角英数字	-	20	-	-	-	-	連携対象データを特定するID。
	5	02	輸送カード番号	1	d123456789012d	○	半角英数字	-	20	-	-	-	-	輸送情報を特定するID。 事業者内でユニークで発番すること。
	6	02	車両ID	1	VC000000000000000001	○	半角英数字	-	20	-	-	-	-	車両を特定するID。
	7	02	運転手ID	1	DV000000000000000001	○	半角英数字	-	20	-	-	-	-	運転手を特定するID。
	8	02	輸送ステータス区分	1	04	○	半角英数字	-	-	-	-	CT0014	輸送状況を示すステータスとなる。 ※「輸送カード発行申請」、「輸送カード発行済み」のみ指定可能。	
	9	02	輸送ステータス日時	1	2015/03/10 12:02:12	○	日時	-	-	-	-	-	-	輸送ステータスが変更された日時。
	10	02	物品種類	1	0	○	半角英数字	-	-	-	-	CT0002	可燃/不燃を特定する値。	
	11	02	有害物質	1	0	○	半角英数字	-	-	-	-	CT0003	有害物質の有無を特定する値。	
	12	02	積載大型土のう袋等明細	1~n	-	○	配列	-	-	-	-	-	-	積載時の土のう袋等毎に明細が作成される。
	13	03	新タグID	1	a327000000043378a	○	半角英数字	-	20	-	-	-	-	総合管理システムにて発行される、土のう袋を特定するID。
	14	02	車両周り放射線量:前	1	0.12	○	半角数値	-	8.2	0.00	-	-	-	前方の放射線量を示す値。 単位: μ SV/h
	15	02	車両周り放射線量:後	1	0.32	○	半角数値	-	8.2	0.00	-	-	-	後方の放射線量を示す値。 単位: μ SV/h
	16	02	車両周り放射線量:左	1	0.22	○	半角数値	-	8.2	0.00	-	-	-	左方の放射線量を示す値。 単位: μ SV/h
	17	02	車両周り放射線量:右	1	0.22	○	半角数値	-	8.2	0.00	-	-	-	右方の放射線量を示す値。 単位: μ SV/h

別紙2 インターフェース仕様書

区分	No	レベル	データ項目	要素数	データ例	データ形式						項目説明	
			論理名			必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID
	18	02	荷台高さの放射線量:前	1	0.12	△	半角数値	-	8.2	0.00	-	-	前方の放射線量を示す値。 単位: μ SV/h 30 μ SV/hを越えるフレコンがあつた場合必須
	19	02	荷台高さの放射線量:後	1	0.32	△	半角数値	-	8.2	0.00	-	-	後方の放射線量を示す値。 単位: μ SV/h 30 μ SV/hを越えるフレコンがあつた場合必須
	20	02	荷台高さの放射線量:左	1	0.22	△	半角数値	-	8.2	0.00	-	-	左方の放射線量を示す値。 単位: μ SV/h 30 μ SV/hを越えるフレコンがあつた場合必須
	21	02	荷台高さの放射線量:右	1	0.22	△	半角数値	-	8.2	0.00	-	-	右方の放射線量を示す値。 単位: μ SV/h 30 μ SV/hを越えるフレコンがあつた場合必須
	22	02	保管場到着予定日時	1	2015/01/10 08:12:03	○	日時	-	-	-	-	-	保管場への到着予定時間
応答	1	01	ステータスコード	1	00	○	半角数字	-	-	-	-	CC0001	インターフェースの連携処理が正常終了したか異常終了したか。 ※異常終了した場合、要求に対するデータ更新は全て取り消しとなる。 00:正常終了 01:異常終了
	2	01	エラーコード	1	ECJ0001		半角英数字	-	7	-	-	-	ステータスコードが「00」以外は必須。
	3	01	受信日時	1	2015/11/22 13:11:34	○	日時	-	-	-	-	-	リクエストを受信した日時。
	4	01	データ名	1	輸送カード申請	○	全角混在	-	50	-	-	-	連携対象のデータ名。
	5	01	輸送カード明細	0~n	-		配列	-	-	-	-	-	申請された輸送カード毎の明細 ※「輸送カード発行済み」時のみ輸送カード明細は返却しない。
	6	02	輸送カード番号	1	d123456789012d	○	半角英数字	-	20	-	-	-	申請された輸送カード番号。
	7	02	送信ID	1	01234567890123456789	○	半角英数字	-	20	-	-	-	正常データの送信ID。
	8	02	輸送カード申請結果	1	0	○	半角数字	-	-	-	-	CT0015	0:承認、1:否認、2:強制承認待ち

別紙2 インターフェース仕様書

区分	No	レベル	データ項目	要素数	データ例	データ形式							項目説明
			論理名			必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)	コードID	
	9	02	アラート有無	1	0	○	半角数字	-	-	-	-	CC0007	0:アラートなし、1:アラートあり
	10	02	アラートコード	1	01		半角数字	-	-	-	-	CC0008	アラートを判別するコード。
	11	01	連携結果コード	1	0	○	半角数字	-	-	-	-	CC0005	0:異常データ無し、1:異常データ有り
	12	01	正常件数	1	0	○	半角数値	-	6	0	-	-	正常に取込した件数。
	13	01	異常件数	1	0	○	半角数値	-	6	0	-	-	エラーのあった件数。
	14	01	異常データ明細	0~n	-		配列	-	-	-	-	-	リクエストされた項目の内、入力チェックで異常と判定されたデータ。
	15	02	送信ID	1	01234567890123456789		半角英数字	-	20	-	-	-	異常データの送信ID。
	16	02	データ項目	1	dtl[0].crdNo		半角文字	-	200	-	-	-	異常データ項目を設定。階層構造の場合は要素名を「.」で繋げた形式。
	17	02	異常コード	1	01		半角数字	-	-	-	-	CC0006	01:必須エラー、02:サイズエラー、03:範囲エラー、04:書式エラー、05:データ状況エラー(重複データ)、06:データ状況エラー(更新対象無し)、07:データ状況エラー(削除対象無し)

別紙2 インターフェース仕様書

インターフェースID	インターフェース名
IFT0140	定置ステータス更新

機能概要
輸送した大型土のう袋等を定置した際に、保管場所内の定置場、定置場内の定置区画、定置区画内の段数を受信して更新する。

前提条件
主キー: 事業者ID、送信ID

区分	No	レベル	データ項目		データ例	データ形式						項目説明	
			論理名	要素数		必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID
要求	1	01	事業者ID	1	JV000000000000000001	○	半角英数字	-	20	-	-	-	要求した事業者となる。
	2	01	保管場ID	1	A00000000000000000001	○	半角英数字	-	20	-	-	-	受入先となる場所(保管場)
	3	01	定置日時	1	2015/10/10 12:12:12	○	日時	-	-	-	-	-	定置場に定置した日、また定置ステータスを削除した日時。
	4	01	明細	1~n	-	○	配列	-	-	-	-	-	
	5	02	変更区分	1	I	○	半角英字	-	-	-	-	CC0002	総合管理システムにて、定置ステータスの登録、更新、削除を制御するのに使用する。 I:新規登録、U:更新、D:削除
	6	02	送信ID	1	01234567890123456789	○	半角英数字	-	20	-	-	-	連携対象データを特定するID。
	7	02	新タグID	1	a327000000043378a	○	半角英数字	-	20	-	-	-	総合管理システムにて発行される、土のう袋を特定するID。
	8	02	定置場ID	1	TEICHI00001	○	半角英数字	-	20	-	-	-	定置場所を特定するID。
	9	02	定置区画ID	1	sty12345	○	半角英数字	-	20	-	-	-	定置場所内の定置区画(山)を特定するID。
	10	02	区域番号	1	1	○	半角数字	-	2	1	99	-	定置区画をメッシュで分けつけた区域を特定する番号。

別紙2 インターフェース仕様書

区分	No	レベル	データ項目		要素数	データ例	データ形式						項目説明	
			論理名				必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID
	11	02	段数		1	1	○	半角数字	-	2	1	99	-	定置した段数
応答	1	01	ステータスコード		1	00	○	半角数字	-	-	-	-	CC0001	インターフェースの処理が正常終了したか異常終了したか。 ※異常終了した場合、要求に対するデータ更新は全て取り消しとなる。 00:正常終了 01:異常終了
	2	01	エラーコード		1	ECJ0001		半角英数字	-	7	-	-	-	ステータスコードが「00」以外は必須。
	3	01	受信日時		1	2015/11/22 13:11:34	○	日時	-	-	-	-	-	リクエストを受信した日時。
	4	01	データ名		1	保管ステータス	○	全角混在	-	50	-	-	-	連携対象のデータ名。
	5	01	連携結果コード		1	0	○	半角数字	-	-	-	-	CC0005	0:異常データ無し、1:異常データ有り
	6	01	正常件数		1	0	○	半角数値	-	6	0	-	-	正常に取込した件数。
	7	01	異常件数		1	0	○	半角数値	-	6	0	-	-	エラーのあった件数。
	8	01	異常データ明細		0~n	-		配列	-	-	-	-	-	リクエストされた項目の内、入力チェックで異常と判定されたデータ。
	9	02	送信ID		1	01234567890123456789		半角英数字	-	20	-	-	-	異常データの送信ID。
	10	02	データ項目		1	dtl[0].newTagId		半角文字	-	200	-	-	-	異常データ項目を設定。 階層構造の場合は要素名を「.」で繋げた形式。
	11	02	異常コード		1	01		半角数字	-	-	-	-	CC0006	01:必須エラー、02:サイズエラー、03:範囲エラー、04:書式エラー、05:データ状況エラー(重複データ)、06:データ状況エラー(更新対象無し)、07:データ状況エラー(削除対象無し)

別紙2 インターフェース仕様書

インターフェースID	インターフェース名
IFT0150	車両位置情報取込

機能概要
<p>事業者システムから1分間隔で送信される位置(GPS)情報を登録する。 車両位置に対する下記チェックを行い、問題がある場合には応答にアラート情報を付加して返却する。</p> <p>①輸送ルートを外れたかのチェック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮置場出発: 輸送ルート(往路)で指定されているルート外となった場合、アラートとする。 ・保管場出発: 輸送ルート(帰路)で指定されているルート外となった場合、アラートとする。 <p>②位置停滞のチェック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮置場出発: パーキングエリア等の休憩施設を除いたエリアで輸送車両が一定時間動かなかった場合、アラートとする。 <p>③仮置場出発時刻チェック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮置場出発: 運行計画で指定されている有効出発時間内に仮置場を出発していない場合、アラートとする。 <p>④輸送カード発行チェック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮置場出発: 仮置場出発時に輸送カードの発行が行われていない場合、アラートとする。 <p>⑤ログオフチェック(ログオフ忘れ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保管場出発: 輸送予定で復路が指定されていない輸送車両が輸送終了とならずに保管場出発となった場合、アラートとする。

前提条件
主キー: 事業者ID、送信ID

区分	No	レベル	データ項目	要素数	データ例	データ形式						項目説明		
			論理名			必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID	
要求	1	01	事業者ID	1	JV000000000000000001	○	半角英数字	-	20	-	-	-	-	要求した事業者となる。
	2	01	車両位置明細	1~n	-	○	配列	-	-	-	-	-	-	車両位置情報の明細情報。
	3	02	変更区分	1	I	○	半角英字	-	-	-	-	CC0002	-	連携データの登録、更新、削除を制御する区分。
	4	02	送信ID	1	01234567890123456789	○	半角英数字	-	20	-	-	-	-	連携対象データを特定するID。
	5	02	車両ID	1	VC000000000000000001	○	半角英数字	-	20	-	-	-	-	車両を特定するID。
	6	02	位置情報取得日時	1	2015/11/22 13:11:34	○	日時	-	-	-	-	-	-	車両位置の取得日時。
	7	02	車両位置情報緯度	1	35.649556	○	半角数値	-	8.6	0.00000	90.00000	-	-	車両位置の緯度。 世界測地系を使用。
	8	02	車両位置情報経度	1	139.748028	○	半角数値	-	9.6	0.00000	180.00000	-	-	車両位置の経度。 世界測地系を使用。
	9	02	車両位置情報速度	1	58.25	○	半角数値	-	5.2	0.00	-	-	-	直近1分の走行速度。
	10	02	輸送カード番号	1	d123456789012d		半角英数字	-	20	-	-	-	-	輸送情報を特定するID。

別紙2 インターフェース仕様書

区分	No	レベル	データ項目	要素数	データ例	データ形式						項目説明	
			論理名			必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID
応答													
	1	01	ステータスコード	1	00	○	半角数字	-	-	-	-	CC0001	インターフェースの連携処理が正常終了したか異常終了したか。 ※異常終了した場合、要求に対するデータ更新は全て取り消しとなる。 00:正常終了 01:異常終了
	2	01	エラーコード	1	ECJ0001		半角英数字	-	7	-	-	-	ステータスコードが「00」以外は必須。
	3	01	受信日時	1	2015/11/22 13:11:34	○	日時	-	-	-	-	-	リクエストを受信した日時。
	4	01	データ名	1	車両位置情報	○	全角混在	-	50	-	-	-	連携対象のデータ名。
	5	01	アラート有無	1	0	○	半角数字	-	-	-	-	CC0007	0:アラートなし、1:アラートあり
	6	01	アラートデータ明細	0~n	-		配列	-	-	-	-	-	リクエストされた項目の内、アラート対象と判定されたデータ。
	7	02	送信ID	1	01234567890123456789		半角英数字	-	20	-	-	-	アラートデータの送信ID。
	8	02	車両ID	1	VC000000000000000001		半角英数字	-	20	-	-	-	アラートデータの車両ID。
	9	02	アラートコード	1	01		半角数字	-	-	-	-	CC0008	アラートを判別するコード。
	10	01	連携結果コード	1	0	○	半角数字	-	-	-	-	CC0005	0:異常データ無し、1:異常データ有り
	11	01	正常件数	1	0	○	半角数値	-	6	0	-	-	正常に取込した件数。
	12	01	異常件数	1	0	○	半角数値	-	6	0	-	-	エラーのあった件数。
	13	01	異常データ明細	0~n	-		配列	-	-	-	-	-	リクエストされた項目の内、入力チェックで異常と判定されたデータ。
	14	02	送信ID	1	01234567890123456789		半角英数字	-	20	-	-	-	異常データの送信ID。
	15	02	データ項目	1	dtl[0].vcld		半角文字	-	200	-	-	-	異常データ項目を設定。 階層構造の場合は要素名を「.」で繋げた形式。
	16	02	異常コード	1	01		半角数字	-	-	-	-	CC0006	01:必須エラー、02:サイズエラー、03:範囲エラー、04:書式エラー、05:データ状況エラー(重複データ)、06:データ状況エラー(更新対象無し)、07:データ状況エラー(削除対象無し)

別紙2 インターフェース仕様書

ファイル インターフェースID		IFT0160		ファイル インターフェース名		運転情報取込						入出力区分	入力
ファイル名		任意		固定長・XML・CSV		CSV						文字コード	SJIS
No.	レベル	データ項目名	繰返し	データ例	主 キ ー	データ形式						備考	
						必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID
1	-	運転情報変更区分	1	I		○	半角英字	-	-	-	-	CC0002	連携データの登録、更新、削除を制御する区分。
2	-	車両ID	1	12345678901234567890	1	○	半角英数字	-	20	-	-	-	車両を特定するID。
3	-	イベント発生日時	1	2015/05/10 12:12:12	2	○	日時	-	-	-	-	-	イベント発生の日時
4	-	運転手ID	1	DV000000001		○	半角英数字	-	20	-	-	-	運転手を特定するID。
5	-	イベント種類	1	1		○	半角数字	-	-	-	-	CT0022	急ブレーキや急発進などのイベントを示すコード
6	-	イベントに関する値	1	57.89		△	半角数値	-	5.2	0.00	-		イベントが最高速度(一般道、高速道)の場合、その時の速度をセット。
7	-	イベント発生位置:緯度	1	37.429687		○	半角数値	-	8.6	0.000000	90.00000	-	イベント発生場所のGPS位置情報 単位:度(dd.ddddd) 世界測地系を使用。
8	-	イベント発生位置:経度	1	140.82397		○	半角数値	-	9.6	0.000000	180.00000	-	イベント発生場所のGPS位置情報 単位:度(ddd.ddddd) 世界測地系を使用。

別紙2 インターフェース仕様書

インターフェースID	インターフェース名
IFT0210	輸送カード承認状況

機能概要
要求に応じて、総合管理システム側の輸送カード状況を返す。

前提条件
主キー: 事業者ID、輸送カード番号

区分	No	レベル	データ項目	要素数	データ例	データ形式						項目説明	
			論理名			必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID
要求	1	01	事業者ID	1	JV000000000000000001	○	半角英数字	-	20	-	-	-	要求した事業者となる。
	2	01	輸送カード明細	1~n	-	○	配列	-	-	-	-	-	輸送カード番号を複数指定可能とする。
	3	02	輸送カード番号	1	d123456789012d	○	半角英数字	-	20	-	-	-	輸送情報を特定するID。
応答	1	01	ステータスコード	1	00	○	半角数字	-	-	-	-	CC0001	インターフェースの連携処理が正常終了したか異常終了したか。 ※異常終了した場合、要求に対するデータ更新は全て取り消しとなる。 00:正常終了 01:異常終了
	2	01	エラーコード	1	ECJ0001		半角英数字	-	7	-	-	-	ステータスコードが「00」以外は必須。
	3	01	受信日時	1	2015/11/22 13:11:34	○	日時	-	-	-	-	-	リクエストを受信した日時となる。
	4	01	件数	1	0	○	半角数値	-	6	0	-	-	明細の件数。 要求に一致するデータがない場合には0件となる。
	5	01	明細	0~n	-			配列	-	-	-	-	輸送カード番号の昇順で、下記の輸送カード情報を返却する。
	6	02	輸送カード番号	1	d123456789012d		半角英数字	-	20	-	-	-	輸送カードを管理する番号。
	7	02	輸送カード申請結果	1	0	○	半角数字	-	-	-	-	CT0015	0:承認、1:否認、2:強制承認待ち

別紙2 インターフェース仕様書

ファイル インターフェースID		IFT0300		ファイル インターフェース名		運転手マスタ取込						入出力区分	入力
ファイル名		任意		固定長・XML・CSV		CSV						文字コード	SJIS
No.	レベル	データ項目名	繰返し	データ例	主 キ ー	データ形式						備考	
						必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID
1	-	運転手変更区分	1	I		○	半角英字	-	-	-	-	CC0002	連携データの登録、更新、削除を制御する区分。
2	-	運転手ID	1	DV000000001	1	○	半角英数字	-	20	-	-	-	運転手を特定するID。
3	-	運転手名	1	運転 太郎		○	全角文字	-	20	-	-	-	
4	-	受講番号	1	123456789		○	半角数字	-	10	-	-	-	安全運転管理研修を合格し、受領した合格証の受講番号を設定する。
5	-	携帯番号	1	08066666666		○	半角数字	-	11	-	-	-	業務で利用する携帯番号。 緊急時における運転手の連絡先。
6	-	輸送下請け事業者	1	○○輸送		○	全角混在	-	20	-	-	-	運転手が実際に所属する事業者。
7	-	車両ID	1	12345678901234567890			半角英数字	-	20	-	-	-	運転手が利用する車両が決まっている場合に設定。
8	-	検索対象フラグ	1	0		○	半角数字	-	-	-	-	CT0040	運転手が離職した場合などに検索対象としないよう制御するフラグ
9	-	運転手メモ	1	○○メモ			全角混在	-	400	-	-	-	任意のメモ。

別紙2 インターフェース仕様書

ファイル インターフェースID		IFT0320			ファイル インターフェース名		仮置場マスタ出力					入出力区分	出力
ファイル名		仮置場マスタ_作成日時(YYYYMMDD).csv			固定長・XML・CSV		CSV					文字コード	SJIS
No.	レベル	データ項目名	繰返し	データ例	主 キ ー	データ形式						備考	
						必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID
1	-	仮置場ID	1	KARI0000001	1	○	半角英数字	-	20	-	-	-	
2	-	仮置場名称	1	〇〇仮置場		○	全角混在	-	200	-	-	-	
3	-	仮置場郵便番号	1	123456		○	半角数字	-	7	-	-	-	
4	-	仮置場住所(都道府県 コード)	1	070009		○	半角数字	-	6	-	-	-	コード値は全国地方公共団体コードを利用
5	-	仮置場住所(市区町村 コード)	1	075451		○	半角数字	-	6	-	-	-	コード値は全国地方公共団体コードを利用
6	-	仮置場住所(その他住 所)	1	〇〇丁目4-1			全角混在	-	400	-	-	-	
7	-	検索対象フラグ	1	0		○	半角数字	-	-	-	-	CT0040	仮置場が閉鎖した場合などに検索対象としないよう 制御するフラグ
8	-	仮置場メモ	1	仮置場メモ			全角混在	-	400	-	-	-	任意のメモ欄

別紙2 インターフェース仕様書

ファイル インターフェースID		IFT0340				ファイル インターフェース名		保管場マスタ出力					入出力区分	出力
ファイル名		保管場マスタ_作成日時(YYYYMMDD).csv				固定長・XML・CSV		CSV					文字コード	SJIS
No.	レベル	データ項目名	繰返し	データ例	主 キ ー	データ形式						備考		
						必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID	
1	-	保管場ID	1	HOKAN00001	1	○	半角英数字	-	20	-	-	-		
2	-	保管場名称	1	〇〇保管場		○	全角混在	-	200	-	-	-		
3	-	保管場郵便番号	1	1234567		○	半角数字	-	7	-	-	-		
4	-	保管場住所(都道府県 コード)	1	070009		○	半角数字	-	6	-	-	-	コード値は全国地方公共団体コードを利用	
5	-	保管場住所(市区町村 コード)	1	075451		○	半角数字	-	6	-	-	-	コード値は全国地方公共団体コードを利用	
6	-	保管場住所(その他住 所)	1	□□2丁目5-6			全角混在	-	400	-	-	-		
7	-	検索対象フラグ	1	0		○	半角数字	-	-	-	-	CT0040	保管場に空きがない場合などに検索対象としないよう制御するフラグ	
8	-	保管場メモ	1	メモ			全角混在	-	400	-	-	-	任意のメモ欄	

別紙2 インターフェース仕様書

ファイル インターフェースID		IFT0360				ファイル インターフェース名		定置場マスタ出力					入出力区分	出力
ファイル名		定置場マスタ_作成日時(YYYYMMDD).csv				固定長・XML・CSV		CSV					文字コード	SJIS
No.	レベル	データ項目名	繰返し	データ例	主 キ ー	データ形式						備考		
						必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID	
1	-	保管場ID	1	HOKAN00001	1	○	半角英数字	-	20	-	-	-		
2	-	定置場ID	1	TEICHI00001	2	○	半角英数字	-	20	-	-	-		
3	-	定置場名称	1	○○定置場		○	全角混在	-	200	-	-	-		
4	-	検索対象フラグ	1	0		○	半角数字	-	-	-	-	CT0040	定置場に空きがない場合などに検索対象としないよう制御するフラグ	
5	-	定置場メモ	1	メモ			全角混在	-	400	-	-	-	任意のメモ欄	

別紙2 インターフェース仕様書

ファイル インターフェースID		IFT0370				ファイル インターフェース名		運行計画出力					入出力区分	出力
ファイル名		運行計画データ_作成日時(YYYYMMDD).csv				固定長・XML・CSV		CSV					文字コード	SJIS
No.	レベル	データ項目名	繰返し	データ例	主 キ ー	データ形式						備考		
						必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID	
1	-	運行計画ID	1	UNKOU000001	1	○	半角英数字	-	20	-	-	-	運行計画を特定するID	
2	-	運行計画名(工事名)	1	○○運行計画		○	全角混在	-	50	-	-	-		
3	-	期間(開始年月日)	1	2015/10/05		○	日付	-	10	-	-	-	書式: yyyy/mm/dd	
4	-	期間(終了年月日)	1	2016/02/11		○	日付	-	10	-	-	-	書式: yyyy/mm/dd	
5	-	仮置場ID	1	K000000002		○	半角英数字	-	20	-	-	-	搬出元となる場所(仮置場)	
6	-	仮置場有効出発時間(開始)	1	09:00		○	時刻	-	5	00:00	23:59	-	仮置場を出発して良い時間帯の開始時間を設定	
7	-	仮置場有効出発時間(終了)	1	17:00		○	時刻	-	5	00:00	23:59	-	仮置場を出発して良い時間帯の終了時間を設定	
8	-	保管場ID	1	U11222200		○	半角英数字	-	20	-	-	-	受入先となる場所(保管場)	
9	-	運行計画予定数量	1	10			半角数値	-	6.0	0.0	-	-	今回の輸送計画で輸送する予定数量 単位: zzzzz9(袋)	
10	-	事業者ID	1	J4454564		○	半角英数字	-	20	-	-	-	運行計画を請け負った事業者	
11	-	運行状態	1	0		○	半角数字	-	1	-	-	CT0028		
12	-	運行計画メモ	1	メモ			全角混在	-	400	-	-	-	任意のメモ欄	

別紙2 インターフェース仕様書

ファイル インターフェースID		IFT0380			ファイル インターフェース名		輸送予定出力					入出力区分	出力
ファイル名		任意			固定長・XML・CSV		CSV					文字コード	SJIS
No.	レベル	データ項目名	繰返し	データ例	主 キ ー	データ形式						備考	
						必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID
1	-	運行計画ID	1	UNKOU000001		○	半角英数字	-	20	-	-	-	運行計画を特定するID
2	-	輸送日	1	2016/04/07		○	日付	-	10	-	-	-	輸送実施日を出力。 (yyyy/mm/dd)
3	-	車両ID	1	123456789012345678 90		○	半角英数字	-	20	-	-	-	車両を識別するID
4	-	運転手ID	1	DV000000001		○	半角英数字	-	20	-	-	-	運転手を識別するID
5	-	予定ルート(往路)	1	A01		○	半角英数字	-	3	-	-	-	
6	-	予定ルート(復路)	1	A01		○	半角英数字	-	3	-	-	-	
7	-	輸送予定メモ	1	0.321			全角混在	-	400	-	-	-	任意のメモ欄。

別紙2 インターフェース仕様書

ファイル インターフェースID		IFT0400				ファイル インターフェース名		定置区画マスタ出力					入出力区分	出力
ファイル名		定置区画マスタ作成日時(YYYYMMDD).csv				固定長・XML・CSV		CSV					文字コード	SJIS
No.	レベル	データ項目名	繰返し	データ例	主 キ ー	データ形式						備考		
						必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID	
1	-	保管場ID	1	HOKAN00001	1	○	半角英数字	-	20	-	-	-		
2	-	定置場ID	1	TEICHI00001	2	○	半角英数字	-	20	-	-	-		
3	-	定置区画ID	1	KUKAKU0001	3	○	半角英数字	-	20	-	-	-		
4	-	区画区分	1	0		○	半角数字	-	-	-	-	CT0043	定置区画ごとに可燃・不燃・有害などを分けて定置するための区分。	
5	-	区域数	1	1		○	半角数字	-	2	1	99	-	定置区画をメッシュで分けした区域の数。	
6	-	定置区画メモ	1	メモ			全角混在	-	400	-	-	-	任意のメモ欄	

別紙2 インターフェース仕様書

ファイル インターフェースID		IFR0010		ファイル インターフェース名		日次報告データ取込						入出力区分	入力
ファイル名		任意		固定長・XML・CSV		CSV						文字コード	SJIS
No.	レベル	データ項目名	繰返し	データ例	主 キ ー	データ形式						備考	
						必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID
1	-	報告年月週	1	2016/02_1W	1	○	半角文字	-	10	-	-	-	書式:yyyy/mm_9w データ例は、2016/2月1週目を示す。 日次報告データを報告する週 ファイル内は、すべて同一であること。 日次報告データは、報告年月週単位でデータ管理を 行う。 すでにデータベースに登録されている場合は、本フ ァイル内容で全て差替える。
2	-	SEQ	1	1	3	○	半角数値	-	5	1	-	-	1から順に連番を設定する。 作業区分が運転手の場合で複数の仮置場-保管場 を輸送した時は、同一SEQで複数の仮置場-保管場 分レコードを作成する。
3	-	日次報告作業日	1	2016/04/07		△	日付	-	-	-	-	-	作業者の作業日付。 作業区分が運転手の場合で複数の仮置場-保管場 を輸送した時のみ先頭レコード以外は、本項目は読 み飛ばすため、必須としない。
4	-	日次報告始業時間	1	09:00		△	時刻	-	5	00:00	23:59	-	作業者の始業時間。 作業区分が運転手の場合で複数の仮置場-保管場 を輸送した時のみ先頭レコード以外は、本項目は読 み飛ばすため、必須としない。
5	-	日次報告終業時間	1	17:00		△	時刻	-	5	00:00	23:59	-	作業者の終業時間。 作業区分が運転手の場合で複数の仮置場-保管場 を輸送した時のみ先頭レコード以外は、本項目は読 み飛ばすため、必須としない。
6	-	日次報告作業場所1	1	s447K0001		○	半角英数字	-	20	-	-	-	作業者区分に応じて設定する作業場が異なる。 積込作業者、その他仮置場工事作業者は、仮置場 IDのみ設定。 受入・荷下作業者、その他保管場工事作業者、線量 低減工事作業者は保管場IDのみ設定。 運転者は、仮置場IDのみ設定。 それ以外は、その他("99999999")を設定
7	-	日次報告作業場所2	1	s447K0002		△	半角英数字	-	20	-	-	-	作業者区分に応じて設定する作業場が異なる。 運転者のみ必須で、保管場IDのみ設定。 それ以外は、任意(その他の場合は"99999999")。

別紙2 インターフェース仕様書

ファイル インターフェースID		IFR0010				ファイル インターフェース名		日次報告データ取込					入出力区分	入力
ファイル名		任意				固定長・XML・CSV		CSV					文字コード	SJIS
No.	レベル	データ項目名	繰返し	データ例	主 キ ー	データ形式						コードID	備考	
						必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)			
8	-	作業区分	1	DR-00001		△	半角文字	-	-	-	-	CR0002	作業者がどのような作業に従事していたかを示す値となる。 作業区分が運転手の場合で複数の仮置場-保管場を輸送した時のみ先頭レコード以外は読み飛ばすため必須としない。 ※具体的な値はコード設計を参照	
9	-	日次報告測定結果	1	0.32		△	半角数値	-	8.2	0.00	-	-	作業者が作業日に測定した線量値となる。 単位: μ Sv 作業区分が運転手の場合で複数の仮置場-保管場を輸送した時のみ先頭レコードにのみ被ばく線量を設定し、他レコードには、設定しないこと。	

別紙2 インターフェース仕様書

ファイル インターフェースID		IFR0020				ファイル インターフェース名		月次報告データ取込					入出力区分	入力
ファイル名		任意				固定長・XML・CSV		CSV					文字コード	SJIS
No.	レベル	データ項目名	繰返し	データ例	主 キ ー	データ形式						備考		
						必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID	
1	-	報告年月	1	2016/02	1	○	日付	-	-	-	-	-	書式: yyyy/mm 月次報告データを報告する年月 ファイル内は、すべて同一であること。 月次データは、報告年月単位でデータ管理を行う。 すでにデータベースへ登録されている場合は、本ファイル内容で全て差替える。	
2	-	SEQ	1	1	3	○	半角数値	-	5	1	-	-	ファイル内のデータを特定する番号 1から順に連番を設定する。	
3	-	月次報告測定結果	1	10.12		○	半角数値	-	8.2	0.00	-	-	作業者の報告年月のガラスバッチ評価値を設定。 中間貯蔵事業のみの評価値を設定。 単位: mSv ガラスバッチ判定結果が「×」の場合は、「0」を設定する。	

別紙2 インターフェース仕様書

ファイル インターフェースID		IFR0030				ファイル インターフェース名		3ヶ月累積データ取込					入出力区分	入力
ファイル名		任意				固定長・XML・CSV		CSV					文字コード	SJIS
No.	レベル	データ項目名	繰返し	データ例	主 キ ー	データ形式						備考		
						必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID	
1	-	最終報告年月	1	2016/02	1	○	日付	-	-	-	-	-	書式: yyyy/mm 3ヶ月累積データを報告する年月 最終報告年月を設定する。 例) 4月、5月、6月の報告であれば6月とする。 ファイル内は、すべて同一であること。 3ヶ月データは、最終報告年月単位でデータ管理を行う。 すでにデータベースへ登録されている場合は、本ファイル内容で全て差替える。	
2	-	SEQ	1	1	3	○	半角数値	-	5	1	-	-	ファイル内のデータを特定する番号 1から順に連番を設定する。	
3	-	3ヶ月累積値	1	10.12		○	半角数値	-	8.2	0.00	-	-	作業者の直近3ヶ月の被ばく線量累計。 中間貯蔵事業のみでなく全事業での累積被ばく量を 設定する。 単位: mSv ガラスバッジ測定結果が「×」の場合は「0」とする。 例) 4月「15」5月「10」6月「×」は、「25」を設定。 4月「×」5月「10」6月「×」は、「10」を設定。 4月「×」5月「×」6月「×」は、「0」を設定。	

別紙2 インターフェース仕様書

ファイル インターフェースID		IFR0040				ファイル インターフェース名		四半期累積データ取込					入出力区分	入力
ファイル名		任意				固定長・XML・CSV		CSV					文字コード	SJIS
No.	レベル	データ項目名	繰返し	データ例	主 キ ー	データ形式							備考	
						必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)	コードID		
1	-	報告四半期	1	2015-1	1	○	半角文字	-	-	-	-	CR0005	四半期報告データを報告する年度と四半期区分書式:yyyy-n yyyyは、年度を設定する。 nは四半期区分のコード値を設定する。 ファイル内は、すべて同一であること。 四半期累積データは、報告四半期単位でデータ管理を行う。 すでにデータベースへ登録されている場合は、本ファイル内容で全て差替える。	
2	-	SEQ	1	1	3	○	半角数値	-	5	1	-	-	ファイル内のデータを特定する番号 1から順に連番を設定する。	
3	-	四半期報告測定結果	1	10.12		○	半角数値	-	8.2	0.00	-	-	作業者の報告四半期のガラスバッチ評価値を設定。 中間貯蔵事業のみの評価値を設定。 単位: mSv ガラスバッチ測定結果が「×」の場合は「0」とする。 例) 4月「15」5月「10」6月「×」は、「25」を設定。 4月「×」5月「10」6月「×」は、「10」を設定。 4月「×」5月「×」6月「×」は、「0」を設定。	

別紙2 インターフェース仕様書

ファイル インターフェースID		IFR0050		ファイル インターフェース名		作業員データ取込						入出力区分	入力
ファイル名		任意		固定長・XML・CSV		CSV						文字コード	SJIS
No.	レベル	データ項目名	繰返し	データ例	主 キ ー	データ形式						備考	
						必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID
1	-	報告年月	1	2016/02	1	○	日付	-	-	-	-	-	書式:yyyy/mm 作業員データを報告する年月 ファイル内は、すべて同一であること。 作業員データは、報告年月単位でデータ管理を行う。 すでにデータベースへ登録されている場合は、本ファイル内容で全て差替える。
2	-	SEQ	1	1	3	○	半角数値	-	5	1	-	-	ファイル内のデータを特定する番号 1から順に連番を設定する。
3	-	生年月日	1	2016/04/07		○	日付	-	-	-	-	-	
4	-	被ばく暦(当年度)	1	0.32		○	半角数値	-	8.2	0.00	-	-	当該年度の放射線管理手帳に記載の被ばく暦値となる。 中間貯蔵事業だけでなく全事業の当月までの被ばく 線量を累積した値を設定すること。 単位:mSv 例)登録する年月が2016/7(2016年度)であった場合は、 2016/7までの累積した値を設定する。
5	-	過去年度被ばく暦(1年前)	1	0.32		○	半角数値	-	8.2	0.00	-	-	過去年度(1年前)の放射線管理手帳に記載の被ばく 暦値となる。 単位:mSv 例)登録する年月が2016/7(2016年度)であった場合は、 2015年度の集計した値を設定する。 設定値無しの場合、“0.00”を設定すること。
6	-	過去年度被ばく暦(2年前)	1	0.32		○	半角数値	-	8.2	0.00	-	-	過去年度(2年前)の放射線管理手帳に記載の被ばく 暦値となる。 単位:mSv 例)登録する年月が2016/7(2016年度)であった場合は、 2014年度の集計した値を設定する。 設定値無しの場合、“0.00”を設定すること。

別紙2 インターフェース仕様書

No.	レベル	データ項目名	繰返し	データ例	主キ	データ形式						備考	
						必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID
7	-	過去年度被ばく暦(3年前)	1	0.32		○	半角数値	-	8.2	0.00	-	-	<p>過去年度(3年前)の放射線管理手帳に記載の被ばく暦値となる。 単位:mSv</p> <p>例)登録する年月が2016/7(2016年度)であった場合は、2013年度の集計した値を設定する。</p> <p>設定値無しの場合、“0.00”を設定すること。</p>
8	-	過去年度被ばく暦(4年前)	1	0.32		○	半角数値	-	8.2	0.00	-	-	<p>過去年度(4年前)の放射線管理手帳に記載の被ばく暦値となる。 単位:mSv</p> <p>例)登録する年月が2016/7(2016年度)であった場合は、2012年度の集計した値を設定する。</p> <p>設定値無しの場合、“0.00”を設定すること。</p>
9	-	電離検診最終受診日	1	2016/04/07			日付	-	-	-	-	-	
10	-	WBC最終受診日	1	2016/04/07			日付	-	-	-	-	-	
11	-	特別教育最終受講日	1	2016/04/07		○	日付	-	-	-	-	-	
12	-	講習受講日(予備1)	1	2016/04/07			日付	-	-	-	-	-	環境省/JESCOIによる中間貯蔵事業のドライバー研修日を指定してください。
13	-	講習受講日(予備2)	1	2016/04/07			日付	-	-	-	-	-	
14	-	登録日	1	2016/04/07		○	日付	-	-	-	-	-	作業員が就業を開始した日付を指定してください。
15	-	登録解除日	1	2016/04/07			日付	-	-	-	-	-	<p>作業員が就業を解除した際に、解除した年月にのみ指定してください。 登録解除日は、就業を解除した年月以降は、作業員登録ファイルに含めないでください。</p> <p>例)2016/5/2に登録解除した場合は、2016/5の作業員登録ファイルのみ登録解除日を指定し、2016/6以降には、当該作業員は、作業員登録ファイルに含めない。</p>

別紙2 インターフェース仕様書

ファイル インターフェースID		IFM0020				ファイル インターフェース名		空間線量率(手動)取込					入出力区分	入力
ファイル名		任意				固定長・XML・CSV		CSV					文字コード	SJIS
No.	レベル	データ項目名	繰返し	データ例	主 キ ー	データ形式						備考		
						必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID	
1	-	変更区分	1	I		○	半角英字	-	-	-	-	CC0002	連携データの登録、更新、削除を制御する区分。	
2	-	手動測定結果(空間線量)日時	1	2015/11/22 13:11:34	1	○	日時	-	-	-	-		手動測定した日時	
3	-	手動測定結果(空間線量)測定地点ID	1	01234567890123456789	2	○	半角英数字	-	20	-	-	-	手動測定した地点のID (測定地点IDは、環境省/JESCOより連絡を受ける)	
4	-	手動測定結果(空間線量)測定機材	1	機器A01		○	全角混在	-	200	-	-	-	手動測定した機器を特定できる名称	
5	-	手動測定結果(空間線量)線量率	1	9.18		○	半角数値	-	8.2	0.00	-	-	手動測定した結果による線量率 単位[μ Sv/h]	

別紙2 インターフェース仕様書

ファイル インターフェースID		IFM0050				ファイル インターフェース名		地下水放射線物質濃度取込					入出力区分	入力
ファイル名		任意				固定長・XML・CSV		CSV					文字コード	SJIS
No.	レベル	データ項目名	繰返し	データ例	主 キ ー	データ形式						備考		
						必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID	
1	-	変更区分	1	I		○	半角英字	-	-	-	-	CC0002	連携データの登録、更新、削除を制御する区分。	
2	-	測定結果(地下水放射線物質濃度)日時	1	2015/11/22 13:11:34	1	○	日時	-	-	-	-	-	測定した日時	
3	-	測定結果(地下水放射線物質濃度)測定地点ID	1	01234567890123456789	2	○	半角英数字	-	20	-	-	-	測定した地点のID (測定地点IDは、環境省/JESCOより連絡を受ける)	
4	-	測定結果(地下水放射線物質濃度)測定機材	1	機器A01		○	全角混在	-	200	-	-	-	測定した機器	
5	-	不検出フラグ(セシウム134)	1	0		○	半角数値	-	-	-	-	CM0009	※測定結果(セシウム134)が"N.D.(不検出)"の場合、 "1"を、不検出無しの場合、"0"を設定。	
6	-	測定結果(地下水放射線物質濃度)セシウム134	1	1.00		△	半角数値	-	4.2	0.00	-	-	測定した結果による放射性物質濃度(セシウム134) 単位[Bq/L] ※検出フラグ(セシウム134)が"0"の場合に値を設定する。 "1"の場合は設定不要	
7	-	不検出フラグ(セシウム137)	1	0		○	半角数値	-	-	-	-	CM0010	※測定結果(セシウム137)が"N.D.(不検出)"の場合、 "1"を、不検出無しの場合、"0"を設定。	
8	-	測定結果(地下水放射線物質濃度)セシウム137	1	1.00		△	半角数値	-	4.2	0.00	-	-	測定した結果による放射性物質濃度(セシウム137) 単位[Bq/L] ※検出フラグ(セシウム137)が"0"の場合に値を設定する。 "1"の場合は設定不要	

別紙2 インターフェース仕様書

ファイル インターフェースID		IFC0010			ファイル インターフェース名		CSV連携エラー情報出力					入出力区分	出力
ファイル名		CSV連携エラー情報_作成日時(YYYYMMDDHHMMSS).csv			固定長・XML・CSV		CSV					文字コード	SJIS
No.	レベル	データ項目名	繰返し	データ例	主 キ ー	データ形式						備考	
						必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID
1	-	行数	1	101		○	半角数字	-	-	-	-	-	データチェックでエラーが発生したデータの行番号を設定。
2	-	データ名	1	市町村_番号		○	全角混在	-	250	-	-	-	データチェックでエラーが発生したデータの項目名を設定。
3	-	エラー内容	1	必須項目エラー		○	全角混在	-	100	-	-	-	データチェックで発生したエラー内容を示すエラーメッセージを設定。

別紙2 インターフェース仕様書

コード一覧

項番	サブシステム	コードID	コード名称	コード桁数	内容説明
1	共通	CC0001	外部インターフェース(JSON)ステータスコード	2	外部インターフェース(JSON)の実行処理結果を示す。
2	共通	CC0002	外部インターフェース連携データ変更区分	1	外部インターフェースで連携データに対する処理の区分(新規登録/更新/削除)を示す。
3	共通	CC0003	利用サブシステム	1	サブシステムを判別する区分
4	共通	CC0004	アクセス権限	1	アクセス権限の種類
5	共通	CC0005	外部インターフェース(JSON)連携結果コード	1	外部インターフェース(JSON)で連携されたデータに異常データが存在したか否かを示す。
6	共通	CC0006	外部インターフェース(JSON)連携データ異常コード	2	外部インターフェース(JSON)で連携されたデータの異常内容を示す。
7	共通	CC0007	外部インターフェース(JSON)連携アラート有無	1	外部インターフェース(JSON)で連携されたデータにアラートが存在したか否かを示す。
8	共通	CC0008	アラートコード	2	アラートを判別するためのコード。
9	共通	CC0009	データ型コード	1	対象項目に対するデータタイプ
10	共通	CC0010	入力種別コード	2	対象項目に対する入力種別
11	共通	CC0011	汎用明細権限種別コード	1	権限種別
12	共通	CC0012	汎用明細数字日付演算子コード	1	数字、日付演算子。
13	共通	CC0013	汎用明細文字演算子コード	1	文字演算子。
14	共通	CC0014	汎用明細数字チェックパターン	1	数字チェックパターン
15	共通	CC0015	汎用明細文字チェックパターン	1	文字チェックパターン
16	共通	CC0016	汎用明細日付チェックパターン	1	日付チェックパターン
17	共通	CC0017	条件連結	1	条件連結
18	共通	CC0018	演算子	1	演算子
19	共通	CC0019	画面色コード	1	画面色コード
20	共通	CC0020	アラート表示フラグ	1	アラートの通知を表示するか判断するフラグ
21	共通	CC0021	アラート音フラグ	1	アラートの音を鳴らすか判断するフラグ
22	共通	CC0022	参照範囲	1	データの参照範囲を設定
23	共通	CC0023	編集権限区分	2	画面の編集制限を判断する区分
24	共通	CC0024	処理指示機能区分	1	処理をした機能の区分。
25	共通	CC0025	課題ナレッジ分類区分	1	課題ナレッジに登録される情報の分類。
26	共通	CC0026	CSV帳票データ名	6	CSV帳票画面の抽出データ名
27	共通	CC0027	ソートフラグ	1	汎用画面での昇降順の判断
28	共通	CC0028	検索登録チェックコード	1	汎用画面での検索と登録でのチェックコード
29	共通	CC0029	PKフラグ	1	汎用画面でのPK判断フラグ
30	共通	CC0030	チェック有無フラグ	1	汎用画面でのチェック有無判断フラグ
31	共通	CC0031	データ取得元	1	汎用コンポーネントでのデータ取得元判断
32	共通	CC0032	処理種別	1	APIまたはバッチの処理結果を判断する区分判断を行う種別
33	共通	CC0033	処理結果コード	1	処理結果を示すコード。
34	共通	CC0034	課題ナレッジ詳細区分	1	課題ナレッジの詳細情報を判別する区分。
35	共通	CC0035	表示件数	3	検索画面の一覧表示件数のプルダウンリストで使用
36	共通	CC0036	初期処理利用フラグ	1	コンポーネントの使用有無の指定
37	共通	CC0037	関連チェック区分	1	マスターデータの削除時の関連チェックを行うか判断する区分

別紙2 インターフェース仕様書

コード一覧

項番	サブシステム	コードID	コード名称	コード桁数	内容説明
38	共通	CC0038	チェック仕様区分	1	マスターデータの削除時の関連チェックでエラーになった時の振る舞いを判断する区分
39	共通	CC0039	参照フラグ	1	マスターデータの削除時の条件で論理削除データを参照するか判断するフラグ
40	共通	CC0040	分類	1	システム設定マスタメンテナンス実施可否判断にて使用
41	共通	CC0041	APIバッチ機能名	3	実行結果ログ出力の対象機能
42	共通	CC0042	表示可否	1	機能毎の表示可否判断
43	共通	CC0043	利用可否	1	利用可能機能の利用可否判断
44	共通	CC0044	出力権限	1	機能グループの出力権限を設定
45	共通	CC0045	対象判断フラグ	1	汎用画面での各対象有無判断フラグ
46	共通	CC0046	アラートステータス	1	アラートに対する処理が行われたか判断するステータス
47	共通	CC0047	権限タイプ	1	ボタンオブジェクトの権限タイプを判別する区分
48	トレーサビリティ	CT0001	輸送カード強制発行区分	1	輸送カードを強制発行したか否かを判別する区分。
49	トレーサビリティ	CT0002	物品種類	1	物品が可燃か不燃かを判別する区分。
50	トレーサビリティ	CT0003	有害物質	1	有害物質の有無を判別する区分。
51	トレーサビリティ	CT0004	スクリーニング結果確認	1	スクリーニング後に異常値があったかどうかを判別する区分。
52	トレーサビリティ	CT0005	津波浸水	1	津波浸水域由来なのかを判別する区分
53	トレーサビリティ	CT0006	特定施設	1	特定施設なのかを判別する区分
54	トレーサビリティ	CT0007	除去土壌等種別	2	除去土壌等の種別(可燃、不燃、など)
55	トレーサビリティ	CT0008	発生土地分類	2	除去土壌等の発生地点の(現状)土地の分類
56	トレーサビリティ	CT0009	荷姿種別	1	荷姿の種別
57	トレーサビリティ	CT0010	内袋利用方法	1	大型土のう袋等の内袋の使用有無
58	トレーサビリティ	CT0011	内袋材質種別	1	大型土のう袋等の内袋の材質
59	トレーサビリティ	CT0012	アルミ内袋利用有無	1	内包済みの大型土のう袋等におけるアルミ内袋の利用有無
60	トレーサビリティ	CT0013	詰替元フレコン破損有無	1	内包済み大型土のう袋等に破損した大型土のう袋等が含まれるか
61	トレーサビリティ	CT0014	輸送ステータス区分	2	輸送の状況を判別する区分。
62	トレーサビリティ	CT0015	輸送カード申請結果	1	輸送カードの申請が承認されたかどうかを判別する区分。
63	トレーサビリティ	CT0016	破損した大型土のう袋等の有無	1	破損した大型土のう袋等が存在するか否かを示す。
64	トレーサビリティ	CT0017	内容物種別	1	除染時情報(非直轄)の内容物種別を判別する区分。
65	トレーサビリティ	CT0018	津波該当性	1	除染時情報(非直轄)の津波該当性を判別する区分。
66	トレーサビリティ	CT0019	土壌有害該当性	1	除染時情報(非直轄)の土壌有害該当性を判別する区分。
67	トレーサビリティ	CT0020	保管容器種別	1	除染時情報(非直轄)の保管容器種別を判別する区分。
68	トレーサビリティ	CT0021	保管容器内袋種別	1	除染時情報(非直轄)の保管容器内袋種別を判別する区分。
69	トレーサビリティ	CT0022	イベント種類	1	イベント種類
70	トレーサビリティ	CT0023	作業状態	1	仮置場、受入先の作業状態
71	トレーサビリティ	CT0024	荷下ろし確認フラグ	1	荷下ろし確認フラグ
72	トレーサビリティ	CT0025	直轄非直轄区分	1	仮置場の直轄非直轄区分
73	トレーサビリティ	CT0026	搬出元区分	1	搬出元区分
74	トレーサビリティ	CT0027	通知方法	1	事業者と道路管理者への通知方法
75	トレーサビリティ	CT0028	運行状態	1	運行計画の運行状態
76	トレーサビリティ	CT0029	除染データ作成状態	1	除染データ作成状態
77	トレーサビリティ	CT0030	タグ色ID	1	新タグ色の区分
78	トレーサビリティ	CT0031	関連種類	1	特記事項を関連する情報種類
79	トレーサビリティ	CT0032	輸送状態	1	輸送計画の輸送状態
80	トレーサビリティ	CT0033	データ出力済フラグ	1	データの出力を行ったかを判別するフラグ。
81	トレーサビリティ	CT0034	送信方法	1	メール、FAX等のメッセージの送信方法。

別紙2 インターフェース仕様書

コード一覧

項番	サブシステム	コードID	コード名称	コード桁数	内容説明
82	トレーサビリティ	CT0035	アラート送信有無	1	アラート送信の有無を判別する区分。
83	トレーサビリティ	CT0036	お知らせ送信有無	1	お知らせ送信の有無を判別する区分。
84	トレーサビリティ	CT0037	メール・FAX送信有無	1	メール・FAX送信の有無を判別する区分。
85	トレーサビリティ	CT0038	カテゴリ	1	アラート、お知らせ等のメッセージのカテゴリ。
86	トレーサビリティ	CT0039	アラート状態	1	手動アラートの状態を判別する区分。
87	トレーサビリティ	CT0040	検索対象フラグ	1	検索対象とするか、しないかを判別するフラグ。
88	トレーサビリティ	CT0041	搬出ステータス	1	除染時情報(非直轄)の搬出状況を判別するステータス。
89	トレーサビリティ	CT0042	オーバーパック有無	1	オーバーパックしたか、していないかを判別するフラグ。
90	トレーサビリティ	CT0043	区画区分	1	定置区画ごとに可燃・不燃・有害などを分けて定置するための区分。
91	被ばく	CR0001			欠番
92	被ばく	CR0002	作業員区分	10	作業員の属性を特定する区分。(管理者、ドライバーなど)
93	被ばく	CR0003			欠番
94	被ばく	CR0004	被ばくデータパターン	2	被ばく報告の「日次」、「月次」、「3ヶ月」、「年間」を判別する区分
95	被ばく	CR0005	四半期区分	1	四半期を判別する区分
96	モニタリング	CM0001			欠番
97	モニタリング	CM0002			欠番
98	モニタリング	CM0003			欠番
99	モニタリング	CM0004			欠番
100	モニタリング	CM0005			欠番
101	モニタリング	CM0006			欠番
102	モニタリング	CM0007			欠番
103	モニタリング	CM0008			欠番
104	モニタリング	CM0009	不検出フラグ(セシウム134)	1	不検出の有無を識別するフラグ
105	モニタリング	CM0010	不検出フラグ(セシウム137)	1	不検出の有無を識別するフラグ

別紙2 インターフェース仕様書

コード仕様(共通)

項番	コードID	コード名称	コード値	コード値名称	コード値名称 (略称)	備考
1	CC0001	外部インターフェース(JSON)ステータスコード	00	正常終了	正常終了	
2	CC0001	外部インターフェース(JSON)ステータスコード	01	異常終了	異常終了	
3	CC0002	外部インターフェース連携データ変更区分	I	新規登録	新規登録	
4	CC0002	外部インターフェース連携データ変更区分	U	更新	更新	
5	CC0002	外部インターフェース連携データ変更区分	D	削除	削除	
6	CC0003	利用サブシステム	1	トレーサビリティ	トレーサビリティ	
7	CC0003	利用サブシステム	2	被ばく情報	被ばく情報	
8	CC0003	利用サブシステム	3	モニタリング	モニタリング	
9	CC0003	利用サブシステム	4	ナレッジ	ナレッジ	
10	CC0003	利用サブシステム	5	マスタメンテ	マスタメンテ	
11	CC0003	利用サブシステム	6	その他	その他	アラートの集計で対象外とする
12	CC0004	アクセス権限	1	参照	参照	
13	CC0004	アクセス権限	2	編集	編集	
14	CC0005	外部インターフェース(JSON)連携結果コード	0	異常データなし	異常コードなし	
15	CC0005	外部インターフェース(JSON)連携結果コード	1	異常データあり	異常コードあり	
16	CC0006	外部インターフェース(JSON)連携データ異常コード	01	必須エラー	必須エラー	
17	CC0006	外部インターフェース(JSON)連携データ異常コード	02	サイズエラー	サイズエラー	
18	CC0006	外部インターフェース(JSON)連携データ異常コード	03	範囲エラー	範囲エラー	

別紙2 インターフェース仕様書

コード仕様(共通)

項番	コードID	コード名称	コード値	コード値名称	コード値名称(略称)	備考
19	CC0006	外部インターフェース(JSON)連携データ異常コード	04	書式エラー	書式エラー	
20	CC0006	外部インターフェース(JSON)連携データ異常コード	05	データ状況エラー(重複データ)	重複エラー	
21	CC0006	外部インターフェース(JSON)連携データ異常コード	06	データ状況エラー(更新対象無し)	更新対象無し	
22	CC0006	外部インターフェース(JSON)連携データ異常コード	07	データ状況エラー(削除対象無し)	削除対象無し	
23	CC0007	外部インターフェース(JSON)連携アラート有無	0	アラート無し	アラート無し	
24	CC0007	外部インターフェース(JSON)連携アラート有無	1	アラート有り	アラート有り	
25	CC0008	アラートコード	01	輸送車両順序チェック	輸送車両順序チェック	
26	CC0008	アラートコード	02	車両と運転手の組合せチェック	車両と運転手の組合せチェック	
27	CC0008	アラートコード	03	積載内容チェック(積載重量)	積載重量チェック	
28	CC0008	アラートコード	04	輸送前車両チェック	輸送前車両チェック	
29	CC0008	アラートコード	05	車両周り線量突出チェック	車両周り線量突出チェック	
30	CC0008	アラートコード	06	輸送ルート外チェック	輸送ルート外チェック	
31	CC0008	アラートコード	07	仮置場出発時刻チェック	仮置場出発時刻チェック	
32	CC0008	アラートコード	08	位置停滞のチェック	位置停滞のチェック	
33	CC0008	アラートコード	09	被ばく状況チェック	被ばく状況チェック	
34	CC0008	アラートコード	10	閾値超過のチェック	閾値超過のチェック	
35	CC0008	アラートコード	11	積載内容チェック(有害無害混載)	有害無害混載チェック	
36	CC0008	アラートコード	12	積載内容チェック(可燃不燃混載)	可燃不燃混載チェック	

別紙2 インターフェース仕様書

コード仕様(共通)

項番	コードID	コード名称	コード値	コード値名称	コード値名称 (略称)	備考
37	CC0008	アラートコード	13	輸送カード発行チェック	輸送カード発行 チェック	
38	CC0008	アラートコード	14	荷下ろし全量チェック	荷下ろし全量 チェック	
39	CC0008	アラートコード	15	ログオフチェック(ログオフ 誤り)	ログオフ誤りチェッ ク	
40	CC0008	アラートコード	16	ログオフチェック(ログオフ 忘れ)	ログオフ忘れ チェック	
41	CC0009	データ型コード	1	数字型	数字型	
42	CC0009	データ型コード	2	文字列	文字列	
43	CC0009	データ型コード	3	文字	文字	
44	CC0009	データ型コード	4	日付	日付	
45	CC0010	入力種別コード	01	テキストボックス	テキストボックス	
46	CC0010	入力種別コード	02	テキストエリア	テキストエリア	
47	CC0010	入力種別コード	03	プルダウンリスト	プルダウン	
48	CC0010	入力種別コード	04	ラジオボックス	ラジオ	
49	CC0010	入力種別コード	05	チェックボックス	チェックボックス	
50	CC0010	入力種別コード	06	ラベル	ラベル	
51	CC0010	入力種別コード	07	カレンダー	カレンダー	
52	CC0010	入力種別コード	08	範囲テキストボックス	範囲テキストボックス	
53	CC0010	入力種別コード	09	非表示項目	hidden	
54	CC0010	入力種別コード	10	ボタン	ボタン	

別紙2 インターフェース仕様書

コード仕様(共通)

項番	コードID	コード名称	コード値	コード値名称	コード値名称 (略称)	備考
55	CC0010	入力種別コード	11	事業者名プルダウンリスト	プルダウン	
56	CC0011	汎用明細権限種別コード	0	対象外	対象外	
57	CC0011	汎用明細権限種別コード	1	事業者	事業者	
58	CC0012	汎用明細数字日付演算子コード	0	指定なし	指定なし	
59	CC0012	汎用明細数字日付演算子コード	1	等しい	等しい	
60	CC0012	汎用明細数字日付演算子コード	2	大きい	大きい	
61	CC0012	汎用明細数字日付演算子コード	3	小さい	小さい	
62	CC0012	汎用明細数字日付演算子コード	4	以上	以上	
63	CC0012	汎用明細数字日付演算子コード	5	以下	以下	
64	CC0013	汎用明細文字演算子コード	0	指定なし	指定なし	
65	CC0013	汎用明細文字演算子コード	1	完全一致	完全一致	
66	CC0013	汎用明細文字演算子コード	2	前方一致	前方一致	
67	CC0013	汎用明細文字演算子コード	3	後方一致	後方一致	
68	CC0013	汎用明細文字演算子コード	4	含む	含む	
69	CC0014	汎用明細数字チェックパターン	0	チェックなし	チェックなし	
70	CC0014	汎用明細数字チェックパターン	1	必須チェック	必須チェック	
71	CC0014	汎用明細数字チェックパターン	2	最大値	最大値	
72	CC0014	汎用明細数字チェックパターン	3	最小値	最小値	

別紙2 インターフェース仕様書

コード仕様(共通)

項番	コードID	コード名称	コード値	コード値名称	コード値名称 (略称)	備考
73	CC0014	汎用明細数字チェックパターン	4	範囲	範囲	
74	CC0014	汎用明細数字チェックパターン	5	整数	整数	
75	CC0014	汎用明細数字チェックパターン	6	小数	小数	
76	CC0015	汎用明細文字チェックパターン	0	チェックなし	チェックなし	
77	CC0015	汎用明細文字チェックパターン	1	必須チェック	必須チェック	
78	CC0015	汎用明細文字チェックパターン	2	サイズチェック	サイズチェック	
79	CC0015	汎用明細文字チェックパターン	3	英字	英字	
80	CC0015	汎用明細文字チェックパターン	4	半角数字	半角数字	
81	CC0015	汎用明細文字チェックパターン	5	半角英数字	半角英数字	
82	CC0015	汎用明細文字チェックパターン	6	半角英数字記号	半角英数字記号	
83	CC0015	汎用明細文字チェックパターン	7	半角英数字カナ	半角英数字カナ	
84	CC0015	汎用明細文字チェックパターン	8	全角	全角	
85	CC0015	汎用明細文字チェックパターン	9	形式	形式	
86	CC0016	汎用明細日付チェックパターン	0	チェックなし	チェックなし	
87	CC0016	汎用明細日付チェックパターン	1	必須チェック	必須チェック	
88	CC0016	汎用明細日付チェックパターン	2	実在日付	実在日付	
89	CC0016	汎用明細日付チェックパターン	3	形式	形式	
90	CC0016	汎用明細日付チェックパターン	4	期間	期間	

別紙2 インターフェース仕様書

コード仕様(共通)

項番	コードID	コード名称	コード値	コード値名称	コード値名称 (略称)	備考
91	CC0016	汎用明細日付チェックパターン	5	過去日付不可	過去日付不可	
92	CC0016	汎用明細日付チェックパターン	6	未来日付不可	未来日付不可	
93	CC0016	汎用明細日付チェックパターン	7	实在時刻	实在時刻	
94	CC0016	汎用明細日付チェックパターン	8	25時許可	25時許可	
95	CC0017	条件連結	1	かつ	かつ	
96	CC0017	条件連結	2	または	または	
97	CC0018	演算子	1	に等しい	に等しい	
98	CC0018	演算子	2	より大きい	より大きい	
99	CC0018	演算子	3	より小さい	より小さい	
100	CC0018	演算子	4	以上	以上	
101	CC0018	演算子	5	以下	以下	
102	CC0018	演算子	6	を含む	を含む	
103	CC0019	画面色コード	0	本番環境	本番	
104	CC0019	画面色コード	1	訓練環境	訓練	
105	CC0020	アラート表示フラグ	0	オフ	オフ	
106	CC0020	アラート表示フラグ	1	オン(表示する)	オン	
107	CC0021	アラート音フラグ	0	オフ	オフ	
108	CC0021	アラート音フラグ	1	オン(音を鳴らす)	オン	

別紙2 インターフェース仕様書

コード仕様(共通)

項番	コードID	コード名称	コード値	コード値名称	コード値名称 (略称)	備考
109	CC0022	参照範囲	0	自事業所のみ	自事業所のみ	
110	CC0022	参照範囲	1	他事業所も参照可能	他事業所も参照可	
111	CC0023	編集権限区分	10	参照	参照	
112	CC0023	編集権限区分	11	参照制限	参照制限	本人のデータのみ一部修正が可能
113	CC0023	編集権限区分	20	編集	編集	
114	CC0023	編集権限区分	21	編集制限	編集制限	本人のデータのみ一部修正が可能
115	CC0024	処理指示機能区分	0	API	API	APIの処理によって作成されたデータ。
116	CC0024	処理指示機能区分	1	バッチ	バッチ	バッチ処理によって作成されたデータ。
117	CC0024	処理指示機能区分	2	ユーザ	ユーザ	ユーザによる画面操作に伴う処理によって作成されたデータ。
118	CC0024	処理指示機能区分	3	手動	手動	SQL等で直接テーブルを操作することで作成されたデータ。
119	CC0025	課題ナレッジ分類区分	0	課題	課題	
120	CC0025	課題ナレッジ分類区分	1	ナレッジ	ナレッジ	
121	CC0026	GSV帳票データ名	WC0191	空間線量率測定結果出力	空間線量率測定結	
122	CC0026	GSV帳票データ名	WC0192	大気中放射性物質濃度	空間線量率測定結	
123	CC0026	GSV帳票データ名	WC0193	作業員の日次線量被ばく傾	日次被ばく傾向	
124	CC0026	GSV帳票データ名	WC0194	作業員の月次線量被ばく傾	月次被ばく傾向	
125	CC0026	GSV帳票データ名	WC0195	作業区分別日平均被ばく編	作業区分別日平均	
126	CC0026	GSV帳票データ名	WC0196	作業場所別日平均被ばく編	作業場所別日平均	

別紙2 インターフェース仕様書

コード仕様(共通)

項番	コードID	コード名称	コード値	コード値名称	コード値名称 (略称)	備考
127	CC0027	ソートフラグ	1	昇順	昇順	
128	CC0027	ソートフラグ	2	降順	降順	
129	CC0028	検索登録チェックコード	0	チェックなし	チェックなし	
130	CC0028	検索登録チェックコード	1	必須入力チェック	必須入力	
131	CC0028	検索登録チェックコード	2	半角数字チェック	半角数字	
132	CC0028	検索登録チェックコード	3	半角英数字チェック	半角英数字	
133	CC0028	検索登録チェックコード	4	数字最小値チェック	数字最小値	
134	CC0028	検索登録チェックコード	5	数字最大値チェック	数字最大値	
135	CC0028	検索登録チェックコード	6	文字サイズチェック	文字サイズ	
136	CC0028	検索登録チェックコード	7	文字バイト数チェック	文字バイト数	
137	CC0028	検索登録チェックコード	8	日付チェック	日付	
138	CC0028	検索登録チェックコード	9	正規チェック	正規	
139	CC0029	PKフラグ	0	PK以外	PK以外	
140	CC0029	PKフラグ	1	PK	PK	
141	CC0030	チェック有無フラグ	0	チェックなし	チェックなし	
142	CC0030	チェック有無フラグ	1	チェックあり	チェックあり	
143	CC0031	データ取得元	1	一覧	一覧	
144	CC0031	データ取得元	2	固定	固定	

別紙2 インターフェース仕様書

コード仕様(共通)

項番	コードID	コード名称	コード値	コード値名称	コード値名称 (略称)	備考
145	CC0032	処理種別	1	外部連携処理	API	
146	CC0032	処理種別	2	バッチ処理	バッチ	
147	CC0033	処理結果コード	0	正常	正常	
148	CC0033	処理結果コード	1	異常	異常	
149	CC0033	処理結果コード	2	警告	警告	
150	CC0034	課題ナレッジ詳細区分	0	質問	質問	
151	CC0034	課題ナレッジ詳細区分	1	回答	回答	
152	CC0035	表示件数	50	50件ごと	50件ごと	検索画面の出力条件指定で使用 ※共通部品が使用する
153	CC0035	表示件数	100	100件ごと	100件ごと	
154	CC0035	表示件数	150	150件ごと	150件ごと	
155	CC0036	初期処理利用フラグ	0	未使用	未使用	
156	CC0036	初期処理利用フラグ	1	使用	使用	
157	CC0037	関連チェック区分	1	上位チェック	上位チェック	
158	CC0037	関連チェック区分	2	下位チェック	下位チェック	
159	CC0038	チェック仕様区分	1	エラー	エラー	
160	CC0038	チェック仕様区分	2	警告	警告	
161	CC0039	参照フラグ	0	参照しない	参照しない	
162	CC0039	参照フラグ	1	参照する	参照する	

別紙2 インターフェース仕様書

コード仕様(共通)

項番	コードID	コード名称	コード値	コード値名称	コード値名称 (略称)	備考
163	CC0040	分類	S	システム設定値	システム設定値	
164	CC0040	分類	T	閾値	閾値	
165	CC0040	分類	O	その他	その他	
166	CC0041	APIバッチ機能名	001	バッチ処理	バッチ処理	コード、名称の変更あり
167	CC0041	APIバッチ機能名	002	API連携処理	API連携処理	コード、名称の変更あり
168	CC0042	表示可否	0	表示しない	表示しない	
169	CC0042	表示可否	1	表示する	表示する	
170	CC0043	利用可否	0	利用しない	利用しない	
171	CC0043	利用可否	1	利用する	利用する	
172	CC0044	出力権限	1	出力不可	出力不可	
173	CC0044	出力権限	2	出力可	出力可	
174	CC0045	対象判断フラグ	0	対象外	対象外	
175	CC0045	対象判断フラグ	1	対象	対象	
176	CC0046	アラートステータス	1	未対応	未対応	
177	CC0046	アラートステータス	2	対処済	対処済	
178	CC0047	権限タイプ	1	編集権限	編集権限	編集権限があるかチェックを行う
179	CC0047	権限タイプ	2	出力権限	出力権限	出力権限があるかチェックを行う
180	CC0047	権限タイプ	3	利用権限	利用権限	参照・編集権限があるかチェックを行う

別紙2 インターフェース仕様書

コード仕様(トレーサビリティ)

項番	コードID	コード名称	コード値	コード値名称	コード値名称 (略称)	備考
1	CT0001	輸送カード強制発行区分	0	強制発行無し	強制発行無し	
2	CT0001	輸送カード強制発行区分	1	強制発行有り	強制発行有り	
3	CT0002	物品種類	0	可燃	可燃	
4	CT0002	物品種類	1	不燃	不燃	
5	CT0003	有害物質	0	有害無し	有害無し	
6	CT0003	有害物質	1	有害有り	有害有り	
7	CT0004	スクリーニング結果確認	0	異常無し	異常無し	
8	CT0004	スクリーニング結果確認	1	異常有り	異常有り	
9	CT0005	津波浸水	1	津波浸水域由来	津波浸水域由来	
10	CT0005	津波浸水	2	津波浸水域由来以外	津波浸水域由来以外	
11	CT0006	特定施設	1	特定施設由来	特定施設由来	
12	CT0006	特定施設	2	特定施設由来以外	特定施設由来以外	
13	CT0007	除去土壌等種別	1	草木類	草木類	剪定枝、落葉、芝、苔、雑草、リター層、伐採木、抜根等
14	CT0007	除去土壌等種別	2	可燃廃棄物	可燃廃棄物	タイベックス、ウエス、マスク、フィルタ、ゴム手袋、紙類等(コード値:01以外の可燃廃棄物)
15	CT0007	除去土壌等種別	3	土壌等	土壌等	土類、小石、砂利等
16	CT0007	除去土壌等種別	4	コンクリート殻等	コンクリート殻等	瓦、レンガ、ブロック、岩石等
17	CT0007	除去土壌等種別	5	アスファルト混合物	アスファルト混合物	
18	CT0007	除去土壌等種別	6	不燃物・混合物	不燃物・混合物	危険物・有害物を除く(コード値:03、04、05以外の不燃物・混合物)

別紙2 インターフェース仕様書

コード仕様(トレーサビリティ)

項番	コードID	コード名称	コード値	コード値名称	コード値名称 (略称)	備考
19	CT0007	除去土壌等種別	7	石綿含有建材	石綿含有建材	
20	CT0007	除去土壌等種別	8	石膏ボード	石膏ボード	
21	CT0007	除去土壌等種別	9	危険物・有害物	危険物・有害物	コード値:07、08以外
22	CT0007	除去土壌等種別	10	屋外残置廃棄物_可燃物	屋外残置廃棄物_可燃物	
23	CT0007	除去土壌等種別	11	屋外残置廃棄物_不燃物	屋外残置廃棄物_不燃物	
24	CT0007	除去土壌等種別	12	仮置場解体発生可燃物	仮置場解体発生可燃物	仮置場解体時の防水シート等
25	CT0007	除去土壌等種別	13	仮置場解体発生不燃物	仮置場解体発生不燃物	間詰め材、整地用の土壌等
26	CT0007	除去土壌等種別	14	焼却灰	焼却灰	
27	CT0008	発生土地分類	1	住宅地等	住宅地等	
28	CT0008	発生土地分類	2	学校	学校	
29	CT0008	発生土地分類	3	公園	公園	
30	CT0008	発生土地分類	4	大型施設	大型施設	
31	CT0008	発生土地分類	5	道路	道路	
32	CT0008	発生土地分類	6	法面・斜面	法面・斜面	
33	CT0008	発生土地分類	7	草地、芝地	草地、芝地	
34	CT0008	発生土地分類	8	農地	農地	
35	CT0008	発生土地分類	9	果樹園	果樹園	
36	CT0008	発生土地分類	10	森林	森林	

別紙2 インターフェース仕様書

コード仕様(トレーサビリティ)

項番	コードID	コード名称	コード値	コード値名称	コード値名称 (略称)	備考
37	CT0008	発生土地分類	11	仮置場	仮置場	
38	CT0009	荷姿種別	1	耐候性大型土のう	耐候性	
39	CT0009	荷姿種別	2	クロス型大型土のう袋等	クロス型	
40	CT0009	荷姿種別	3	ランニング型大型土のう袋等_I	ランニング I	
41	CT0009	荷姿種別	4	ランニング型大型土のう袋等_II	ランニング II	
42	CT0009	荷姿種別	5	フレキシブルコンテナ耐候性(3年)	耐候3年	
43	CT0009	荷姿種別	6	フレキシブルコンテナ耐水・耐候性(3年)	耐水耐候3年	
44	CT0009	荷姿種別	7	その他	その他	
45	CT0009	荷姿種別	8	耐候(オーバーパック)	耐候オーバー	
46	CT0009	荷姿種別	9	耐水・耐候(オーバーパック)	耐水耐候オーバー	
47	CT0010	内袋利用方法	1	内袋なし	内袋なし	
48	CT0010	内袋利用方法	2	1重内袋	1重内袋	
49	CT0010	内袋利用方法	3	2重内袋(内袋をあらかじめ2重にした後に内容物を格納)	2重内袋(内袋をあらかじめ2重にした後に内容物を格納)	内袋をあらかじめ2重にした後に内容物を格納した場合に選択
50	CT0010	内袋利用方法	4	2重内袋(1重の内袋に内容物を格納した後に2重化)	2重内袋(1重の内袋に内容物を格納した後に2重化)	1重の内袋に内容物を格納した後にさらに2重化した場合に選択
51	CT0011	内袋材質種別	1	アルミ内袋利用あり	アルミ内袋利用あり	

別紙2 インターフェース仕様書

コード仕様(トレーサビリティ)

項番	コードID	コード名称	コード値	コード値名称	コード値名称 (略称)	備考
52	CT0011	内袋材質種別	2	アルミ内袋利用なし	アルミ内袋利用なし	
53	CT0012	アルミ内袋利用有無	1	アルミ内袋あり	アルミ内袋あり	
54	CT0012	アルミ内袋利用有無	2	アルミ内袋なし	アルミ内袋なし	
55	CT0013	詰替元フレコン破損有無	1	フレコンごと詰替	フレコンごと詰替	既に設置されているフレキシブルコンテナ等の内容物を取り出さずに、新たなフレキシブルコンテナに詰込んだ場合を選択
56	CT0013	詰替元フレコン破損有無	2	内容物のみ詰替	内容物のみ詰替	既に設置されているフレキシブルコンテナ等の内容物を取り出して、新たなフレキシブルコンテナに詰替した場合を選択
57	CT0013	詰替元フレコン破損有無	3	タグのみ付与(詰替なし)	タグのみ付与(詰替なし)	QRタグ以外のタグが付いているフレキシブルコンテナ等(主に先行除染、モデル除染で発生したものを想定)に詰替を行わずQRタグを取り付ける際に選択
58	CT0014	輸送ステータス区分	01	輸送開始	輸送開始	
59	CT0014	輸送ステータス区分	02	積込開始	積込開始	
60	CT0014	輸送ステータス区分	03	輸送カード発行申請	輸送カード発行申請	
61	CT0014	輸送ステータス区分	04	輸送カード発行承認済	輸送カード発行承認済	
62	CT0014	輸送ステータス区分	05	輸送カード強制発行承認済	輸送カード強制発行承認済	
63	CT0014	輸送ステータス区分	06	輸送カード発行済	輸送カード発行済	
64	CT0014	輸送ステータス区分	07	仮置場出発	仮置場出発	
65	CT0014	輸送ステータス区分	08	保管場到着	保管場到着	

別紙2 インターフェース仕様書

コード仕様(トレーサビリティ)

項番	コードID	コード名称	コード値	コード値名称	コード値名称 (略称)	備考
66	CT0014	輸送ステータス区分	10	荷下ろし完了	荷下ろし完了	
67	CT0014	輸送ステータス区分	11	スクリーニング完了	スクリーニング完了	
68	CT0014	輸送ステータス区分	12	保管場出発	保管場出発	
69	CT0014	輸送ステータス区分	13	輸送終了	輸送終了	
70	CT0015	輸送カード申請結果	0	承認	承認	
71	CT0015	輸送カード申請結果	1	否認	否認	
72	CT0015	輸送カード申請結果	2	強制発行承認待ち	承認待	
73	CT0016	破損した大型土のう袋等の有無	1	破損なし	破損なし	
74	CT0016	破損した大型土のう袋等の有無	2	破損あり	破損なし	
75	CT0017	内容物種別	1	土壌(土砂、砂利、汚泥)	土壌	非直轄専用
76	CT0017	内容物種別	2	可燃(腐葉、枝、葉、草、チップ)	可燃	非直轄専用
77	CT0017	内容物種別	3	その他可燃物	その他可燃	非直轄専用
78	CT0017	内容物種別	4	土壌以外の不燃物	土壌以外不燃	非直轄専用
79	CT0017	内容物種別	5	焼却灰	焼却	非直轄専用
80	CT0018	津波該当性	0	非該当	非該当	非直轄専用
81	CT0018	津波該当性	1	該当	該当	非直轄専用
82	CT0019	土壌有害該当性	0	非該当	非該当	非直轄専用
83	CT0019	土壌有害該当性	1	該当	該当	非直轄専用

別紙2 インターフェース仕様書

コード仕様(トレーサビリティ)

項番	コードID	コード名称	コード値	コード値名称	コード値名称 (略称)	備考
84	CT0020	保管容器種別	1	耐候性大型土のう	耐候性	非直轄専用
85	CT0020	保管容器種別	2	クロス型大型土のう袋等	クロス型	非直轄専用
86	CT0020	保管容器種別	3	ランニング型大型土のう袋等_I	ランニング I	非直轄専用
87	CT0020	保管容器種別	4	ランニング型大型土のう袋等_II	ランニング II	非直轄専用
88	CT0020	保管容器種別	5	その他	その他	非直轄専用
89	CT0021	保管容器内袋種別	1	内袋なし	内袋なし	非直轄専用
90	CT0021	保管容器内袋種別	2	アルミ内袋	アルミ内袋	非直轄専用
91	CT0021	保管容器内袋種別	3	ポリエチレン内袋_二重以上	ポリエチレン内袋_二重以上	非直轄専用
92	CT0021	保管容器内袋種別	4	ポリエチレン内袋_一重	ポリエチレン内袋_一重	非直轄専用
93	CT0021	保管容器内袋種別	5	その他内袋_二重以上	その他内袋_二重以上	非直轄専用
94	CT0021	保管容器内袋種別	6	その他内袋_一重	その他内袋_一重	非直轄専用
95	CT0022	イベント種類	0	急ブレーキ		
96	CT0022	イベント種類	1	一般道最高速度	一般道最高速度	
97	CT0022	イベント種類	2	高速度最高速度	高速度最高速度	
98	CT0022	イベント種類	3	急加速	急加速	
99	CT0022	イベント種類	4	急減速	急減速	
100	CT0023	作業状態	0	業務予定なし	業務予定なし	
101	CT0023	作業状態	1	業務開始前	業務開始前	

別紙2 インターフェース仕様書

コード仕様(トレーサビリティ)

項番	コードID	コード名称	コード値	コード値名称	コード値名称 (略称)	備考
102	CT0023	作業状態	2	業務中	業務中	
103	CT0023	作業状態	3	業務終了	業務終了	
104	CT0024	荷下ろし確認フラグ	0	荷下ろし未確認(輸送中 含)	荷下ろし未確認 (輸送中含)	
105	CT0024	荷下ろし確認フラグ	1	荷下ろし確認済	荷下ろし確認済	
106	CT0025	直轄非直轄区分	0	直轄	直轄	
107	CT0025	直轄非直轄区分	1	非直轄	非直轄	
108	CT0026	搬出元区分	0	仮置場	仮置場	
109	CT0026	搬出元区分	1	焼却炉等	焼却炉等	
110	CT0027	通知方法	1	メール	メール	
111	CT0027	通知方法	2	FAX	FAX	
112	CT0028	運行状態	0	計画中	計画中	
113	CT0028	運行状態	1	実施中	実施中	
114	CT0028	運行状態	2	終了	終了	
115	CT0029	除染データ作成状態	0	データ未作成	データ未作成	
116	CT0029	除染データ作成状態	1	データ作成済	データ作成済	
117	CT0030	タグ色ID	1	緑	緑	
118	CT0030	タグ色ID	2	黄	黄	
119	CT0030	タグ色ID	3	白	白	

別紙2 インターフェース仕様書

コード仕様(トレーサビリティ)

項番	コードID	コード名称	コード値	コード値名称	コード値名称 (略称)	備考
120	CT0030	タグ色ID	4	青	青	
121	CT0030	タグ色ID	5	赤	赤	
122	CT0030	タグ色ID	6	黒	黒	
123	CT0030	タグ色ID	7	橙	橙	
124	CT0030	タグ色ID	8	紫	紫	
125	CT0031	関連種類	0	仮置場マスタ	仮置場マスタ	
126	CT0031	関連種類	1	受入先マスタ	受入先マスタ	
127	CT0031	関連種類	2	保管場所マスタ	保管場所マスタ	
128	CT0031	関連種類	3	事業者マスタ	事業者マスタ	
129	CT0031	関連種類	4	車両データ	車両データ	
130	CT0031	関連種類	5	仮置場作業状況	仮置場作業状況	
131	CT0031	関連種類	6	保管場所作業状況	保管場所作業状況	
132	CT0031	関連種類	7	輸送カード情報	輸送カード情報	
133	CT0032	輸送状態	0	計画中	計画中	
134	CT0032	輸送状態	1	実施中	実施中	
135	CT0032	輸送状態	2	終了	終了	
136	CT0033	データ出力済フラグ	0	未出力	未出力	
137	CT0033	データ出力済フラグ	1	出力済	出力済	

別紙2 インターフェース仕様書

コード仕様(トレーサビリティ)

項番	コードID	コード名称	コード値	コード値名称	コード値名称 (略称)	備考
138	CT0034	送信方法	1	メール	メール	
139	CT0034	送信方法	2	FAX	FAX	
140	CT0034	送信方法	3	メール・FAX	メール・FAX	
141	CT0035	アラート送信有無	0	アラート送信なし	アラート送信なし	
142	CT0035	アラート送信有無	1	アラート送信あり	アラート送信あり	
143	CT0035	アラート送信有無	2	アラート解除送信	アラート解除送信	
144	CT0036	お知らせ送信有無	0	お知らせ送信なし	お知らせ送信なし	
145	CT0036	お知らせ送信有無	1	お知らせ送信あり	お知らせ送信あり	
146	CT0037	メール・FAX送信有無	0	メール・FAX送信なし	メール・FAX送信なし	
147	CT0037	メール・FAX送信有無	1	メール・FAX送信あり	メール・FAX送信あり	
148	CT0038	カテゴリ	1	お知らせ	お知らせ	
149	CT0038	カテゴリ	2	アラート	アラート	
150	CT0038	カテゴリ	3	メールまたはFAX	メールまたはFAX	
151	CT0039	アラート状態	1	アラート	アラート	
152	CT0039	アラート状態	2	アラート解除	アラート解除	
153	CT0040	検索対象フラグ	0	有効	有効	
154	CT0040	検索対象フラグ	1	無効	無効	
155	CT0041	搬出ステータス	1	除染時容器番号:搬出前	除染容器:搬出前	非直轄専用 除染時容器番号は、正式の番号

別紙2 インターフェース仕様書

コード仕様(トレーサビリティ)

項番	コードID	コード名称	コード値	コード値名称	コード値名称 (略称)	備考
156	CT0041	搬出ステータス	2	除染時容器番号:搬出済	除染容器:搬出済	非直轄専用 除染時容器番号は、正式の番号
157	CT0041	搬出ステータス	3	除染時容器番号:その他	除染容器:その他	非直轄専用 除染時容器番号は、正式の番号
158	CT0041	搬出ステータス	4	除染時ダミー番号:搬出前	除染ダミー:搬出前	非直轄専用 除染時ダミー番号は、輸送直前に決まっている番号(pit番号)
159	CT0041	搬出ステータス	5	除染時ダミー番号:搬出済	除染ダミー:搬出済	非直轄専用 除染時ダミー番号は、輸送直前に決まっている番号(pit番号)
160	CT0041	搬出ステータス	6	除染時ダミー番号:未使用	除染ダミー:未使用	非直轄専用 除染時ダミー番号は、輸送直前に決まっている番号(pit番号)
161	CT0041	搬出ステータス	7	除染時ダミー番号:その他	除染ダミー:その他	非直轄専用 除染時ダミー番号は、輸送直前に決まっている番号(pit番号)
162	CT0041	搬出ステータス	8	輸送時ダミー番号:搬出済	輸送ダミー:搬出済	非直轄専用 輸送ダミー番号は、輸送時にダミーとした場合
163	CT0041	搬出ステータス	9	輸送時ダミー番号:その他	輸送ダミー:その他	非直轄専用 輸送ダミー番号は、輸送時にダミーとした場合
164	CT0042	オーバーパック有無	0	オーバーパック無し	無し	
165	CT0042	オーバーパック有無	1	オーバーパック有り	有り	
166	CT0043	区画区分	1	可燃	可燃	
167	CT0043	区画区分	2	不燃	不燃	
168	CT0043	区画区分	3	有害物質	有害物質	

別紙2 インターフェース仕様書

コード仕様(被ばく情報)

項番	コードID	コード名称	コード値	コード値名称	コード値名称 (略称)	備考
1	CR0002	作業者区分	CM000001	監督支援者	監督支援者	JESCO、TEPCOのみ設定可能
2	CR0002	作業者区分	CM000002	工事監督者	工事監督者	
3	CR0002	作業者区分	LD000001	積込作業者	積込作業者	
4	CR0002	作業者区分	LD000002	その他仮置場工事作業者	その他仮置場工事作業者	
5	CR0002	作業者区分	UN000001	受入・荷下作業者	受入・荷下作業者	
6	CR0002	作業者区分	UN000002	その他保管場工事作業者	その他保管場工事作業者	
7	CR0002	作業者区分	UN000003	線量低減工事作業者	線量低減工事作業者	
8	CR0002	作業者区分	DR000001	運転者	運転者	
9	CR0002	作業者区分	OT000001	道路補修工事作業者	道路補修工事作業者	
10	CR0002	作業者区分	OT000002	モニタリング作業者	モニタリング作業者	JESCOのみ設定可能
11	CR0004	被ばくデータパターン	01	日次報告データ	日次	
12	CR0004	被ばくデータパターン	02	月次報告データ	月次	
13	CR0004	被ばくデータパターン	03	3ヶ月累積データ	3ヶ月	
14	CR0004	被ばくデータパターン	04	年間累積データ	年間	
15	CR0005	四半期区分	1	4,5,6月の累積報告	4,5,6月の累積報告	
16	CR0005	四半期区分	2	7,8,9月の累積報告	7,8,9月の累積報告	
17	CR0005	四半期区分	3	10,11,12月の累積報告	10,11,12月の累積報告	
18	CR0005	四半期区分	4	1,2,3月の累積報告	1,2,3月の累積報告	

別紙2 インターフェース仕様書

コード仕様(モニタリング)

項番	コードID	コード名称	コード値	コード値名称	コード値名称 (略称)	備考
1	CM0009	不検出フラグ(セシウム134)	0	不検出無し	不検出無し	
2	CM0009	不検出フラグ(セシウム134)	1	不検出	不検出	
3	CM0010	不検出フラグ(セシウム137)	0	不検出無し	不検出無し	
4	CM0010	不検出フラグ(セシウム137)	1	不検出	不検出	

コードID体系

1. コード体系
桁数:6桁

桁毎の設定値

1桁目	2桁目	3桁～6桁目
"C"固定	サブシステム	連番

C: 共通
T: トレーサビリティ
R: 被ばく
M: モニタ

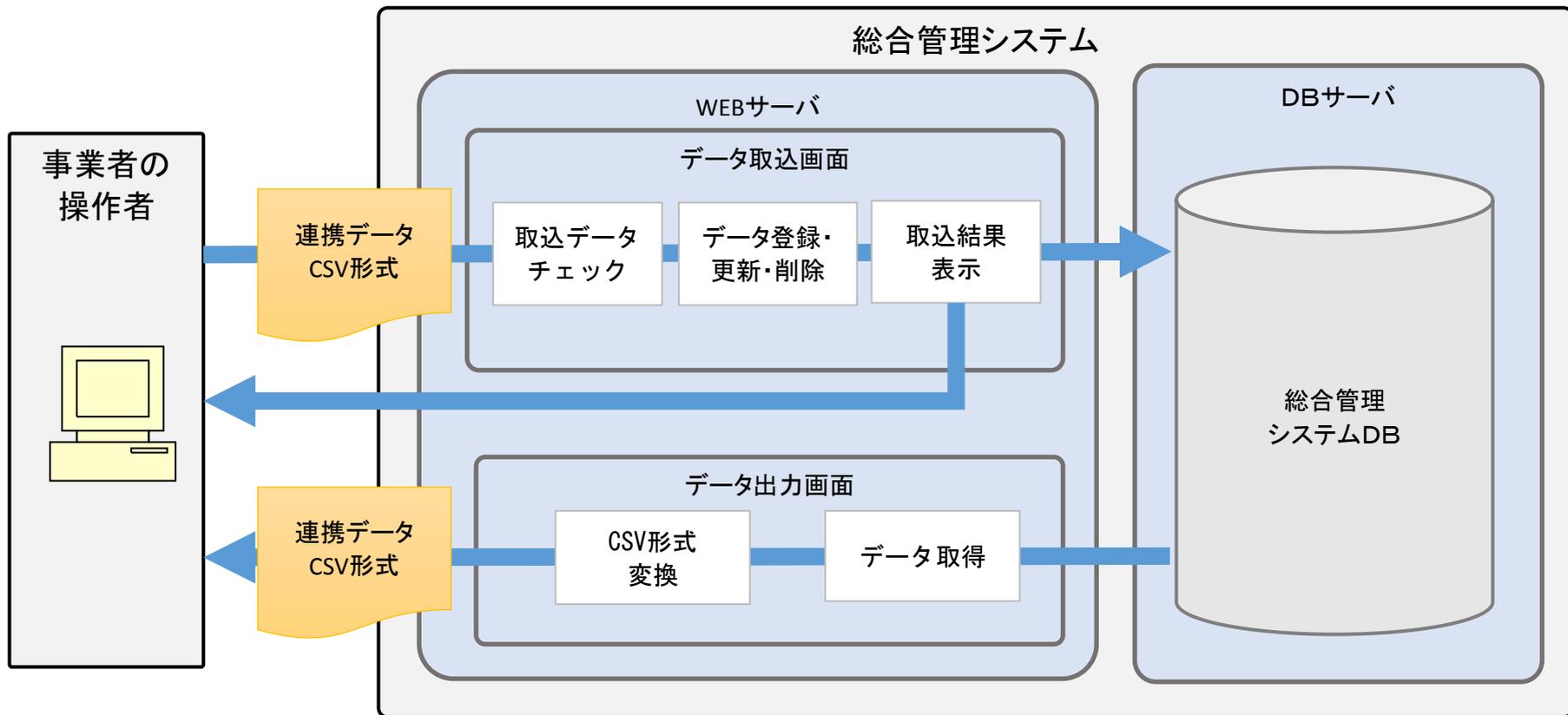
0001～9999

3. CSV方式

3.1 CSV方式概要

各種データをシステム間で連携するための機能として、総合管理システムにてCSV形式での連携用の画面を提供する。連携用画面は「データ取込画面」と「データ出力画面」の2つの機能があり、「データ取込画面」では操作者が取込を行った際に「データチェック」「データ登録・更新・削除」の処理を行い、取込結果を画面に表示する。「データ出力画面」では操作者が指定したデータを総合管理システムから取得し、CSV形式に変換してダウンロードする。

3.2 CSV方式概要図



3.3 総合管理システムのブラウザ接続要件

総合管理システムにインターネット経由でブラウザ接続する場合の要件を以下に示す。

項目	要件
OS	Windows 7 以上
ブラウザ1	Internet Explorer11 (総合管理システム導入バージョン : 11.0.9600.18124)
ブラウザ2	Google Chrome (総合管理システム導入バージョン : 48.0.2564.82)
クライアント証明書	利用申請に基づき発行されるクライアント証明書の設定が必要

3. 4 CSV形式

連携用の画面で使用するCSVの書式(入出力共通)は以下の通り。

ファイル形式	CSV
文字コード	SJIS
ヘッダ	なし
区切り文字	カンマ
項目の記述	ダブルクォート(”) で項目は括らない
エスケープ文字	ダブルクォート(”) やカンマ(,) を値として含める場合はダブルクォート(”) でエスケープする 例) あ””い ⇒ あ”い
レコード区切り	CR+LF
改行付きの値の設定	値の中に改行コードを含める場合は項目をダブルクォートで括る 例) ”あああ[CR + LF]いいい”
空レコードの制御	空レコードは無視する

【CSVデータイメージ】

例: 車両データCSV

```

I,TOKYO_JV,T_JV_01,東京1号車,10tトラック,010-2854,1000,8000,総合太郎,×××仮置場用として追加
I,CHIBA_JV,C_JV_02,千葉2号車,レンジャーダンプ,070-2715,1000,55,8000,総合次郎,〇〇〇参入
U,FUKUYAMA_JV,F_JV_01,福山1号車,フォワードダンプ,011-5552,2100.61,8000,総合三郎,車両故障により変更
D,AOMORI_JV,A_JV_01,青森1号車
I,IWATE_JV,I_JV_01,岩手1号車,,110-8745,100000.51,10000.501,新規追加
I,NIIGATA_JV,N_JV_01,新潟1号車,エルフダンプ,019-0154,1000,5000,総合五郎,△△△中間貯蔵施設用として
:
:

```

3. 5 CSV処理方針

3. 5. 1 データ取込時の登録・更新

登録・更新対象のデータを全件チェック(※1)し、チェック結果が全て正常であれば総合管理システムに反映する。
チェックの結果、1件でも異常なデータが存在する場合には総合管理システムへの反映は行わず、画面にエラーを表示(※2)する。
登録・更新対象のデータには、「変更区分」(※3)を付与し、取込を実施する。

※1 データチェック

取込時に、「必須チェック」「桁数チェック」「範囲チェック」「書式チェック」「データ状況チェック」の5つの共通チェック処理を行う。その他チェックが必要な場合は、インターフェース毎に独自に実装する。

※2 取込時のエラー表示

取込時にデータチェックでエラーが発生した場合、画面にはエラーが発生した旨のメッセージのみを表示しエラーの詳細についてはエラーファイルに出力して、画面よりダウンロード可能とする。

※3 変更区分

取込データに対する処理内容を表す以下の区分(「I:新規(登録)」「U:変更(更新)」「D:削除」)。
取込内容を明確にし、データ不整合が発生している場合に想定外のデータ更新が行われないようにするため指定する。
「データ状況チェック」にて、変更区分と、総合管理システム側のデータ状況に不整合が発生していないかを確認し、以下の通り制御する。

- (1) 変更区分「I」で取り込まれたが、既に同じキーのデータが登録済みである場合
データの登録処理は行わず、異常データとしてエラーファイルに出力する。
- (2) 変更区分「U」で取り込まれたが、同じキーのデータが登録されていない場合
データの更新処理は行わず、異常データとしてエラーファイルに出力する。
- (3) 変更区分「D」で取り込まれたが、同じキーのデータが登録されていない場合
データの削除処理は行わず、異常データとしてエラーファイルに出力する。
- (4) 変更区分が存在しない
対象外として処理せず読み飛ばす。

3. 5. 2 データ出力

CSV出力の画面より、総合管理システム側に登録されているデータをCSV形式としてダウンロードする。
検索条件に一致するデータが存在しない場合、画面には対象データが存在しない旨のメッセージを表示する。
また、データ件数が一律で設定している閾値を超える場合、出力不可としてその旨メッセージを表示する。

3. 6 異常データの取込結果表示

CSVの「データ取込画面」にて異常データ有りだった場合、どのデータにどのような不備があったかを把握できるようにエラー情報を出力する。異常データを修正後は、再度画面から取込を実施する。
 制約事項として、エラー情報を保持しないため、他の画面へ遷移するとエラー情報は全て消える。

異常データの取込結果表示イメージ

The screenshot shows a web interface for data import. At the top, a blue header reads '除染時大型土のう袋等(非直轄)取込'. Below it, a red-bordered box contains the message 'XXXへのアップロードでエラーが発生しました。'. The main form area is titled '入力項目' and includes a dropdown menu for '仮置き場' (set to '〇〇〇〇〇区'), a text input for '取込ファイル' (containing 'C¥xxxxx¥xxxx¥xxxx.csv'), and a '参照' button. A '取込' button is also present. Below the form is a dashed box labeled 'エラーファイルのダウンロード'. An arrow points from this box to a red-bordered box containing the filename '20160510142105.csv'. Below that, another red-bordered box lists error details: '行数, データ名, エラー内容', followed by three entries: '1, 市町村_番号, 必須項目エラー', '101, 内容物_種別, 範囲エラー', and '152, 除染場所_除染実施日, 日付書式エラー'.

取込の結果、異常データが存在した場合にメッセージが出力される。
 ※正常終了時は、取込完了のメッセージが表示される。

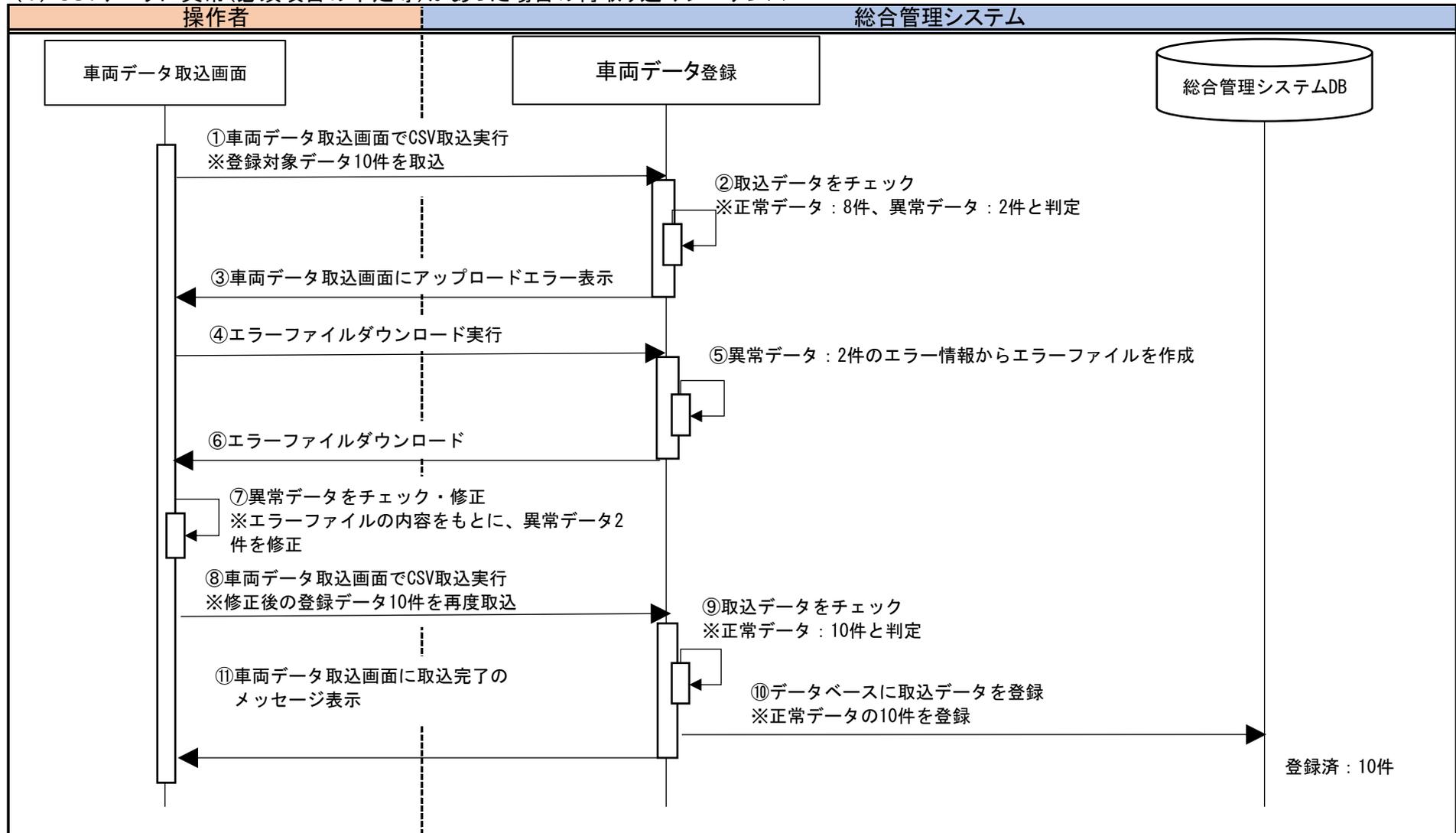
受信日時をファイル名としたエラーファイルがダウンロードされる。

対象のエラー項目とエラー内容が分かるように「行数」「データ名」「エラー内容」を出力する

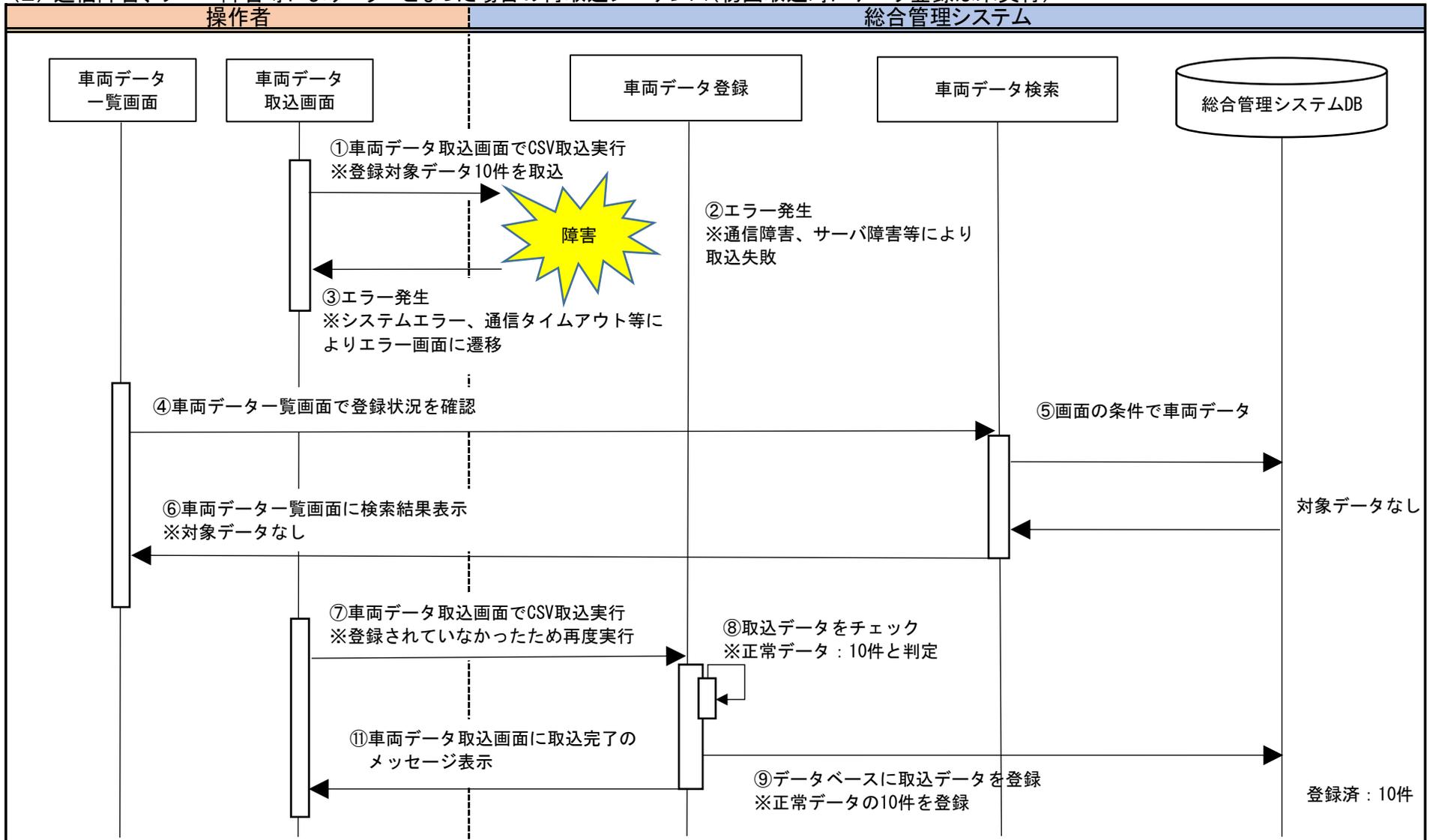
3.7 CSV方式エラーシーケンス

異常データ、通信エラー等によってデータ取込に失敗した場合、操作者が以下のシーケンスに沿って、データの再取り込みを実施いただく。
以下シーケンスにてデータ取込が成功しない場合、運用対応とする。

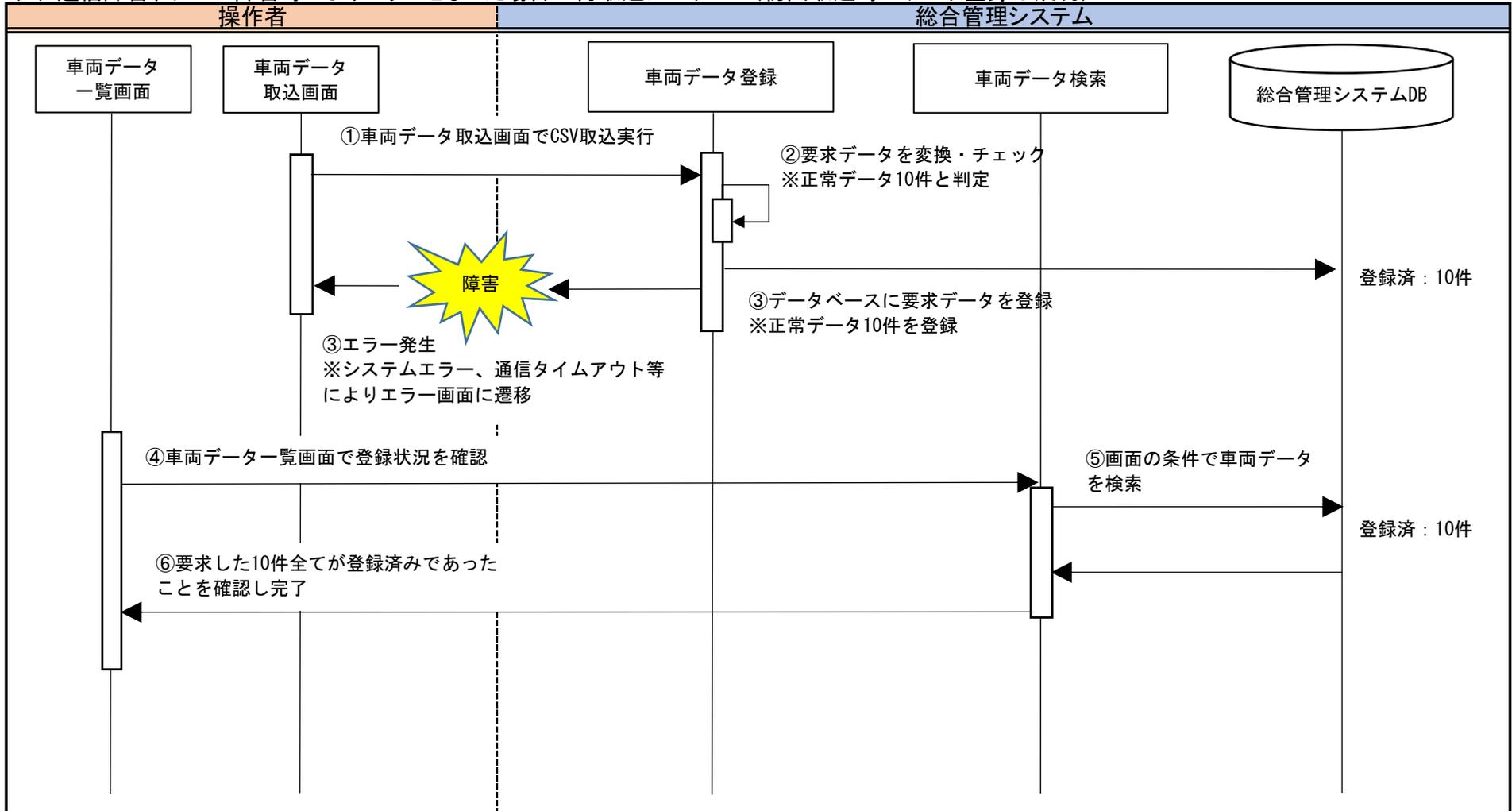
(1) CSVデータに異常(必須項目の不足等)があった場合の再取り込みシーケンス



(2) 通信障害、サーバ障害等によりエラーとなった場合の再取込シーケンス(初回取込時にデータ登録は未実行)



(3) 通信障害、サーバ障害等によりエラーとなった場合の再取込シーケンス(初回取込時にデータ登録は成功)

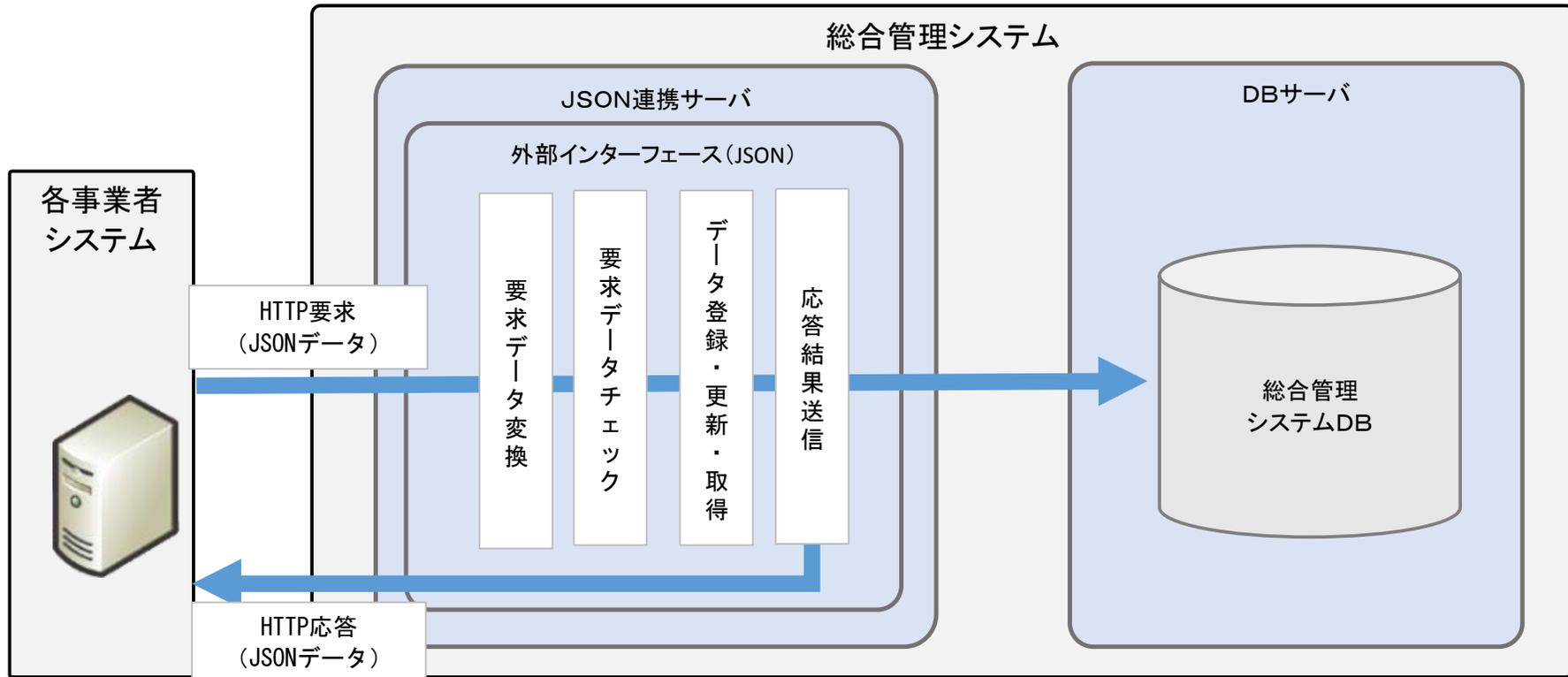


4. JSON方式

4.1 インターフェース概要

各種データをシステム間で自動連携するための機能として、総合管理システムにてJSON連携インターフェースを提供する。本インターフェースでは、連携先の各事業者システムより送信されたデータ登録・更新・取得要求に対し、「要求データ変換」「要求データチェック」「データ登録・更新・取得」「応答結果送信」を行い、要求に対する応答を返却する。

4.2 連携概要図



4.3 インターフェース形式

JSON連携インターフェースにおける要求・応答の形式は以下の通り。

プロトコル	HTTP
HTTPメソッド	POST
文字コード	UTF-8
連携データ形式	JSON
必須リクエストヘッダ	Content-Type: application/json; charset=UTF-8
必須レスポンスヘッダ	Content-Type: application/json; charset=UTF-8

【連携データするJSONデータイメージ】

要求(連携事業者から送信)

```
["事業者ID":"JV01","明細":[{"送信ID":"AJV201501","車両ID":"A01","位置": "..."}, {"送信ID":"AJV201501","車両ID":"A02","位置": "...}]]
```

応答(総合管理システムから返却)

```
{"ステータスコード":"00","受信日時":"2015/11/22 13:11:34","連携結果コード":"0","正常件数":"10","異常件数":"0"}
```

4. 4 処理方針

4. 4. 1 データ登録・更新インターフェース

登録・更新対象のデータを1件毎にチェック(※1)し、正常なデータのみを総合管理システムに反映する。
チェック結果、異常であったデータについては、登録・更新対象から除外し、応答にて異常データの情報を返却する。
登録・更新対象のデータには、「送信ID」(※2)および「変更区分」(※3)を付与し、要求を送信する。

例) データが10件連携され、9件が正常データ、1件が異常データであった場合
正常データ9件 → 登録・更新を行う。
異常データ1件 → 登録・更新は行わない。

※1 データチェック

要求されたデータについては、「必須チェック」「桁数チェック」「範囲チェック」「書式チェック」「データ状況チェック」の5つの共通チェック処理を行う。その他チェックが必要な場合は、インターフェース毎に独自に実装する。

※2 送信ID

連携先事業者が送信する全データに付与するID。事業者内で一意なIDとする。
これにより、連携先事業者と総合管理システムのデータ登録状況の突合が可能となり、データの欠損を容易に検知可能となる。
一度付与された送信IDは、事業者システム側で連携データが更新された場合でも変更されない不変のIDとし、
データ更新を行う際には、データ登録時と同じ送信IDを付けて連携する。

※3 変更区分

要求されたデータに対する処理内容を表す以下の区分(「I:新規登録」「U:更新」「D:削除」)。
要求内容を明確にし、データ不整合が発生している場合に想定外のデータ更新が行われないようにするため指定する。
「データ状況チェック」にて、要求された連携区分と、総合管理システム側のデータ状況に不整合が発生していないかを確認し、以下の通り制御する。

- (1) 変更区分「I」で要求されたが、既に同じ送信IDのデータが登録済みである場合
データの登録処理は行わず、異常データとして応答にて通知する。
- (2) 変更区分「U」で要求されたが、同じ送信IDのデータが登録されていない場合
データの更新処理は行わず、異常データとして応答にて通知する。
- (3) 変更区分「D」で要求されたが、同じ送信IDのデータが登録されていない場合
データの削除処理は行わず、異常データとして応答にて通知する。

4. 4. 2 データ参照インターフェース

総合管理システム側に登録されているデータを取得する要求を受け付け、対応するデータを抽出し、応答情報として返却する。
要求された条件に一致するデータが存在しない場合でもインターフェース処理は異常終了とせず、
応答情報にてデータが存在しない旨、返却する。

4.5 異常データおよびエラー発生時の再送

4.5.1 異常データの再送について

連携インターフェースの応答にて、異常データ有りが返却された場合、連携事業者側で、連携インターフェースの応答より異常データの内容を確認し、データ修正後、対象データのみを再送する。

4.5.2 エラー発生時の再送について

ネットワーク異常、サーバ障害等により、連携インターフェースの応答が受け取れなかった場合や応答内容が異常終了であった場合、障害復旧後、連携事業者よりエラー発生時と同様のデータにて、連携インターフェースに要求を再送する。

※ 総合管理システム側に登録済みのデータが再送された場合でも、「送信ID」による重複チェックを行うため、重複登録は発生しない。

4.6 処理実行結果履歴

外部インターフェース(JSON)への要求があった場合、以下の情報を履歴として保存し、処理実行結果一覧画面から確認可能とする。

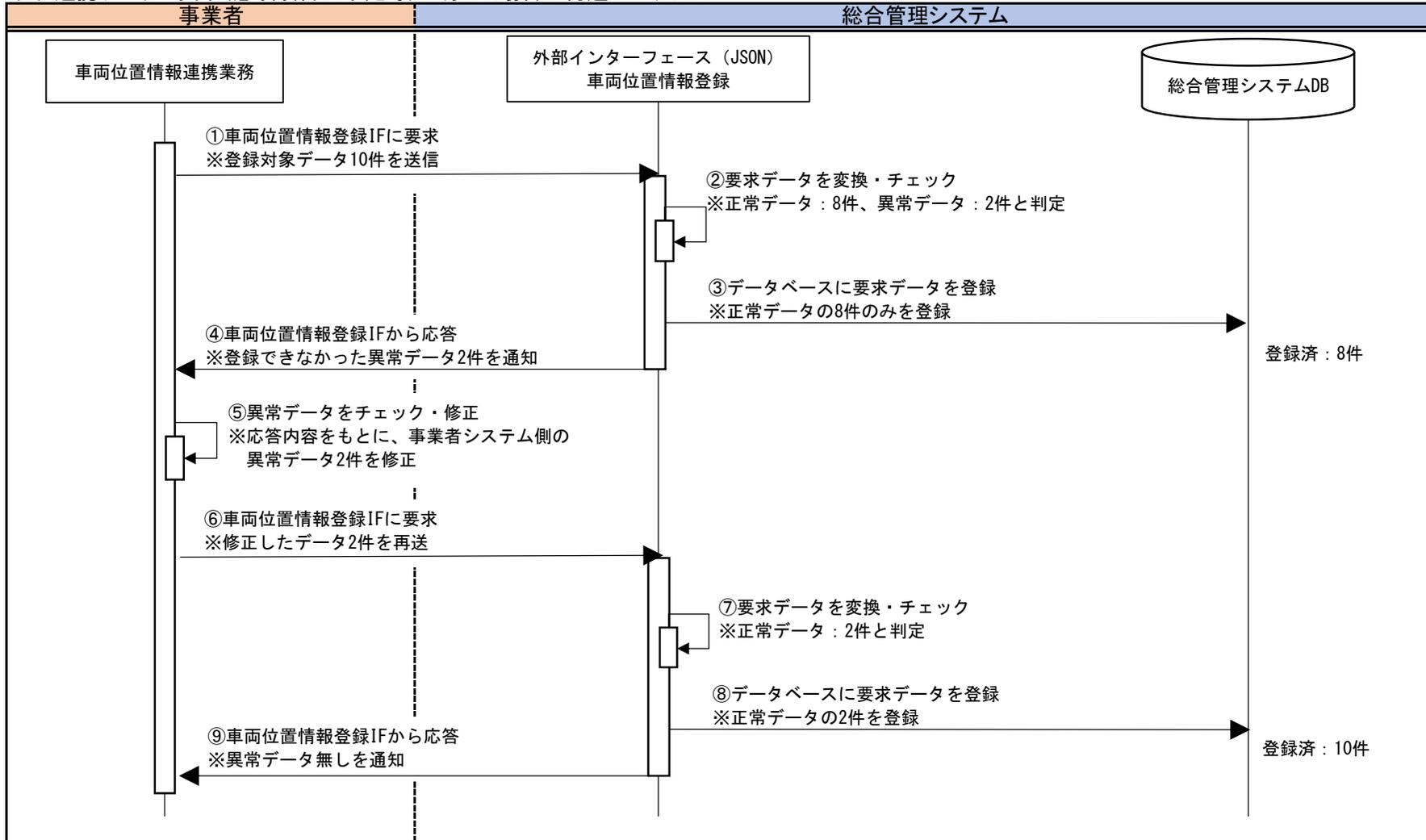
- ・連携先事業者情報
- ・要求されたインターフェース情報
- ・連携データの受信日時
- ・異常データ有無
- ・インターフェースの処理ステータス(正常終了/異常終了)

※ データベース障害により異常終了となった場合は、データベースへの履歴保存は行わずログ出力のみ行う。
この場合、処理実行結果一覧画面上は異常終了を検知出来なくなるが、エラーログの監視にてインターフェースの異常を検知可能とする。

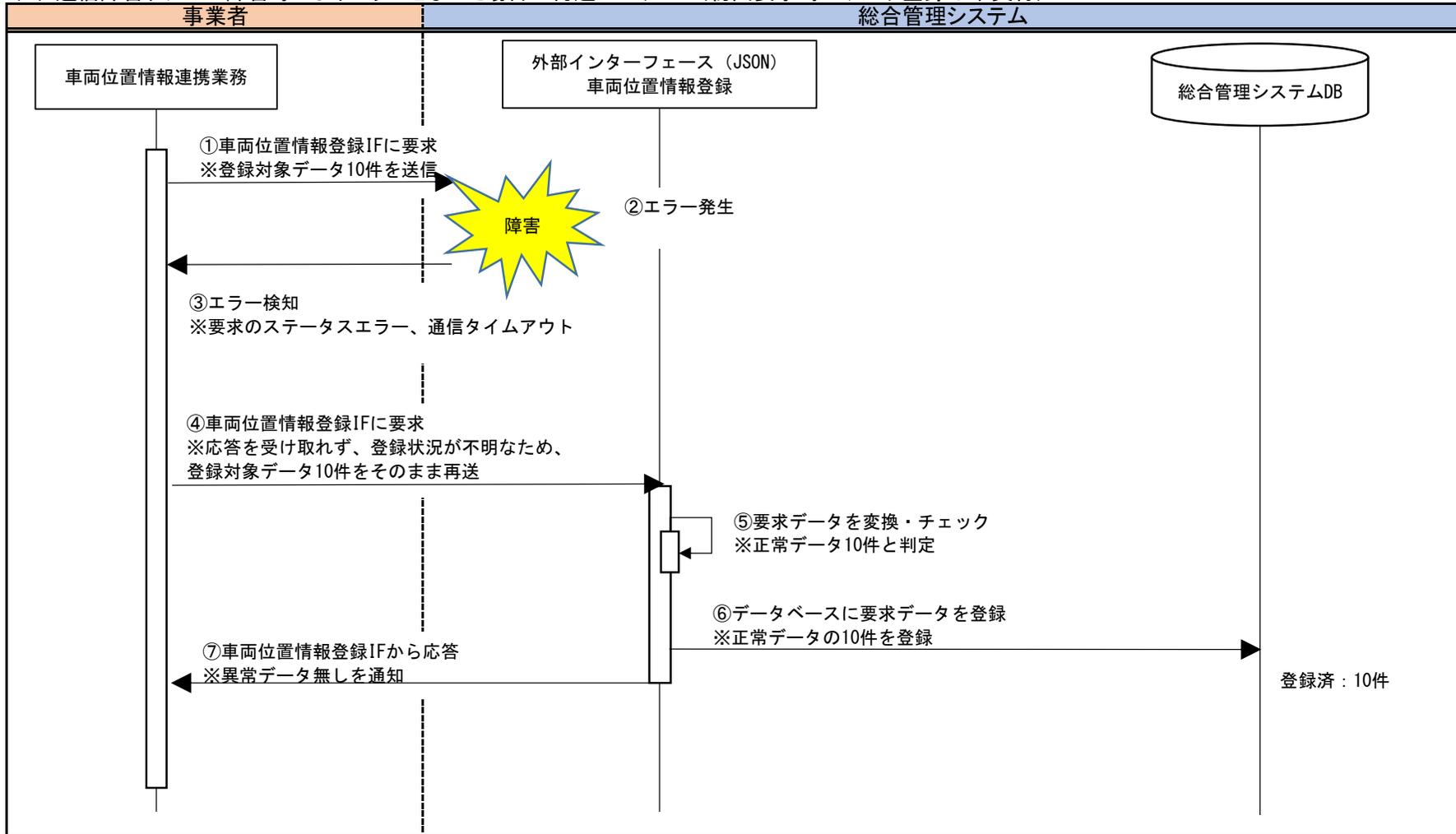
4.7 JSON方式エラーシーケンス

異常データ、通信エラー等によって外部インターフェースのデータ連携に失敗した場合、連携事業者側で、以下のシーケンスに沿ってデータの再送を実施いただく。以下シーケンスにてデータ連携が成功しない場合、総合管理システム側の運用にて対応とする。

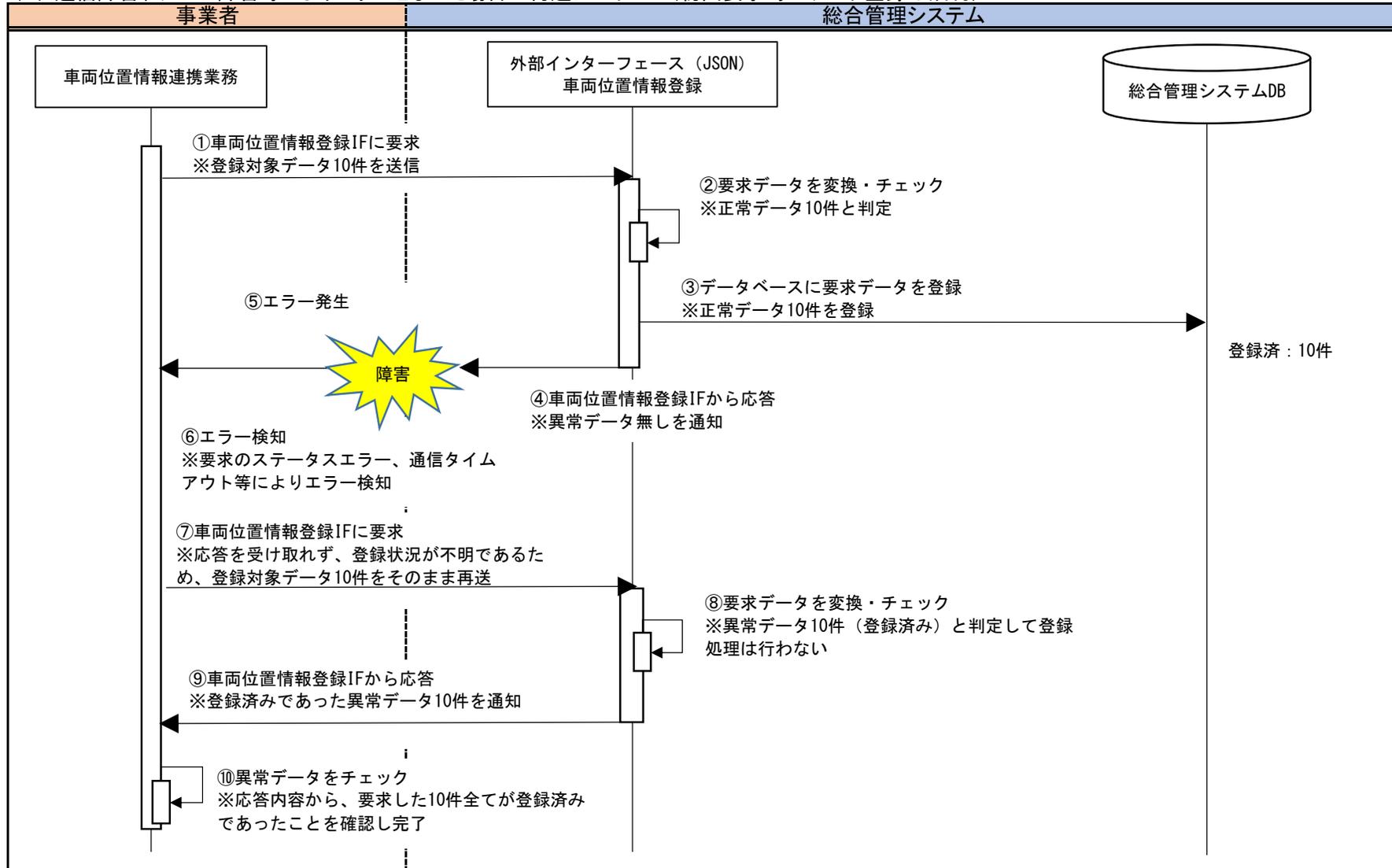
(1) 連携データに異常(必須項目の不足等)があった場合の再送シーケンス



(2) 通信障害、サーバ障害等によりエラーとなった場合の再送シーケンス(初回要求時にデータ登録は未実行)



(3) 通信障害、サーバ障害等によりエラーとなった場合の再送シーケンス(初回要求時にデータ登録は成功)



輸送カード様式の説明

輸送カードの様式は下記の通りとする。
用紙サイズ・向きはA4縦とする。

- 1) 輸送カード番号
 - 輸送カードを識別する事業者内で一意の番号
- 2) 区分
 - 輸送する大型土のう袋等の内容物が不燃物か可燃物
 - 有害物質か無害物質なのかを表す
- 3) 仮置場
 - 輸送する大型土のう袋等の内容物の搬出元である仮置場名称と仮置場のある市町村名称
 - 仮置場の情報は、総合管理システムから取得する
- 4) 輸送車両
 - 車両番号は、車検証の車両番号
 - 車種は、10tダンプなど積載量が分かる表記とする
 - 積載可能重量は、車検証に記載されている積載可能重量、車検証に記載されている車両重量、実測した空車時重量を使った下記数式で算出する
 - 積載可能重量を算出する数式
=最大積載量 - (空車時重量 - 車両重量)
- 5) 施設到着予定日時
 - 搬出先への到着予定日時
- 6) 容器番号
 - 輸送する大型土のう袋等の内容物に取り付けた新タグのID
- 7) 輸送車両重量
 - 空車時に実測した重量
 - みなし総重量は、空車時重量と搬出時重量の合計となる
- 8) 容器種類別数
 - 輸送する大型土のう袋等の内容物の種類別の数量

輸 送 カ ー ド									
輸送カード番号 : d123456789012d					整理番号				
区 分					行き先				
不燃物 可燃物					事業者名 ●●JV				
有害物質 有・無					事業者連絡先 024-XXX-XXXX				
市町村名 ○○町○○1234					搬出日時 年 月 日 時 分				
仮置場名称 □□□					運転手名 ▲▲ ▲▲				
車両番号 △△ 800 あ 12-34					搬出責任者名				
車 種 10tダンプ					車両周り1m放射線量率 (μSv/h)				
積載可能重量 ○○ kg					前 後 左 右				
施設到着予定日時 ○○○○年○○月○○日○○時○○分					0.10 0.22 0.36 0.36				
①	②	③		④	⑤	⑥			
番号	容器番号	分類		搬出時線量率 (μSv/h)	搬出時重量 (kg)	推定放射能濃度 (Bq/kg)			
	チェック欄	チェック欄							
1	a300000000000001a	白色：土壌等		0.70	1,143	7,300			
2	a300000000000002a	白色：土壌等		0.09	890	1,200			
3	a300000000000003a	白色：土壌等		1.80	1,104	20,000			
4	a400000000000004a	青色：その他不燃物		0.47	1,110	5,100			
5	a400000000000005a	青色：その他不燃物		1.06	1,112	11,000			
6	a400000000000006a	青色：その他不燃物		0.16	1,264	1,500			
7									
8									
9									
10									
計		-		-	-	6,623			
空車時重量 (kg)		みなし総重量 (kg)		重量確認		OK NG			
数量	種類	数量(袋)	チェック欄	受入時重量 (kg)	重量チェック欄				
	可 燃	6		【荷下時確認記録】					
	不 燃			荷下担当者名： _____					
	有害物質等			確認日時： _____年 月 日 時 分					
	合計	6							
中間貯蔵施設退場時スクリーニング		対象	チェック欄	【スクリーニング時確認記録】					
		車		線量測定者名： _____					
		人		確認日時： _____年 月 日 時 分					
洗 車		対象	チェック欄	【洗車時確認記録】					
		車		洗車担当者名： _____					
				確認日時： _____年 月 日 時 分					
シャワー		対象	チェック欄	【シャワー時確認記録】					
		人		確認者名： _____					
				確認日時： _____年 月 日 時 分					
備 考									

- 9) 整理番号
 - 本輸送カードを印刷する単位で番号を採番する
- 10) 行き先
 - 輸送する大型土のう袋等の内容物の搬出先である保管場の名称
 - 保管場の情報は、総合管理システムから取得する
- 11) 事業者情報
 - 本輸送を担当している事業者名称とその連絡先
- 12) 運転手名
 - 本輸送車両を運転する担当者名称
- 13) 車両周り放射線量率
 - 本輸送車両の車両周り1m（前後左右）の放射線量率
 - 荷台の中心位置（前後左右）の放射線量率は、輸送する大型土のう袋等の内容物の搬出時線量率が30μSv/hを超えた場合に必要となる
- 14) 搬出時線量率、搬出時重量、推定放射能濃度
 - 輸送車両に大型土のう袋等の内容物を積み込む際に計測した、各大型土のう袋等の内容物の線量率、重量、推定放射能濃度の測定結果
 - 重量についてのみ、各大型土のう袋等の内容物の重量を合計する
 - 推定放射能濃度を算出する数式
=搬出時線量率×係数÷搬出時重量
(係数は毎年変動する可能性あり。次年度分は決定次第通知)
- 15) 分類
 - 大型土のう袋等の内容物の分類は、下記の通りとする
 - 分類により区分とセル背景色、文字色が決まる

緑色：腐敗性可燃物 ⇒ 可燃物
 ※セル背景色RGB (0,255,0) 文字色RGB (0,0,0)
 黄色：その他可燃物 ⇒ 可燃物
 ※セル背景色RGB (255,255,0) 文字色RGB (0,0,0)
 白色：土壌等 ⇒ 不燃物
 ※セル背景色RGB (255,255,255) 文字色RGB (0,0,0)
 青色：その他不燃物 ⇒ 不燃物
 ※セル背景色RGB (0,0,255) 文字色RGB (255,255,255)
 赤色：危険物 ⇒ 有害物質
 ※セル背景色RGB (255,0,0) 文字色RGB (255,255,255)
 黒色：焼却灰 ⇒ 有害物質
 ※セル背景色RGB (0,0,0) 文字色RGB (255,255,255)
 橙色：土壌等（特定施設） ⇒ 有害物質
 ※セル背景色RGB (255,127,0) 文字色RGB (255,255,255)

輸送カード出力項目とインターフェース項目との対応表

輸送カードの項目と総合管理システムと連携するインターフェースとの対応は下記の通りとする。

項番	輸送カード項目名	インターフェースID	インターフェース名	データ項目	補足	
1)	輸送カード番号	IFT0130	輸送カード申請	輸送カード番号		
2)	区分	不燃物・可燃物	IFT0130	輸送カード申請	物品種類	
		有害物質 有・無	IFT0130	輸送カード申請	有害物質	
3)	仮置場	市町村名	IFT0320	仮置場マスタ出力	市区町村名（漢字） + 仮置場住所（その他住所） 市区町村名（漢字）は仮置場住所（市区町村コード）をもとに取得（全国地方公共団体コード）	
		仮置場名称	IFT0320	仮置場マスタ出力	仮置場名称	
4)	輸送車両	車両番号	IFT0020	車両データ取込	車両ナンバー	
		車種	IFT0020	車両データ取込	車種	
		積載可能重量	-	-	-	計算で算出
5)	施設到着予定日時	IFT0130	輸送カード申請	保管場到着予定日時		
6)	容器番号	IFT0130	輸送カード申請	新タグID		
7)	輸送車両重量	空車時重量	IFT0020	車両データ取込	空車重量	
		みなし総重量	-	-	-	計算で算出
8)	容器種類別数	-	-	-	新タグIDをもとに新タグ紐付データから分類を取得 15)の例に従い、種類毎に集計する	
9)	整理番号	-	-	-	連携しない項目	
10)	行き先	IFT0340	保管場マスタ出力	保管場名称		
11)	事業者情報	事業者名	-	-	-	指定される事業者IDに紐付く事業者名を使用する
		事業者連絡先	-	-	-	指定される事業者IDに紐付く事業者連絡先を使用する
12)	運転手名	IFT0300	運転手マスタ取込	運転手名		
13)	車両周り放射線量率	車両周り1m放射線量率	IFT0130	輸送カード申請	車両周り放射線量：（前後左右）	
		荷台の中心位置（前後左右）の放射線量率	IFT0130	輸送カード申請	荷台高さの放射線量：（前後左右）	
14)	搬出時線量率、搬出時重量、推定放射能濃度	搬出時線量率	IFT0090	新タグ紐付データ取込	搬出時大型土のう袋等線量	
		搬出時重量	IFT0090	新タグ紐付データ取込	搬出時大型土のう袋等重量	
		推定放射能濃度	-	-	-	計算で算出
15)	分類	IFT0090	新タグ紐付データ取込	除去土壌等種別	前ページの例に従い、色を付与	